

旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

< 設 計 図 >

山 梨 市

■図面リスト

[illegible]



樋沢建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市横根町 83 -
 一級建築士事務所 登録番号 (梨) 第1-071190
 一級建築士 登録 第140820 樋澤博次

SCALE	NON
-------	-----

DATE _____

SUBJECT 旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

図面リスト

N o. D - 000

7

溶接部の試験

AOOL

※4.0%・2.5%

(7.6.12)(7.6.12)

検査水準

※第6水準

・図示

(7.6.12)(表7.6.2)

試験の種類

試験箇所

試験方法

※超音波探傷試験

完全溶込み溶接部

※標仕7.6.11(b)による

・放射線試験

・図示

・マクロ試験

8

耐火被覆

(7.9.2~7)

種別

所要性能及び適用構造部位

・ラス張りモルタル塗り

・耐火材吹付け

・乾式吹付けロックウール

・半乾式吹付けロックウール

・湿式ロックウール

・耐火板張り

9

アンカーボルトの保持及び埋込み工法

・構造用アンカーボルト

(※図示)

・

・建方用アンカーボルト

(・A種

※B種

・C種)

(7.10.3)(表7.10.1)

10

柱底均しモルタル工法

※A種・B種

(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

無収縮モルタル

混和材

セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。

セメント

JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または早強ポルトランドセメントとする。

砂

土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。

配合比

(各重量比)

(セメント+混和材)：砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー

Jロートによる流下時間

練混ぜ完了から3分以内の値は

8±2秒

ブリージング

練り混ぜ2時間後のブリージング率

：2.0%以下

凝結時間

凝結開始時間

1時間以上

終結時間

10時間以内

無収縮性

材齢7日

収縮しないこと

圧縮強度

材齢3日

25.0N/mm2以上

材齢28日

45.0N/mm2以上

付着強度

材齢28日

3.0N/mm以上

塩化物量

0.30kg/m3以下

試験方法

1)日本道路公団規格(JHS)「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992Iによる。

2)塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5(規定)「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

11

溶融亜鉛めっき工法

(7.12.4)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種類

材

料

適用部位

A種

最低板厚6mm以上の形鋼、鋼板

B種

最低板厚3.2mm以上、6mm未満の形鋼、鋼板

C種

普通ボルト、アンカーボルト

最低板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板

素地ごしえらば、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1

補強コンクリートブロック造

※空洞ブロック16・空洞ブロック16-W

(8.2.2)

2

コンクリートブロック帳壁及び壁

※標仕表8.3.1及び下表による

(8.3.2)

適用箇所

厚さ(mm)

・間仕切壁

・地下二重壁

・外壁

・

高さ

2m以下

・120

・塙

2mを超える

・150

・衛生配管用裏積みブロック

・100(半割含む)

・

3

ALCパネル

(8.4.2~5)(表8.4.2~4)

種類

単位荷重(N/m2)

厚さ(mm)

取付け工法種別

・外壁パネル

・1180・1960

※100・120

・A種・B種・C種

・間仕切壁パネル

・150・125(リブ)

・屋根パネル

・980

※100

・B種・C種・D種・E種

・床パネル

・2350・3530

・100・150

※標仕8.4.6による

・床パネルの耐火性能

(・1時間

・2時間)

4

押出成形セメント板(ECP)

(8.5.2~4)(表8.5.1~2)

種類

表面形状

厚さ(mm)

幅(mm)

工法種別

・外壁パネル

※F・F-R

・20

・300

・A種

・D

・D-R

・B種

・T

・T-R

・間仕切パネル

※F・F-R

・B種

・D

・D-R

・C種

・T

・T-R

耐火性能

・有り(

・無し

9

防水工事

1

アスファルト防水

(9.2.2~3)(表9.2.3~9)

種別

施工箇所

※A1-2

・A-2

・D-2

・B1-2

床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ

・E-2

・改質アスファルト防水(常温工法)

・地盤面下打ち継ぎ部分

アスファルト断熱工法の断熱材

※3種

・4種

厚さ(mm)

※25

(9.2.2)

ただし、特定フロンを含まないもの。

2

改質アスファルトシート防水

(9.3.2~3)(表9.3.1~3)

種別

・AS-1

・AS-2

厚さ

(

)

施工箇所

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2~3)(表9.4.1)

種別

厚さ(mm)

施工箇所

仕上り塗料塗り

使用分類

・S-F1

※1.2

・1.5

※非歩行

・S-F2

※2.0

・1.5

1階屋根、屋上

・S-M1

※1.5

・

・非歩行

・S-M2

※1.5

・2.0

・S-M3

※1.2

・

4

塗膜防水

(9.5.2~4)(表9.5.1~2)

種別

施工箇所

備考

・X-1

仕上り塗料塗り

・X-2

・シルバー

・X-2H

・カラー

・Y-1

Y-2工法の保護シート

・Y-2

※適用する

・適用しない

脱気装置

・設ける

材質(

)

設置数量(

㎡当たり1箇所)

5

シーリング

(9.7.2)(表9.7.1)

シーリング材の種類、施工箇所

※被着体に応じたものとし、標仕表9.7.1を標準とする

・下記による

シーリング材の種類(記号)

施工箇所

変性シリコーン系(MS-2)

建具枠周囲、仕上りなしの箇所

ポリウレタン系(PU-2)

上記以外全て

シーリング目地の寸法

箇所

コンクリート打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地

左記以外

幅(mm)

※20以上

・

※10以上

・20以上

深さ(mm)

※10以上

・

※7以上

○10以上

接着性試験

※簡易接着性試験

・引張接着性試験(部位

)

(9.7.5)

6

超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水

仕様

・JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高強度形

[9.8.3]

・JIS A 6021屋根用ウレタンゴム系高伸長形、高強度形

施工箇所

※図示

・

10

石工事

1

天然石張り

(10.2.1)(表10.2.1~2)

石の種類・表面仕上げ

施工箇所

種類

産地・名称

厚さ(mm)

仕上りの種類

2

テラゾ張り

(10.2.1)(表10.2.2)

種石の種類

※大理石

・

(10.2.1)(表10.2.2)

表面仕上げ

※本磨き

・

形状・寸法

※図示

3

壁の石張り工法

(10.3.2~3)(10.5.2~3)

外壁石張り工法

・外壁湿式工法(※流し筋工法

・

)

・乾式工法

石裏面処理

・行う(・小口共)

裏打ち処理

・行う

ドレインパイプ

※ステンレスSUS304

・

内壁石張り工法

(10.4.2~3)(10.5.2~3)

・内壁空積工法(※あと施工アンカー横筋流し工法

・あと施工アンカー工法)

・乾式工法

4

床及び階段の石張り

(10.6.2~3)(10.1.5)

床石張りの裏面処理

・行う

屋内のワックス掛け

・行う

11

タイル工事

1

陶磁器質タイル

(11.2.1)

タイルの種類

形状寸法

きじ

3次びり

役物

色

再生材の

(11.2.1)

施工箇所

(mm)

磁器セキ陶器部用タイル

ありなし

標準特注

適用

G

備考

トイレ床

900×600

・

・

○

・

○

○

・

図10.40参照

役物：標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き

※行わない

・行う(※外壁タイル

・

)

2

張り付け用材料

(11.2.3)

既成調合モルタル(仕上り表の仕様により合成樹脂を添加する)

保水率

単位容積質量

接着力(N/mm²)

長さ変化率

曲げ強さ

(%)

(kg/l)

標準時

温冷線返し後

(%)

(N/mm²)

70.0以上

1.80程度

0.60以上

0.40以上

0.20以下

4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

・第三種

3

壁タイル張りの工法

(11.3.3)(表11.3.2)

内装タイル

※壁タイル接着剤張り

・積上げ張り

(11.3.3)(表11.3.2)

・メーカー推奨工法による

外装タイル

※密着張り

・マスク張り

・メーカー推奨工法による

躯体表面の処理

・行わない

※行う(施工範囲

※図示

・

)

躯体表面の処理方法

MCR工法又は目荒し工法(6章コンクリート工事)

下地モルタル塗り

※標仕15.2.2~15.2.5(仕上り表の仕様により合成樹脂を添加する)

タイルの試験張り

※行わない

・行う(※外壁タイル

・

)

(11.1.4)

4

陶磁器質タイル型枠先付け工法

種別

適用タイル

タイル型枠先付け面のせき板

※タイルシート法

・小口タイル

・目地削工法

・二丁掛タイル

※標仕6.9.3[材料](b)(2)又は

・積木法

・大型タイル

金属製タイル先付け用パネル

12

木工事

1

基本要項品質

(12.1.2)

木材のうち、松、杉、からまつは山梨県産材とする。

2

施工一般

(12.2.1)

材料のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(a)(b)による

・

3

木材

使用部位

樹種

等級

含水率

保存処理等

胴縁・野縁

杉

※1級

・B種

4

JASによる造作用針葉樹製材

(12.2.1)

使用部位

樹種

等級

含水率

保存処理等

窓枠、廻り縁、見切縁

杉

※A種

※A種

軒天・天井・外壁

・B種

・B種

5

JASによる広葉樹製材

(12.2.1)

使用部位

樹種

等級

含水率

保存処理等

窓枠、廻り縁、見切縁

杉

※A種

※A種

軒天・天井・外壁

・B種

・B種

6

JAS以外の製材

(12.2.1)

使用部位

樹種

等級

含水率

保存処理等

構造材、羽柄材

松

※A種

※A種

※適用する

杉

・B種

・B種

・適用しない

7

「集材材の日本農林規格」による造作用集成材

(12.2.1)

使用部位

樹種

見付け材面

見付け材の品質

備考

8

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

(12.2.1)

使用部位

樹種

見付け材面

見付け材の品質

備考

9

JASによる造作用単板集成材

(12.2.1)

使用部位

化粧加工

表面の品質

防虫処理

・有り

・天然木化粧加工

・有り

・塗装加工

・無し

・1等

・2等

・3等

10

JAS以外の造作用単板集成材

(12.2.1)

使用部位

化粧加工

表面の品質

防虫処理

含水率

・有り

・天然木化粧加工

※14%

・有り

・塗装加工

・無し

・1等

・2等

・3等

13

屋根及び土間工事

1

長尺金属板葺

(13.2.2~3)(表13.2.1)

屋根葺形式

長尺金属板の種類

板厚(mm)

・横置き

※塗装溶融55%アルミニウム

○0.4

・瓦棒置き

・亜鉛合金めっき

※0.5

○その他(縦馳置き)

鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150)

・1.0

2

折板葺

(13.3.2~3)(表13.2.1)

形式

※重ね形

・はせ締め形

・かん合形

形状(mm)

山高(

)

山ピッチ(

)

板厚

※0.6

・0.8

・1.5

3

「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

樹種

見付け材面

見付け材の品質

備考

4

JASによる造作用単板集成材

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

化粧加工

表面の品質

防虫処理

含水率

・有り

・天然木化粧加工

※14%

・有り

・塗装加工

・無し

・1等

・2等

・3等

5

JAS以外の造作用単板集成材

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

化粧加工

表面の品質

防虫処理

含水率

・有り

・天然木化粧加工

※14%

・有り

・塗装加工

・無し

・1等

・2等

・3等

6

「集材材の日本農林規格」による普通適合板

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

表板樹種名

厚さ(mm)

接着力(N/mm²)

等級

板面の品質

処理・強度等

ラワン

※5.5

※1類

・2類

広葉樹

※2等以上

・1等

7

「集材材の日本農林規格」による構造用適合板

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

表板樹種名

厚さ(mm)

接着力(N/mm²)

等級

板面の品質

処理・強度等

ラワン

※5.5

※1類

・2類

広葉樹

※2等以上

・1等

8

「集材材の日本農林規格」による天然木化粧適合板

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

表板樹種名

厚さ(mm)

接着力(N/mm²)

等級

板面の品質

処理・強度等

ラワン

※5.5

※1類

・2類

広葉樹

※2等以上

・1等

9

「集材材の日本農林規格」による特殊加工化粧適合板

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

表板樹種名

厚さ(mm)

接着力(N/mm²)

等級

板面の品質

処理・強度等

ラワン

※5.5

※1類

・2類

広葉樹

※2等以上

・1等

10

JISによるパーティクルボード

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

厚さ(mm)

曲げ強さ

耐水性

備考

※15

※13タイプ

・MR1(M)

・MR2(P)

11

JASによる構造用パネル

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

厚さ(mm)

等級

備考

・1級

・2級

・3級

・4級

12

JISによるメディアムデンシティファイバーボード(MDF)

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

厚さ(mm)

表裏の形状による区分

曲げ強さによる区分

接着剤による区分

難燃性による区分

13

接着剤のホルムアルデヒドの放散量

(12.2.2)

※F☆☆☆☆

・

14

行方箇所(外周部の間柱 GL+1000まで)

(12.3.1)

防蟻処理

※行う(※図示

・

)

(12.3.1)

防蟻処理

○行う(※図示

・

)

(12.3.1)

15

防腐、防蟻処理の種類、品質

表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の手配するものとする。

16

フローリング及び縁甲板張り床

(12.6.1)(表12.6.1)

※単層フローリング(標仕19.5.2Iによる)

下張り用床板

※無し

・有り

※合板張り

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

・第三種

17

床板張り

(12.6.1)(表12.6.1)

床板

・縁甲板

※ひのき

・

上框

18

長尺金属板葺

(13.2.2~3)(表13.2.1)

屋根葺形式

長尺金属板の種類

板厚(mm)

・横置き

※塗装溶融55%アルミニウム

○0.4

・瓦棒置き

・亜鉛合金めっき

※0.5

○その他(縦馳置き)

鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150)

・1.0

19

折板葺

(13.3.2~3)(表13.2.1)

形式

※重ね形

・はせ締め形

・かん合形

形状(mm)

山高(

)

山ピッチ(

)

板厚

※0.6

・0.8

・1.5

20

JASによる造作用単板集成材

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

化粧加工

表面の品質

防虫処理

含水率

・有り

・天然木化粧加工

※14%

・有り

・塗装加工

・無し

・1等

・2等

・3等

21

JAS以外の造作用単板集成材

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

化粧加工

表面の品質

防虫処理

含水率

・有り

・天然木化粧加工

※14%

・有り

・塗装加工

・無し

・1等

・2等

・3等

22

「集材材の日本農林規格」による普通適合板

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

表板樹種名

厚さ(mm)

接着力(N/mm²)

等級

板面の品質

処理・強度等

ラワン

※5.5

※1類

・2類

広葉樹

※2等以上

・1等

23

「集材材の日本農林規格」による構造用適合板

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

表板樹種名

厚さ(mm)

接着力(N/mm²)

等級

板面の品質

処理・強度等

ラワン

※5.5

※1類

・2類

広葉樹

※2等以上

・1等

24

「集材材の日本農林規格」による特殊加工化粧適合板

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

表板樹種名

厚さ(mm)

接着力(N/mm²)

等級

板面の品質

処理・強度等

ラワン

※5.5

※1類

・2類

広葉樹

※2等以上

・1等

25

JISによるパーティクルボード

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

厚さ(mm)

曲げ強さ

耐水性

備考

※15

※13タイプ

・MR1(M)

・MR2(P)

26

JASによる構造用パネル

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

厚さ(mm)

等級

備考

・1級

・2級

・3級

・4級

27

JISによるメディアムデンシティファイバーボード(MDF)

(13.3.2~3)(表13.2.1)

使用部位

厚さ(mm)

表裏の形状による区分

曲げ強さによる区分

接着剤による区分

難燃性による区分

28

接着剤のホルムアルデヒド

14
金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

種 別

施工箇所

※ H L 程度

下記以外の見え掛かり全て

・ No. 2 B 程度

・ 鏡面仕上げ

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種 別

施工箇所

・ B A - 1 種 無着色陽極酸化塗装複合被膜

・ B A - 2 種 着色陽極酸化塗装複合被膜

・ B B - 1 種 無着色陽極酸化塗装複合被膜

○ B B - 2 種 着色陽極酸化塗装複合被膜

・ B C - 1 種 無着色陽極酸化塗装複合被膜

・ B C - 2 種 着色陽極酸化塗装複合被膜

建具

3 鉄の亜鉛めっき

表面処理方法

種 別

施工箇所

溶融亜鉛めっき

・ A 種

・ B 種

・ C 種

電気亜鉛めっき

・ D 種

・ E 種

・ F 種

4 軽量鉄骨天井下地

種類： ※標準仕様書表14.4.1による ・ (14.4.2～4) (表14.4.1～2)

野縁受、吊りボルト及びびンサートの間隔 ※ 900 程度 ・ ()

野縁の間隔 ※標準仕様書表14.4.2による ・ ()

屋外の野縁受、吊りボルト及びびンサートの間隔 ・ ()

吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法： ・ 図示 ・

天井ふところがい.5mを超える場合の補強方法： ※標準仕様書による ・ 図示 ・

天井ふところがい3mを超える場合の補強方法： ・ 図示 ・

5 軽量鉄骨壁下地

種類： ・ 50 形 ・ 65 形 ・ 90 形 ・ 100 形 ・ (14.5.3)

6 金属成形板張り

形 状

製 法

材 種

寸法 (mm)

厚さ (mm)

表面処理

・ スパンドレル形

・ 押出し

※アルミニウム製

・ パネル形

※プレス

伸縮調整継手

※設けない

・ 設ける (施工箇所は図示)

7 アルミニウム製盗木

種 類

呼称肉厚 (mm)

表面処理

固定間隔

備 考

・ 250 形

2.0 以上

・ 200 形

2.0 以上

・ 350 形

2.0 以上

・ 400 形

・ 500 形

2.0 以上

・ 図示

2.0 以上

8 手すり及びタラップ

種 類

材料の種類

表面処理

・ 手すり

※ ステンレス SUS304

※ H L 程度 ・ 鏡面程度 ・

・ 鉄

・ 亜鉛めっき 外部 ※ A 種

内部 ※ E 種 ・ A 種

※塗装

・ タラップ

※ ステンレス SUS304

※研磨無し ・

・ 鉄

亜鉛めっき 内外部 ※ C 種

・ A 種

15 左官工事

① ラス系下地

ラス系下地の種類 (15.2.4)

・ 直張り工法 ・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地 ・ 図示

・ 通気工法 ○ 単層下地 ・ 二層下地 ・ 図示

ラス下地板の指定： ・ 耐力壁仕様 ・ 防火構造 ・ 準耐火構造 ・ 図示

ラスシート下地の指定： ・ 耐力壁 ・ 図示

② モルタル塗り材料

吸水調整材 (15.3.2)

全固形分 (%)

吸水量 (g)

接着強度 (N/mm²)

界面破壊率 (%)

表示値 ± 1.0

30 分で 1 g 以下

0.98 以上

50 以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤) (15.3.2)

防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合

凝結時間

削け及び圧縮強度

吸水比

透水比

セメント重量の 5% 以下

JIS R 5201 の試験において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内

70% 以上

95% 以下

80% 以下

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。

③ 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表 6.2.5 及び標仕 15.4.2 による (15.4.1～2) (表 6.2.5)

施工箇所

平たんさ (mm)

備 考

休憩所・WC・シェルダー・通路

3m につき 7mm 以下

3m につき 10mm 以下

1m につき 10mm 以下

3 既製目地材

※使用する (形状) ()

4 セルフレベリング材塗り

(15.5.2)

材料

厚さ (mm)

施工箇所

・ 石こう系

※ 10

図示

・ セメント系

⑤ 仕上塗材仕上げ

種類

呼び名

仕上げの形状

工法

○ 薄付け 仕上塗材

・ 外装薄塗材 S i

・ 砂壁状

・ 吹付

・ 可とう形外装薄塗材 S i

・ ゆず肌状

・ ローラー塗り

○ 外装薄塗材 E

・ さざ波状

・ 内装薄塗材 E

・ 平たん状

・ 可とう形外装薄塗材 E

・ 凹凸状

・ 防水形外装薄塗材 E

・ 着色骨材砂壁状

・ 外装薄塗材 S

・ 内装薄塗材 C

・ 内装薄塗材 L

・ 内装薄塗材 S i

・ 京壁状じゅらく

・ 内装薄塗材 W

・ 砂壁状じゅらく

・ 複層 仕上塗材

・ 複層塗材 C E

・ 吹放し

・ 吹付

・ 複層塗材 R E

・ 凸凹処理

・ ローラー塗り

・ 複層塗材 S i

・ 平たん状

・ 複層塗材 E

・ ひき起こし

・ 可とう形複層塗材 C E

・ かき起こし

・ 防水形複層塗材 C E

・ ゆず肌状

・ 防水形複層塗材 R E

・ 凹凸状

・ 防水形複層塗材 E

・ 砂壁状

・ 軽量骨材 仕上塗材

・ 吹付用軽量塗材

・ 砂壁状

・ 吹付

・ こて塗用軽量塗材

・ 平たん状

・ こて塗り

耐候性

※ 3 種 ・

防水形の増塗材 ※行う

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 第三種

防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

16 建具工事

① 見本の製作等

・ 特殊な建具の仮組 (建具符号：) (16.1.4)

② アルミニウム製建具

外部に面する建具 (16.2.2) (16.2.4) (表 16.2.1)

(コンクリート系下地及び鉄骨下地)

種 別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み (mm)

施工箇所

・ A 種

S - 4

A - 3

W - 4

※ 70

※ 図示 ・

・ B 種

S - 5

・ 100

※ 図示 ・

・ C 種

S - 6

A - 4

W - 5

※ 図示 ・

(木下地)

種 別

耐風圧性

気密性

水密性

枠見込み (mm)

施工箇所

・ D 種

S - 2

A - 3

W - 3

※ 図示 ・

○ E 種

S - 3

A - 3

W - 3

※ 図示 ・

防音ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示

遮音性の等級： ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4

断熱ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示

断熱性の等級： ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5

耐震ドアセットの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示

面内変形追従性の等級： ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3

③ 網戸

防虫網 (16.2.3)

網の種類 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 (SUS316)

形 式 ※外部可動式 ・ 固定式

④ 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.4.2) (表 16.4.1)

耐風圧性の適用は建具表による

特定防火設備の戸 ・ 適用あり

5 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.5.2)

6 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (16.6.4)

耐風圧性の適用は建具表による (16.6.5)

表面仕上げ ※H L 程度 ・ 鏡面仕上げ ・

曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり)

特定防火設備の戸 ・ 適用あり (表 16.6.1)

7 木製建具

かまち戸の樹種 かまち () (16.7.2)

鏡板 ()

ふすまの上張り (表 16.7.3)

※新鳥の子又はビニル紙程度 (押入等の裏面は除く) ・ 鳥の子

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2)

※規制対象外 ・ 第三種

⑧ 建具用金物

マスターキー ※製作する ・ 製作しない (16.8.4)

建具用金物 ・ 建具表による (16.4.6) (16.5.6)

錠類はシリンダー箱錠 (レバーハンドル) とする (16.8.2)

なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける

9 自動ドア開閉装置

開閉方法

センサの種類

※スライディングドア

・ マットスイッチ ・ 電子マットスイッチ

・ スイングドア

・ タッチスイッチ ・ 光線スイッチ

・ 非接触スイッチ (手かざし) ・ 音波スイッチ

・ 熱線スイッチ ・ 光電スイッチ

・ アルコール消毒連動スイッチ

・ 凍結防止措置 (適用箇所は建具表による)

⑩ 自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※標仕表 16.10.1 による (16.10.2～3)

・ 製造所標準仕様による

⑪ ガラス

※建具表による (16.14.2)

・ ガラスブロック 標仕 16.14.5 による (16.14.5)

表面形状

呼び寸法 (mm)

厚さ (mm)

色調

防火性能

・ 正方形

※クリア

※無し

・ 長方形

・ 有り

⑫ ガラス留め材及び溝

ガラス留め材 (16.14.2) (表 9.7.1)

建具の種類

材 種

アルミニウム製

※シーリング材 ・ ガasket (FIX 部はシーリング材)

鋼製及び鋼製軽量

※シーリング材

ステンレス製

※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

13 ガラス用フィルム

名 称

種 類

張り面

性能値

※ガラス飛散防止フィルム

第 2 種

※内張り ・ 外張り

飛散防止率 D 1

・ 装飾フィルム (飛散防止フィルム)

第 2 種

※内張り ・ 外張り

飛散防止率 D 1

品質 JIS A 5759 による

14 重量シャッター

シャッターの種類

・ 一般重量シャッター

耐風圧性能 () N/m²

・ 外壁用防火シャッター

耐風圧性能 () N/m²

・ 屋内用防火シャッター

・ 屋内用防煙シャッター

15 軽量シャッター

開閉機能 ※上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 (16.11.2) (表 16.11.1)

危害防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式

一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない (16.11.2)

16 オーバーヘッドドア

セクション材料

開閉方式

収納形式

ガイドレール

※スチールタイプ

※パラネ式

・ スタンダード形

・ 溶融亜鉛めっき鋼板

・ アルミニウムタイプ

・ チェーン式

・ ローヘッド形

※ステンレス鋼板

・ ファイバークラスタイプ

・ 電動式

・ ハイリフト形

・ パーチカル形 (SUS304)

耐風圧性能 () N/m²

17 カーテンウォール工事

① メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS14 による。(17.2.2)

カーテンウォール材料の種類 (17.2.2)

種 類

規格等

※アルミニウム製

※標仕 16.2.3 のアルミニウム製建具の材料による

カーテンウォール方式

・ 方立方式

・ バックマリオン方式 (・ 単純 2 辺支持構造 ・ S S G 構法)

・ スパンドレル方式

・ パネル方式

・ 小型パネル組み合わせ方式 (・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式)

シーリング材及びガラス取付け材料

下記以外は標仕表 9.7.1 による (9.7.2) (17.2.2) (表 9.7.1)

接着体の組合せ

シーリング材の種類

金属

石、タイル

記 号

主成分による区分

耐久性による区分

ガラス

ガラス

構造用ガasket ※適用しない (17.2.2)

・ 適用する (施工箇所：図示)

吊金物 ・ 建具表による

・ 丁番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)

・ ピボットヒンジ

・ フロアヒンジ

2 PCカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は (社) 日本建築学会 JASS 14 による。(17.3.2)

コンクリートの種類及び品質 ※標仕 17.3.2 による (17.3.2)

・ 下表による。ただし、下表以外は標仕 17.3.2 による。

コンクリートの種類

設計基準強度 (F c)

所要スランプ (cm)

鉄筋

※SD295A ・

取付け用金物の表面処理 (鉄の亜鉛めっき) 及び材質 (14.2.3) (表 14.2.2)

金物種類及び部位

内 部

外 部

P C 板打込み金物

※E 種 ・

※A 種 ・

P C 板打込み取付けボルト

※E 種 ・

※ステンレスボルト

2 次ファスナー

※E 種 ・

※A 種 ・

取付けボルト

※E 種 ・

※A 種 ・

レベル調整ボルト

※E 種 ・

※A 種 ・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料

下記以外は標仕表 9.7.1 による (9.7.2) (17.3.2) (表 9.7.1)

施工箇所

記 号

主成分による区分

耐久性による区分

カーテンウォール板間目地

断熱材 ※適用しない (17.1.3)

・ 適用する (種類： 厚さ (mm) ： 施工箇所 ※図示)

製品の寸法許容差 ※標仕表 17.3.1 による (17.3.3) (表 17.3.1)

・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ ()

耐火材料

施工部位

種 別

規格等

・ ファスナー部

・ 取付けブラケット

・ パネル目地部

・ 層間ふさぎ

耐風圧性能 (17.1.3)

性能値 ※建築基準法施行令第 87 条及び建設省告示第 1454 号に定められた風圧力に対して安全であること。

・ 正圧 N/m² 以上及び負圧 N/m² 以上に対して安全であること。

耐震性能 (17.1.3)

設計用震度 水平方向 (K H) ※1.0 ・

垂直方向 (K V) ※0.5 ・

建物の構造種別

※ ± (1/100) × h 以上

※部材が損傷せず、破損脱落もしない。ガラス等の破損もないシーリングは補修程度

鉄骨造

※ ± (1/100) × h 以上

鉄筋コンクリート造

※ ± (1/200) × h 以上

鉄骨鉄筋コンクリート造

14 金属工事

① ステンレスの表面仕上げ

② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

3 鉄の亜鉛めっき

4 軽量鉄骨天井下地

5 軽量鉄骨壁下地

6 金属成形板張り

7 アルミニウム製盗木

8 手すり及びタラップ

15 左官工事

① ラス系下地

② モルタル塗り材料

③ 床コンクリートの直均し仕上げ

3 既製目地材

4 セルフレベリング材塗り

⑤ 仕上塗材仕上げ

16 建具工事

① 見本の製作等

② アルミニウム製建具

③ 網戸

④ 鋼製建具

5 鋼製軽量建具

6 ステンレス製建具

7 木製建具

⑧ 建具用金物

9 自動ドア開閉装置

⑩ 自閉式上吊り引戸装置

⑪ ガラス

⑫ ガラス留め材及び溝

13 ガラス用フィルム

14 重量シャッター

15 軽量シャッター

16 オーバーヘッドドア

17 カーテンウォール工事

① メタルカーテンウォール

—

—

—

HIZAWA

樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0902 山 梨 県 甲 府 市 橋 塚 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第 1-071190
一級建築士 登録 第 140820 種 簿 種 次

SCALE

NON

DATE

SUBJECT

旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

特 記 仕 様 書 - 3

No. D -003

[illegible]

9表示

衝突防止表示
※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・図示（
・両面 ・片面）
・無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

10煙突用成形ライニング

・煙突用成形ライニング材
最高使用温度 ※650℃ ・400℃
・キャスタブル耐火材
工 法 ※こて押さえ
最高使用温度 ※400℃

11ブラインド

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)
※ 横型	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25
・ 縦型	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100

12ロールスクリーン

装 置				
施工箇所	電動	手引	性 能	備 考

13カーテン

施 工 箇 所	形 式	装 置	ひだの種類	性 能	備 考
※図示	片引 引分	電動 ひも引 手引	1.5倍ひだ	防火	普及品

14カーテンレール

材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
形 式 ・片引き ・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15ブラインドボックス及びカーテンボックス

・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・
色彩 ※B－1 ・B－2（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
・図示

16耐震スリット

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型	・有り
・水平方向		・非耐火型	・無し

内 壁（幅×深さ）		外 壁（幅×深さ）	
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）	
目地寸法 (mm)	※20×10 ・	※20×10 ・	

17止水板

形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式
寸 法
製造所

18点検口

・下表による ・図示 ・

施 工 箇 所	装 置	性 能	備 考
○ 天井	※アルミニウム製 ・	※450×450 ・600×600	※縁縁タイプ ・目地タイプ
・ 床	※アルミニウム製 ・ウッドデッキ	・450×450 ・450×600 ※600×600	※貼物用 ・充填用

19鋼製書架及び物品棚

種 類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種

21かき箱

市販品
形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・

22くつふきマット

市販品
材 質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ステンレス製（受枠とも）

23流し台ユニット

・ 図示

種 類	寸法 (L＝ mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200 ・1500 1800	トラップ付き	
・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※有り	
・つり戸棚	※1200 ・900 ・600		
・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品

24屋内掲示板

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・
○ 図示

25洗面カウンター

材 種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材・集成材集成材） ・人造大理石 ・集成材
奥行き (mm)
・約450 ・約600

26防煙垂れ壁

・ 固定式

27視覚障害者用床タイル

ブロック・パターンはJIS T 9251Iによる
色彩は黄色を原則とする
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせつ器質タイル（※300 ・）
・レジンコンクリート製
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせつ器質タイル（※300 ・）
・SUS製（点板・線板）

28旗竿

材 質 ※アルミニウム合金製
形 式 ※テーパー型 ・同一断面型
地上高さ (m) ・6 ・8 ・10 ・12
操作方法 ※ ハンドル式 ・ロープ式
固定方法 ・埋込式 ・ベース式 ・バンド式

29旗竿受金物

材 種 ステンレス製SUS304

30フェンス

・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装アルミフェンス ・樹脂塗装目隠しフェンス

31屋外掲示板

照明器具 ※有り ・無し
施 錠 ※有り ・無し
製造所

32車止め支柱

※ステンレス製 径114.3mm t＝2.5mm H＝G L＋900mm
※スプリング付 ・スプリング無し

33収納家具

材質 ※図示
形状・寸法 ※図示
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

34エキスパンション・ジョイント金物

材質 ・アルミ ・ステンレス
クリアランス ・50 ・100 ・150 ・
耐火性能 ・有り（ ） ・無し
防水型 ※適用する ・適用しない

35ユニットバス

・ 図示

22舗装工事

1路床

盛土用材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
路床土の支持力比で（C B R）試験 ・行う
路床締固め度の試験 ・行う

2路盤

舗装の種類と路盤の厚さ		
舗装の種類	路 盤 の 厚 さ (cm)	
	車道部	歩道部
・ アスファルト舗装	・10 ・15 ・25 ・30	10
・ カラー舗装	・10 ・15 ・25 ・35	10
・ コンクリート舗装	※15 ・	10
・ 透水性舗装	※15 ・35	10
・ 排水性舗装	・10 ・15 ・25	
・ インターロッキングブロック舗装（自然石ブロック）	・10 ・15 ・25	10
・ 転圧コンクリート舗装	※15 ・	
・ コンクリート平板舗装		10
・ 舗 石		5

路盤材料
※ クラッシャランのC－40、クラッシャランスラグのC S－40又は再生クラッシャランのR C－40及びC－30

3アスファルト舗装

舗装の種類と路盤の厚さ		
アスファルト舗装の種類	路 盤 の 厚 さ (cm)	
	車道部の基層	カラー舗装の種類
・ アスファルト舗装	・無し ・有り	
・ カラー舗装		※表層に顔料を用いた加熱アスファルト混合物 ・表層の上に着色舗装又は樹脂混合物 ・表層の上に常温塗布式舗装又はニート工法による樹脂系舗装

4コンクリート舗装

早強セメント ※使用しない ・使用する
注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
溶接金網 ※有り ・無し
厚さ試験 ※行わない ・行う
目地の種類及び間隔 ・図示 ※標仕表22.5.3による
目地の構造 ・図示 ※標仕図9-21-21による

5透水性舗装

アスファルト混合物の抽出試験 ・行う
品質 改良アスファルトⅡ型

6ブロック系舗装

コンクリート平板舗装	
目地材	平板の種類
※砂 ・モルタル	※N300

7路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種 [G]	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して 5以下
・1種 [B]	加熱					
・3種1号	熔融	粉体状				

23植栽工事

1土壌の試験

・水素イオン濃度指数 (pH)、電気伝導度 (EC) ・行う ※行わない

2樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類
芝及び地被類
(23.2.2) (表23.2.1～2.2)

適用		有効土層の厚さ (cm)	工 法	適用範囲
※行う・行わない		※20	※B種 ・C種	※植栽範囲 ・図示

樹木

樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
・12以上	※100 ・	※A種	・図示
・7超～12未満	※80 ・	・B種	
・3超～7以下	※60 ・	・C種	
・3以下	※50 ・20	・D種	

3植込み用土

※現場発生土の良質土 ・客土（※畑土 ・黒土 ・赤土）

4土壌改良材

※適用する
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示
・パークたい肥
・発酵下水汚泥コンポスト
・図示による

5支柱柱

※杉の焼丸太 (間伐材) [G] ・真竹

6幹巻き用材料

※幹巻き用テープ ・わら及びこも

7芝張り

種類 ・こららい芝 ・野芝
工法 平地 ※目地張り ・べた張り
法面 ※目地張り ※べた張り

8屋上緑化

屋上緑化システム [G]
・管理方法による区分 ・省管理型
質量の上限値 () kg/m²
かん水装置 ・設ける（工事区分は図示）
透水路、保水路及び排水層等
保水路及び排水層の鉛直方向の排水性能：240 l / m² ・ h 以上
耐荷重性能
省管理型：3×10 N/m² 以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土 製造所の仕様による
植栽の種類 製造所の指定するものとする

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (梨) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 種 澤 博 次

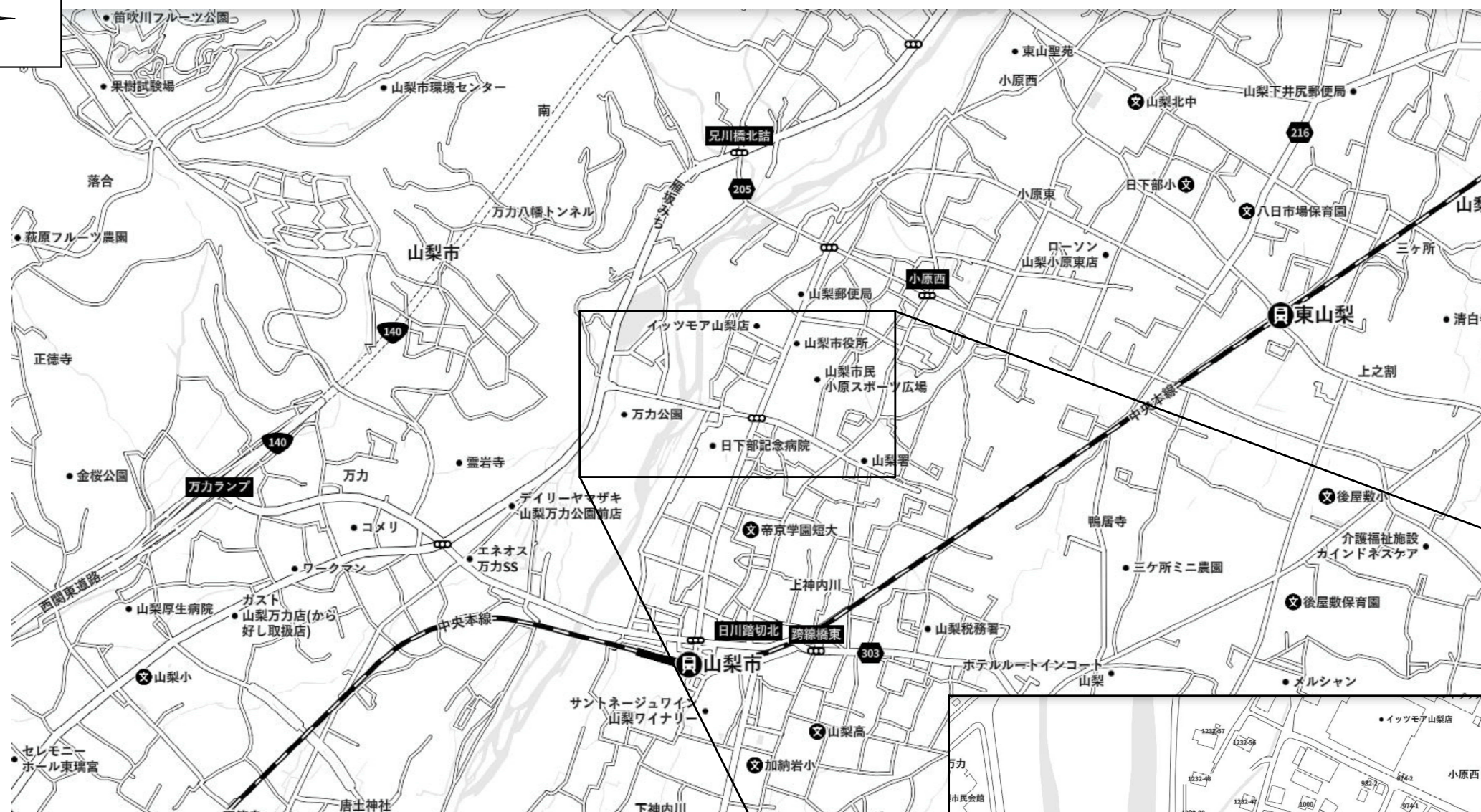
樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

SCALE NON
DATE

SUBJECT 旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

特記仕様書 - 5

No. D -005

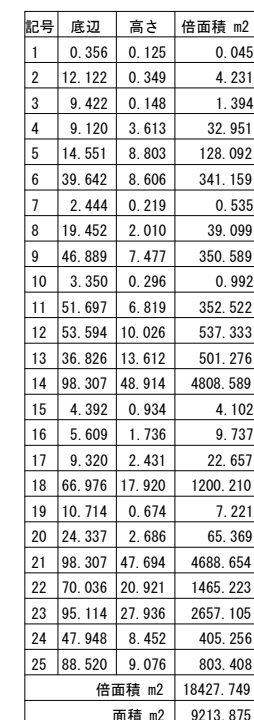


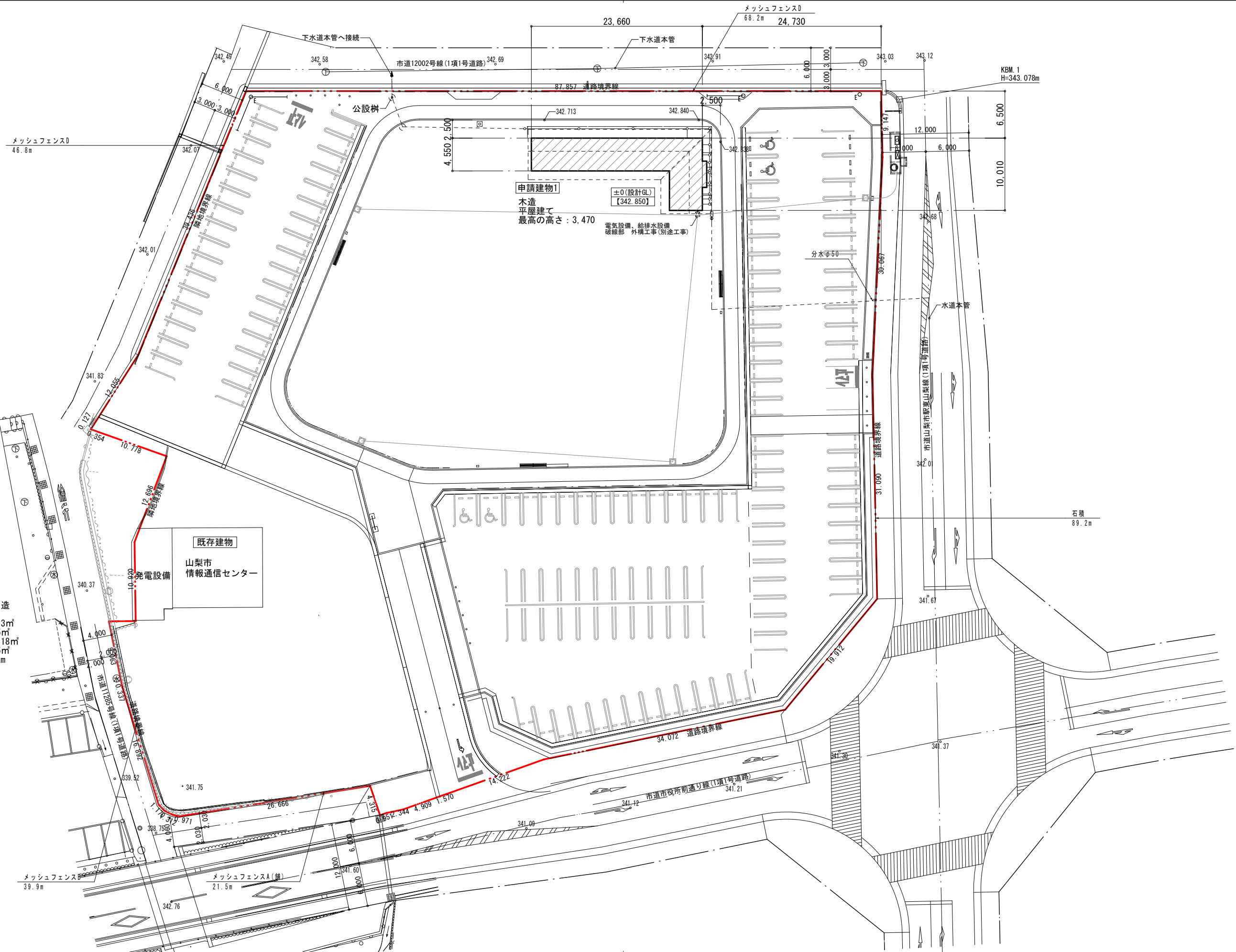
案内図

No. D - 01

DATE _____

SUBJECT 旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事





■ 既存建物概要
鉄筋コンクリート造
2階建て
1階床面積：128.13㎡
2階床面積：73.05㎡
延べ床面積：201.18㎡
建築面積：131.15㎡
最高の高さ：8.21m

既存建物

樋沢 建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市横根町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (梨) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋澤博次

SCALE	1/500 (A3)
-------	------------

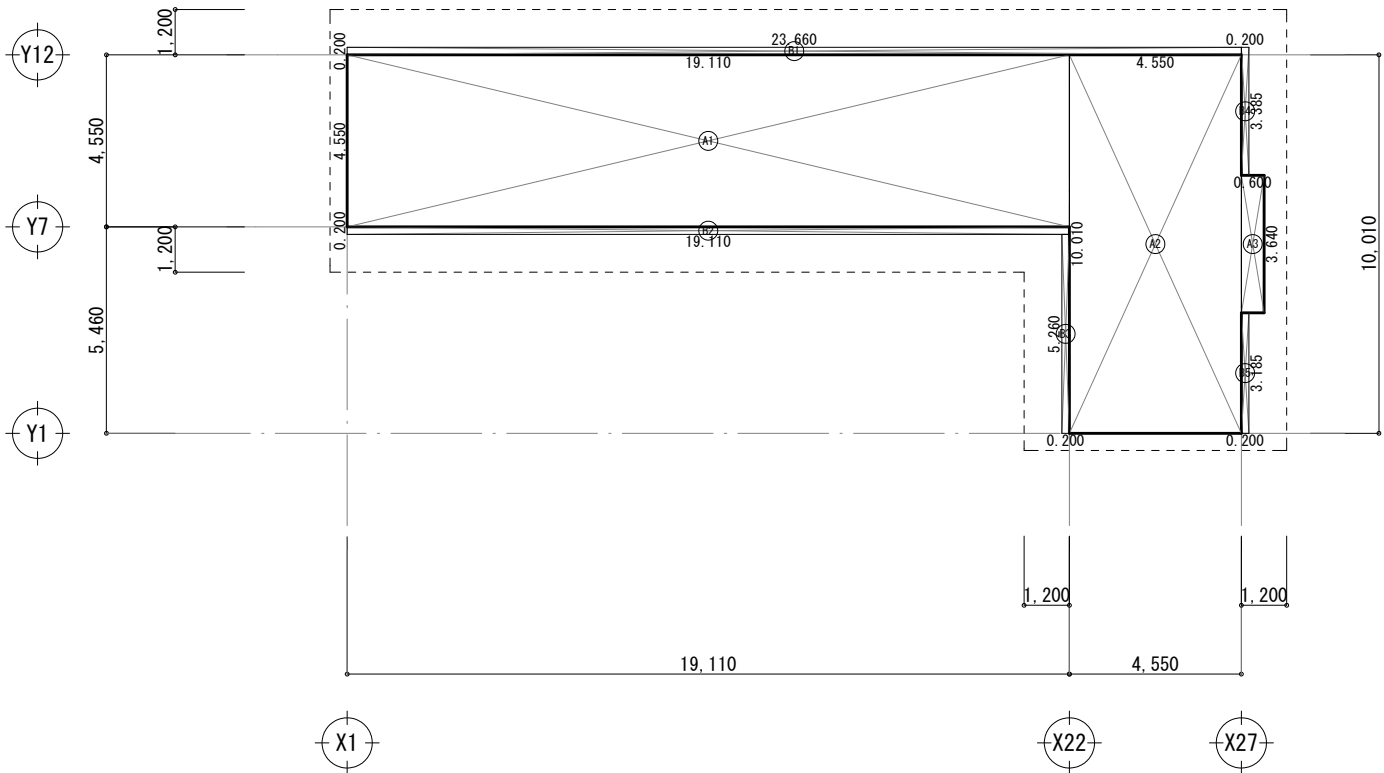
DATE _____

SUBJECT 旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

配置图

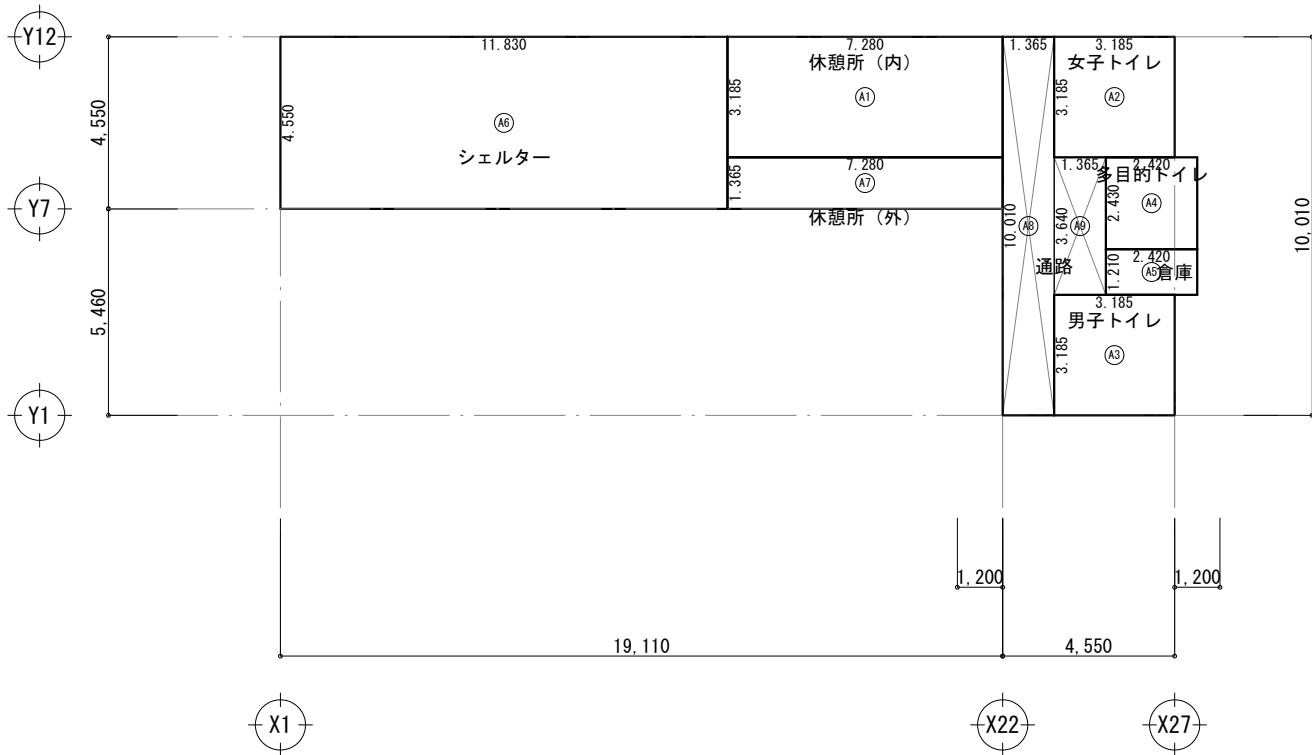
No. D - 03

■ 建物求積図



建物求積表			建築面積算入部分		
	計 算 式	面 積 (㎡)		計 算 式	面 積 (㎡)
(A1)	19.110 × 4.550	86.950	(B1)	23.660 × 0.200	4.732
(A2)	4.550 × 10.010	45.545	(B2)	19.110 × 0.200	3.822
(A3)	0.600 × 3.640	2.184	(B3)	0.200 × 5.260	1.052
延床面積		134.67	(B4)	0.200 × 3.385	0.677
			(B5)	0.200 × 3.185	0.637
			合 計		10.92
			建築面積		145.59

■ 各室求積図



各室求積表					
室名		計 算 式	計	面積 (㎡)	面 積 (坪)
休憩所 (内)	(A1)	7.280 × 3.185	23.186	23.18	7.0
女子トイレ	(A2)	3.185 × 3.185	10.144	10.14	3.0625
男子トイレ	(A3)	3.185 × 3.185	10.144	10.14	3.0625
多目的トイレ	(A4)	2.420 × 2.430	5.880	5.88	1.775
倉庫	(A5)	2.420 × 1.210	2.928	2.92	0.885
シェルター	(A6)	11.830 × 4.550	53.826	53.82	16.25
休憩所 (外)	(A7)	7.280 × 1.365	9.937	9.93	3.0
通路	(A8)	1.365 × 10.010	13.663	18.63	5.625
	(A9)	1.365 × 3.640	4.968		



樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE
1/200(A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

建物求積図、各室求積図

■共通事項

・ 図中品番、品名、メーカーは性能、仕様の程度を示す参考とする。

・ 内装材、接着材、家具、天井裏に使用する材料はF☆☆☆☆または規制対象外の材料とする。

・ 手摺、衛生器具等の取付には適宜補強を施すこと。

・ 工法の異なるボード面にはクラック防止目地を施すこと。

・ 割付が必要な材料を使用している箇所はとし施工図により決定するものとする。（図中表記のある割付は参考とする）

・ 図面に記載無き事項についても、構造・機能・安全上必要と思われるものは施工者の責任において施工すること。

表示略号

GB-R

GB-R

GB-S

GB-S

GB-F

GB-L

GB-D (T)

GB-D (P)

GB-D (W)

GB-NC

GB-NC (T)

GB-R-H

GB-P

DR

DR (凹凸)

FK

FK-D

FB

HW

NW

HF

NF

IB

表示略号

せっこうボード

せっこうボード

シージングせっこうボード

シージングせっこうボード

強化せっこうボード

せっこうラスボード

化粧せっこうボード (トラバーチン模様)

化粧せっこうボード (スライ7模様)

化粧せっこうボード (木目模様)

不燃積層せっこうボード

不燃積層せっこうボード (トラバーチン模様)

普通硬質せっこうボード

吸音用穴なきせっこうボード

ロックウール化粧吸音板

ロックウール化粧吸音板 (凹凸模様)

けい酸カルシウム板 (タイプ2)

化粧けい酸カルシウム板 (タイプ2)

フレキシブルボード

硬質木毛セメント板

普通木毛セメント板

硬質木片セメント板

普通木片セメント板

インシュレーションボード

厚さ

t9. 5

t12. 5

t9. 5、t12. 5

t12. 5

12. 5以上

t7. 0

t9. 5

t9. 5

t9. 5

t9. 5

t9. 5以上

t9. 5

t9. 5、t12. 5

t12. 5以上

t5. 0以上

t6. 0以上

t3. 0以上

t15. 0以上

t15. 0以上

t12. 0以上

t25. 0以上

t9、t12

防火種別

準不燃

不燃

準不燃

不燃

不燃

—

準不燃

準不燃

準不燃

不燃

不燃

準不燃

不燃

不燃

不燃

不燃

不燃

準不燃

準不燃

準不燃

—

認定番号

QM-9828

NM-8619

QM-0898

NM-9639

NM-8615

QM-0524

QM-0524

QM-0524

NM-0441

NM-1864

NM-9645

QM-9827

NM-8599

NM-8599

NM-8576

NM-8576

NM-8576

QM-9701

QM-9701

QM-9706

QM-9705

備考 (参考製品・品番)

ジブトーン

不燃ジブトーン

ソーラトン平板

ソーラトンキューブ

表示略号

KT

TT

FT

FOA

FOB

TS

FS

HS

KS

SUS

AL

St

HL

ALC

表示事項

コンポジションビニル床タイル

単層ビニル床タイル

複層ビニル床タイル

置敷きビニル床タイル (t≥4mm)

薄形置敷きビニル床タイル (4mm>t)

単層ビニル床シート

複層ビニル床シート

発泡複層ビニル床シート

クッションフロア

ステンレス304

アルミ

スチール

ヘアライン仕上げ

軽量気泡コンクリート

備考 (参考製品・品番)

表示略号

SOP

CL

NAD

DP

EP-G

EP

EP-T

UC

LE

OS

OF

WP

XPS3b

GWHG※※

PF1. 2

C

M

LGS

W

表示事項

合成樹脂調合ペイント

クリアラッカー塗り

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

耐候性塗料塗り

つや有り合成樹脂エマルションペイント

合成樹脂エマルションペイント

合成樹脂エマルション模様塗料塗

ウレタン樹脂ワニス塗り

ラッカーエナメル塗り

オイルステイン塗り

オイルフィニッシュ塗装

木部保護塗料塗り

押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種B

高性能グラスウール (※※kg/m3)

フェノールフォーム断熱材1種2号

コンクリート下地

モルタル下地

軽量鉄骨下地

木下地

備考 (参考製品・品番)

VATON FX

VATON プラス

スタイロエースⅡ

イソペール

フェノバードJ

外 部 仕 上 表

屋 根

ガルバリウム鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き 勾配1. 5寸、2. 25寸 雪止め：L-50*50*t4 溶融亜鉛メッキ処理
アスファルトルーフィング940、IB t=9. 0
野地板：構造用合板 t=12. 0

犬 走 り

コンクリート刷毛引き 伸縮目地切

外 壁

A：杉板 t=12 杉目板付縦羽目板張り WP、通気胴縁 18*45、透湿防水シート、構造用合板t=9. 0
B：外装薄塗材E、ガラス繊維ネット入り軽量ラスモルタル t=20、通気ラス、通気胴縁 18*45、透湿防水シート、構造用合板t=9. 0

断 熱 材

屋根、天井：GWHG16 t=105
壁：GWHG16 t=105

軒 天

杉板 t=12 羽目板張り WP

外 巾 木

コンクリート打放補修下地 ポリマーセメント系微弾性塗装 (基礎巾木専用塗料)

樋

軒樋：硬質塩ビ製既製品 前高120 底巾100タイプ
縦樋：硬質塩ビ製既製品 75φ

開 口 部

アルミサッシ、スチールドア

内 部 仕 上 表

階

室 名

床高
設計GL

床
下地
仕上

巾木

壁
下地
仕上

天井
下地
仕上

廻縁

天井高
1FL+

造作材

塗装

備考

別途

1

休憩所 (内)

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
防塵塗装 (防滑) 伸縮目地切

モルタル金ゴテ

W

GB-R t=12. 5 ビニールクロス貼り

W

GB-R t=9. 5 ビニールクロス貼り

木製
25*25

2, 650

杉

OS

男子トイレ

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
エポキシ樹脂系塗床

SUS t=2. 0
HL H=60

W

GB-S t=12. 5下地 FK-D t=6. 0

W

FK t=6. 0 目透し張り EP-G

塩ビ製

2, 500

同上

同上

目隠し壁、ライニング
汚垂タイル

女子トイレ

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
エポキシ樹脂系塗床

SUS t=2. 0
HL H=60

W

GB-S t=12. 5下地 FK-D t=6. 0

W

FK t=6. 0 目透し張り EP-G

塩ビ製

2, 500

同上

同上

目隠し壁、ライニング

多目的トイレ

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
エポキシ樹脂系塗床

SUS t=2. 0
HL H=60

W

GB-S t=12. 5下地 FK-D t=6. 0

W

FK t=6. 0 目透し張り EP-G

塩ビ製

2, 500

同上

同上

ライニング

倉 庫

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
防塵塗装

モルタル金ゴテ

W

GB-S t=12. 5下地 FK-D t=6. 0

W

FK t=6. 0 目透し張り EP-G

塩ビ製

2, 500

同上

同上

ライニング

シェルター

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
防塵塗装 (防滑) 伸縮目地切

外巾木

W

外壁仕上げ

W

軒天現し

屋根現し

同上

同上

ベンチA*1、ベンチB*1

休憩所 (外)

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
防塵塗装 (防滑) 伸縮目地切

外巾木

W

外壁仕上げ

W

軒天現し

屋根現し

同上

同上

ベンチA*2

通 路

+50

C

コンクリート直直し金ゴテ押え
防塵塗装 (防滑) 伸縮目地切

外巾木

W

外壁仕上げ

W

軒天現し

屋根現し

同上

同上

特記事項

・ 造作材 (額縁、見切縁)：杉 (上小節程度)

・ 仕上板材 (外壁、軒天、天井)：杉 (特一化粧程度)

・ ビニールクロスは中級品程度とする。

■参考メーカー・品名・品番等リスト

・ 外装薄塗材E

ジョリパット JP-100 エンシェントブリックス【アイカ工業㈱】

・ 防塵塗装

アクアカラー【アシュフォードジャパン】

・ 軒樋

ファインスケアNF-I 型【バナソニック㈱】

・ 防塵塗装 (防滑)

アクアカラー+ノンスリップパウダー【アシュフォードジャパン】

・ 軒先換気口

FV-DE12-L18【城東テクノ】

・ エポキシ樹脂系塗床

アーキフロアEH (防滑仕上げ)【エスケー化研㈱】

・ 模換気

リッチベンツ182【日本住環境㈱】

・ FK-D

アイカハイボード不燃 目地シーリング処理【アイカ工業㈱】

・ ポリマーセメント系微弾性塗装

基礎ガード【菊水化学工業㈱】

・

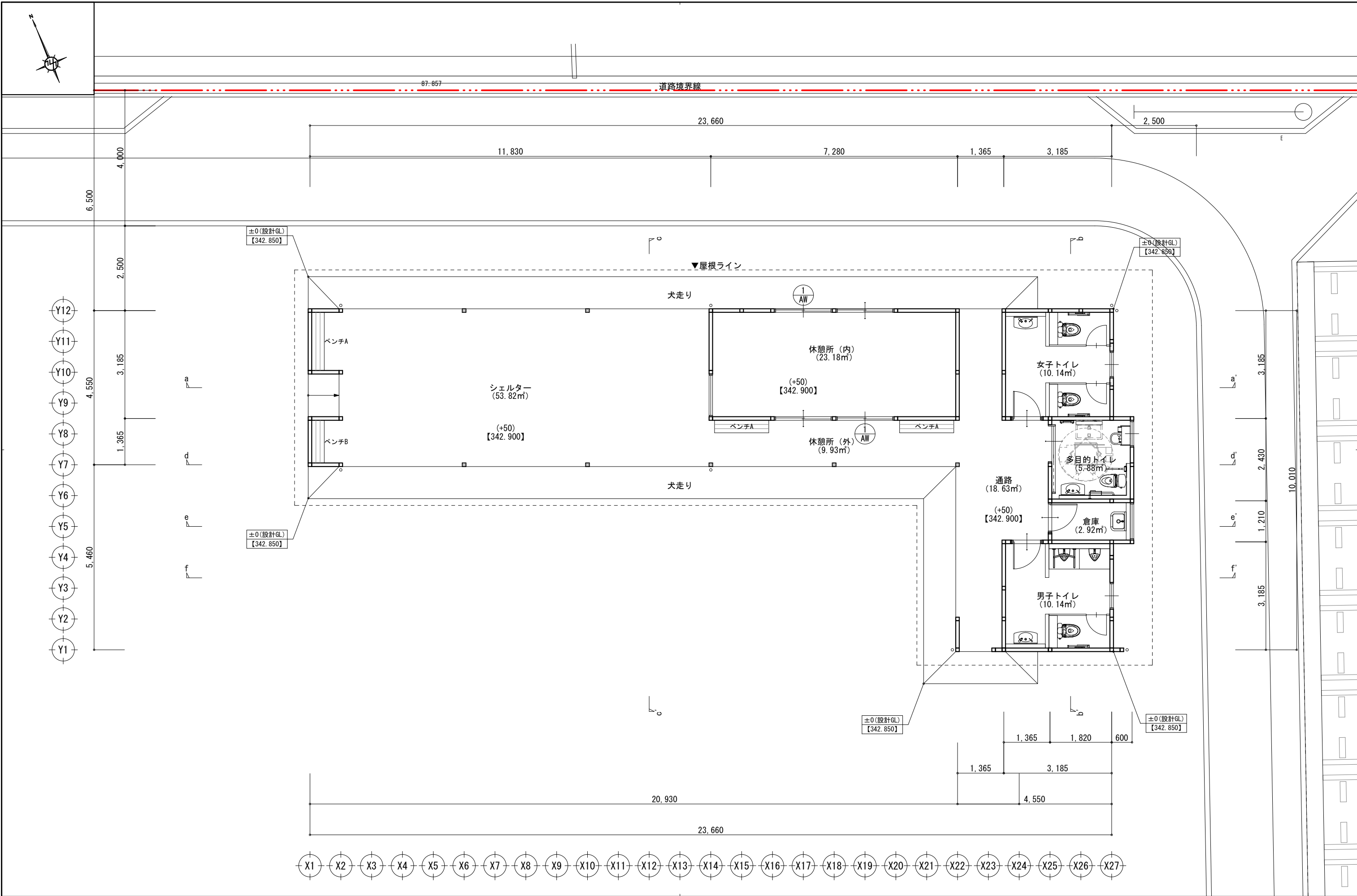
〒400-0802 山梨県甲府市横根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (契) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

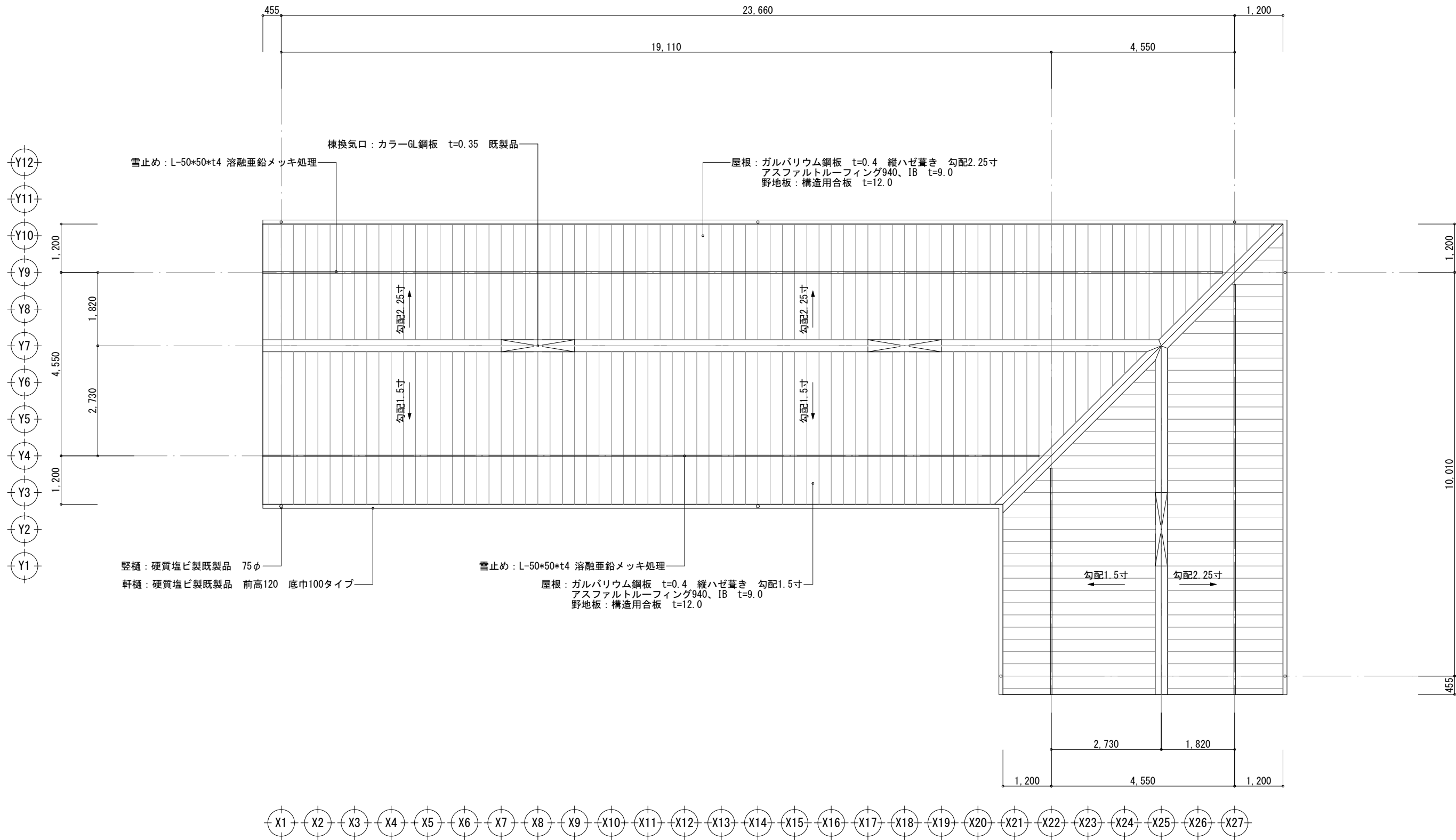
樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

SCALE
NON
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事
仕 上 表

No. D - 05





■小屋裏換気（軒先給気、棟排気）														
		必要給気口 面積（㎡）	給気口面積（㎡）					必要排気口 面積（㎡）	排気口面積（㎡）					
			仕様	軒先換気口既製品					仕様	棟換気口既製品				
階	天井面積（㎡）	1/900	㎡/㎡	長さ（m）	箇所数	合計（㎡）	判定	1/1600	㎡/㎡	長さ（m）	箇所数	合計（㎡）	判定	
1	208.70	0.231	0.0101	1.82	13	0.238	OK	0.130	0.0335	1.82	3	0.182	OK	
備考	参考換気量品番 給気口：FV-DE12-L18【城東テクノ】、排気口：リッチペンツ182【日本住環境株】													



樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

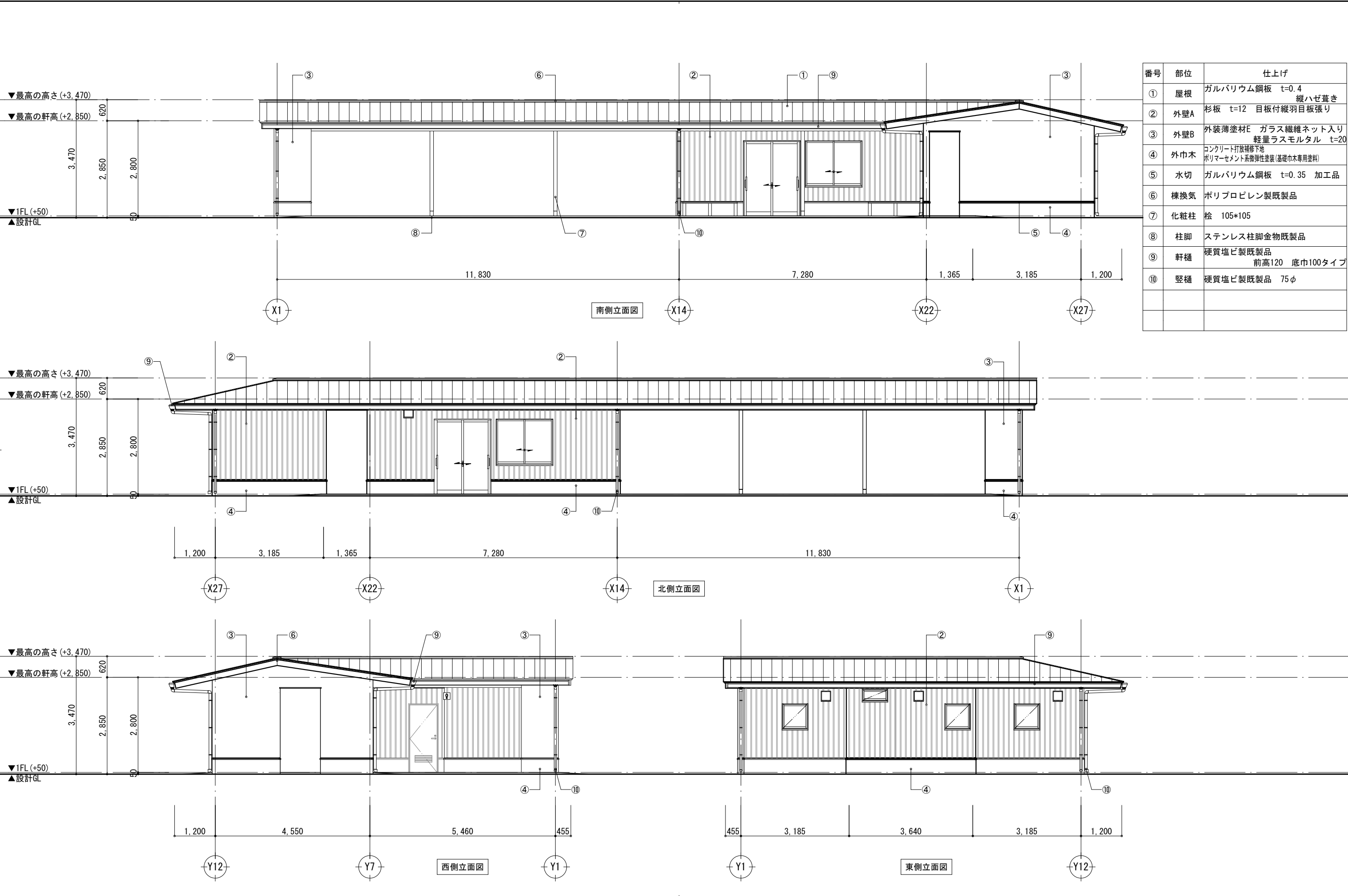
〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (業) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE
1/100(A3)
DATE

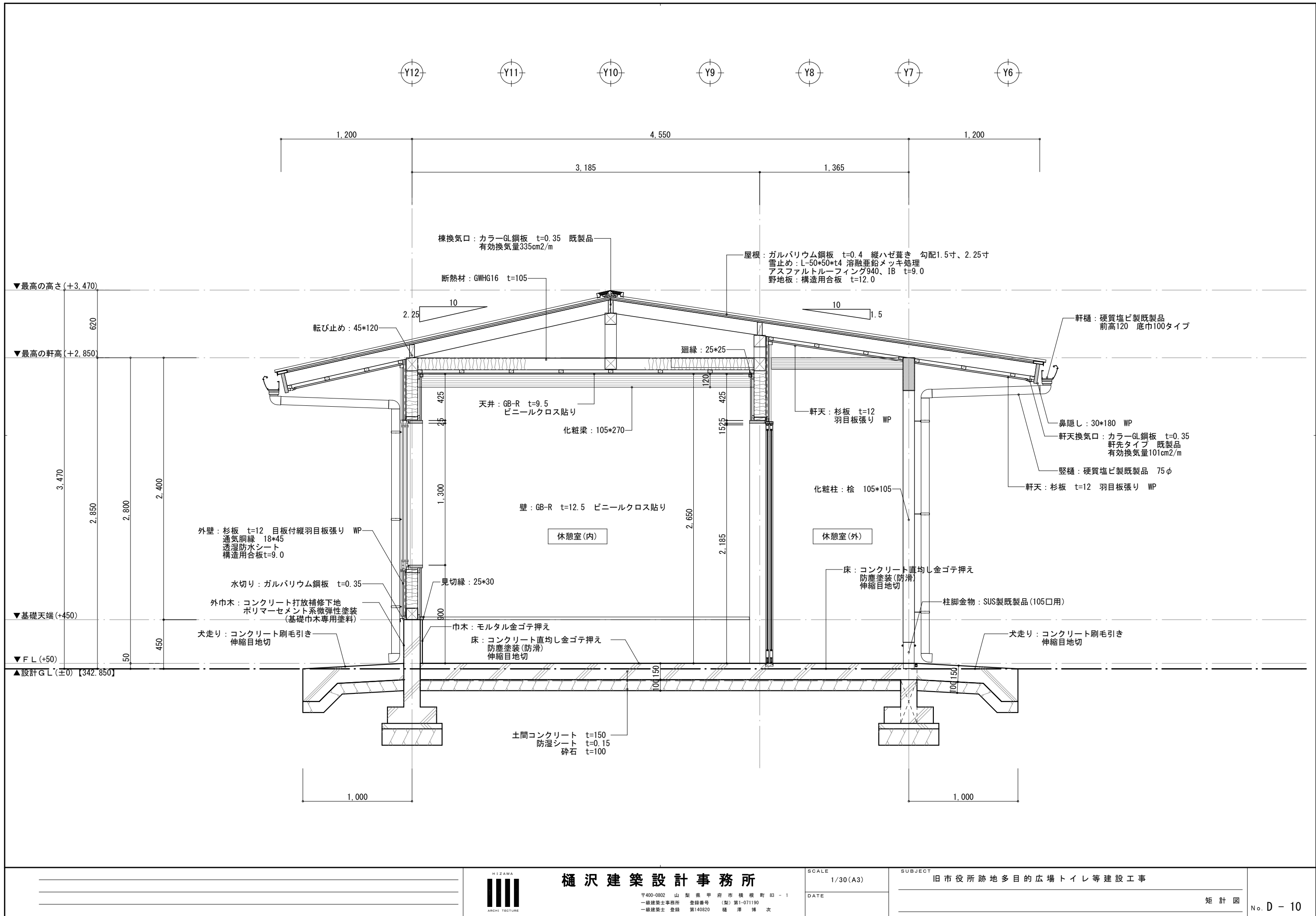
SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

屋 根 伏 図

No. D - 07



番号	部位	仕上げ
①	屋根	ガルバリウム鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き
②	外壁A	杉板 t=12 目板付縦羽目板張り
③	外壁B	外装薄塗材E ガラス繊維ネット入り 軽量ラスモルタル t=20
④	外巾木	コンクリート打放補修下地 ポリマーセメント系微弾性塗装(基礎巾木専用塗料)
⑤	水切	ガルバリウム鋼板 t=0.35 加工品
⑥	棟換気	ポリプロピレン製既製品
⑦	化粧柱	桧 105*105
⑧	柱脚	ステンレス柱脚金物既製品
⑨	軒樋	硬質塩ビ製既製品 前高120 底巾100タイプ
⑩	縦樋	硬質塩ビ製既製品 75φ



樋沢建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市横根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (梨) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋沢博次

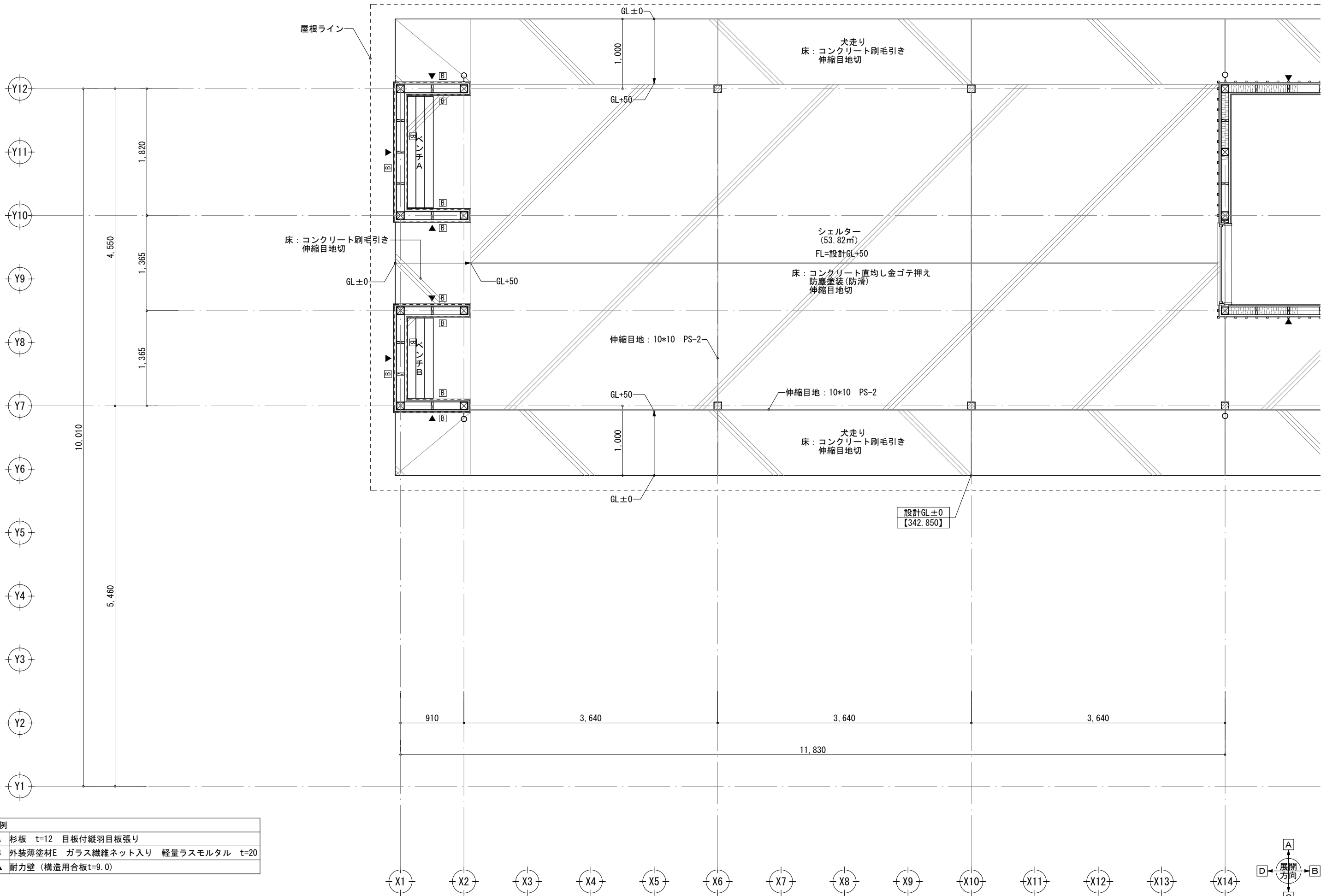
SCALE
1/30(A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

矩計図

No. D - 10



凡例	
A	杉板 t=12 目板付縦羽目板張り
B	外装薄塗材E ガラス繊維ネット入り 軽量ラスモルタル t=20
▲	耐力壁 (構造用合板t=9.0)

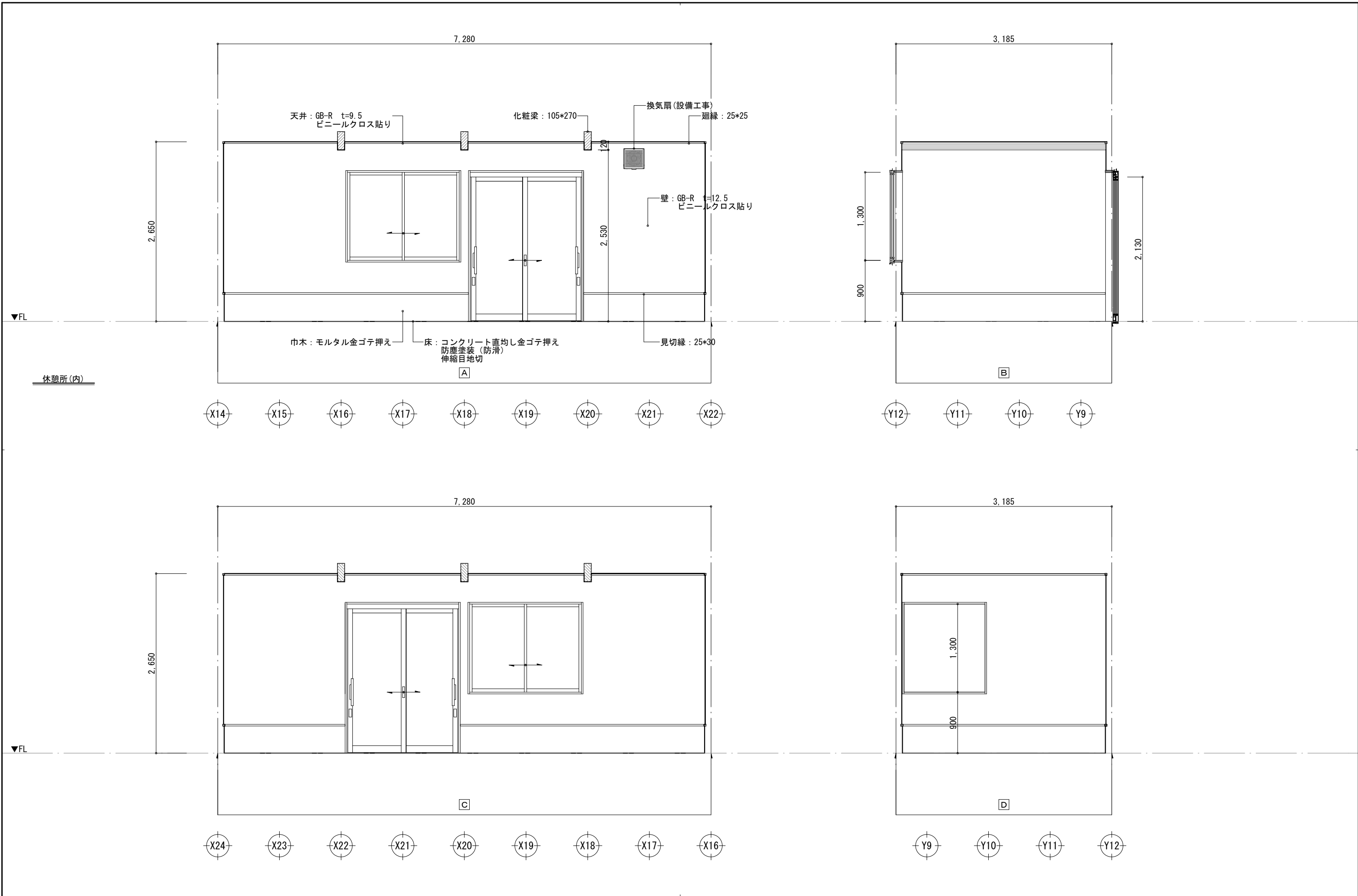


樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 機 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE	1/50 (A3)
DATE	

SUBJECT	旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事
	平面詳細図 1





樋沢建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市橋根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

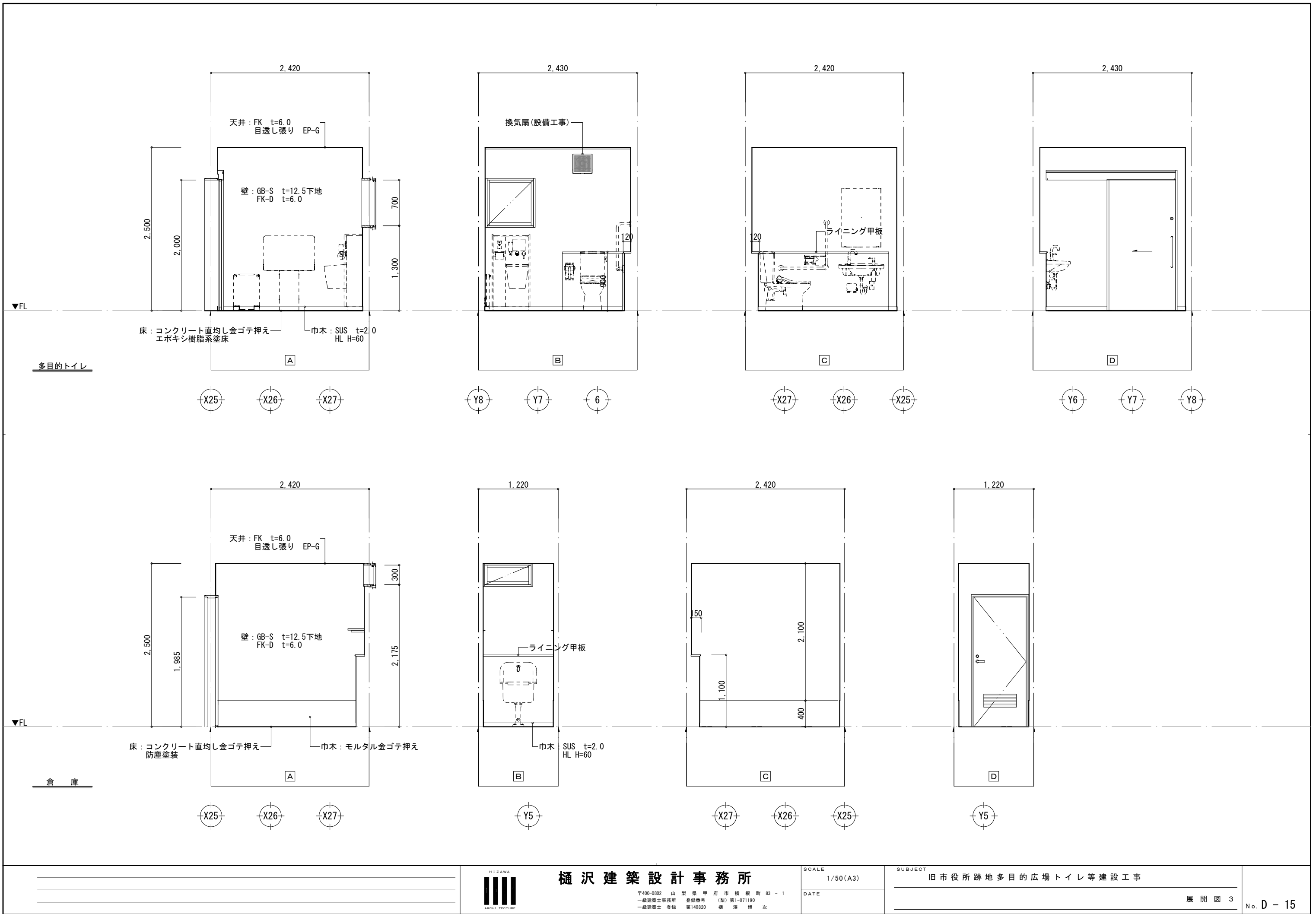
SCALE
1/50 (A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

展開図 1

No. D - 13





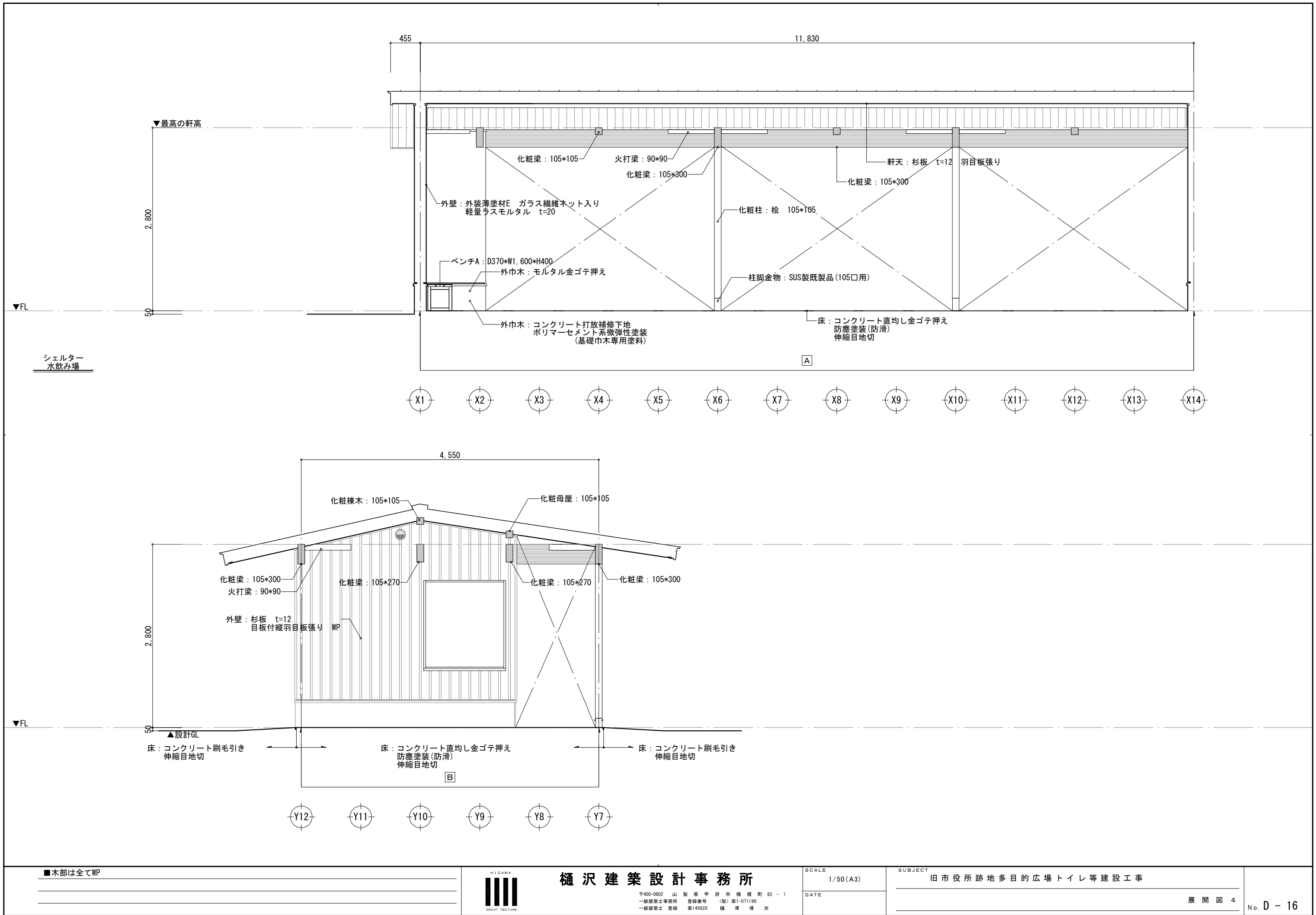
樋沢建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市横根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋澤博次

SCALE
1/50(A3)
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

展開図 3



■木部は全てWP



樋沢建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市横根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (製)第1-071190
一級建築士 登録 第140820 種 澤 博 次

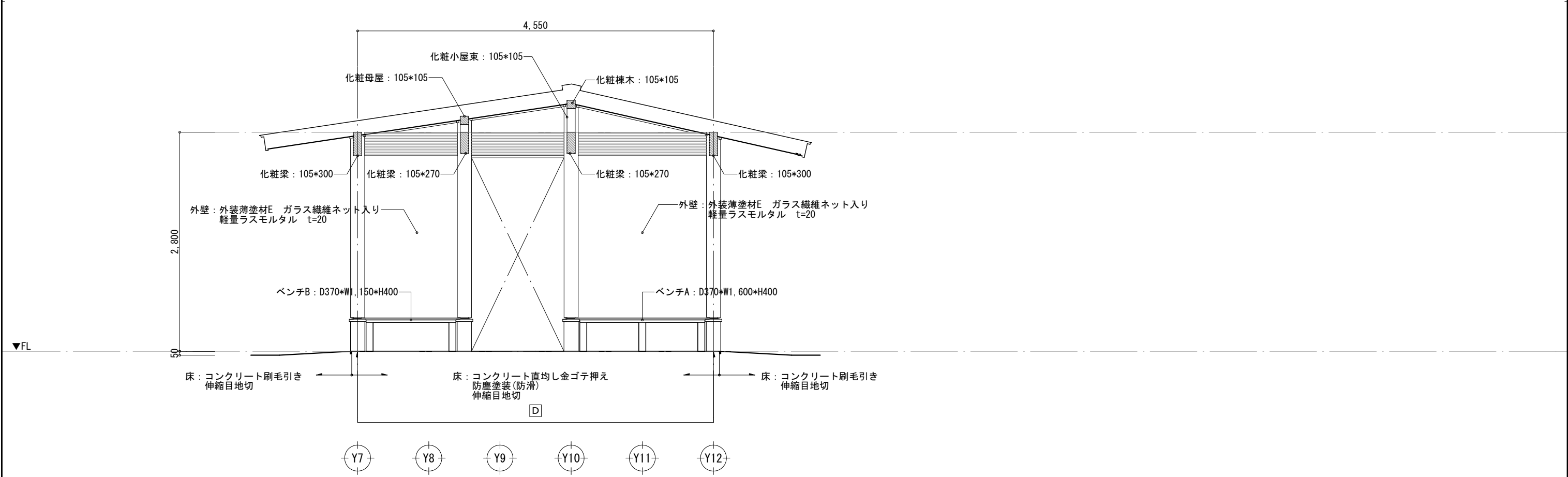
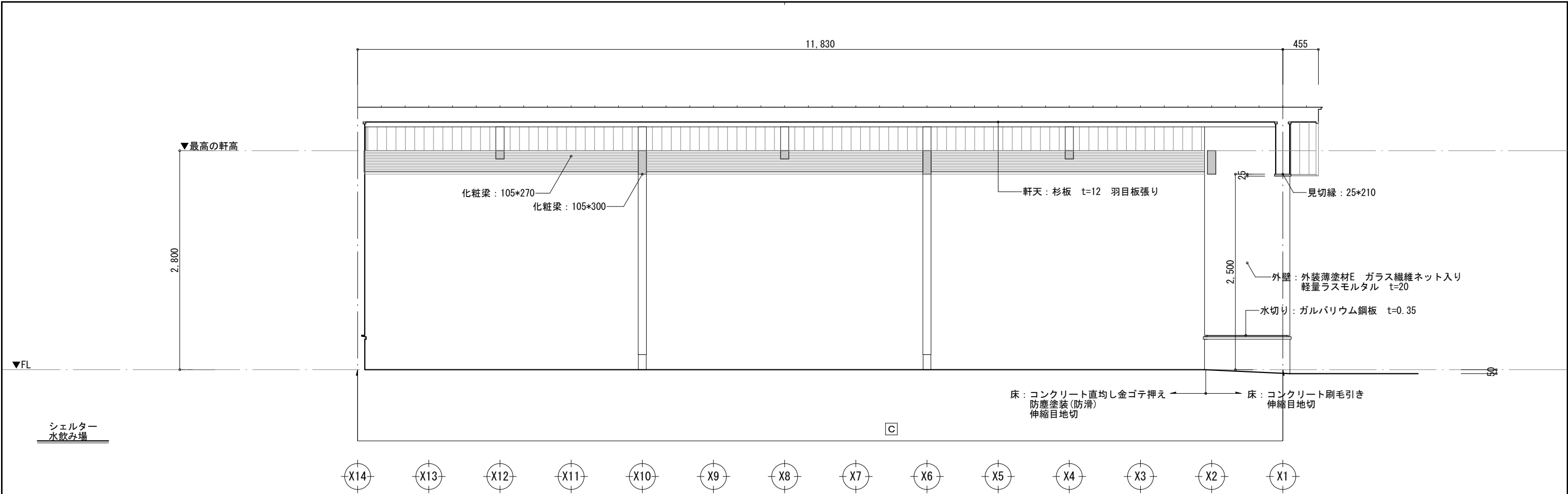
SCALE
1/50 (A3)

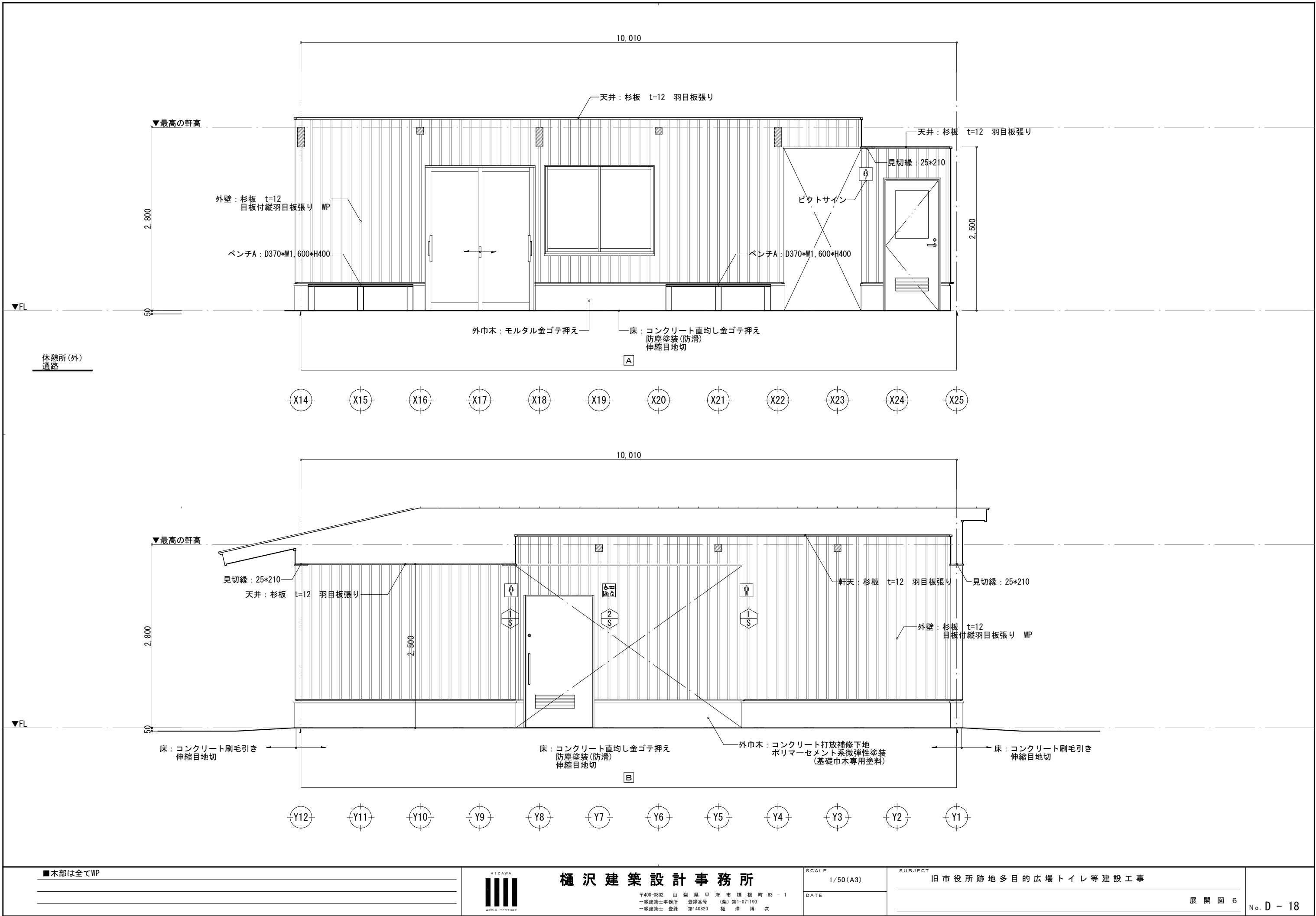
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

展開図 4

No. D - 16





■木部は全てWP



樋沢建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市横根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (梨) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋澤博次

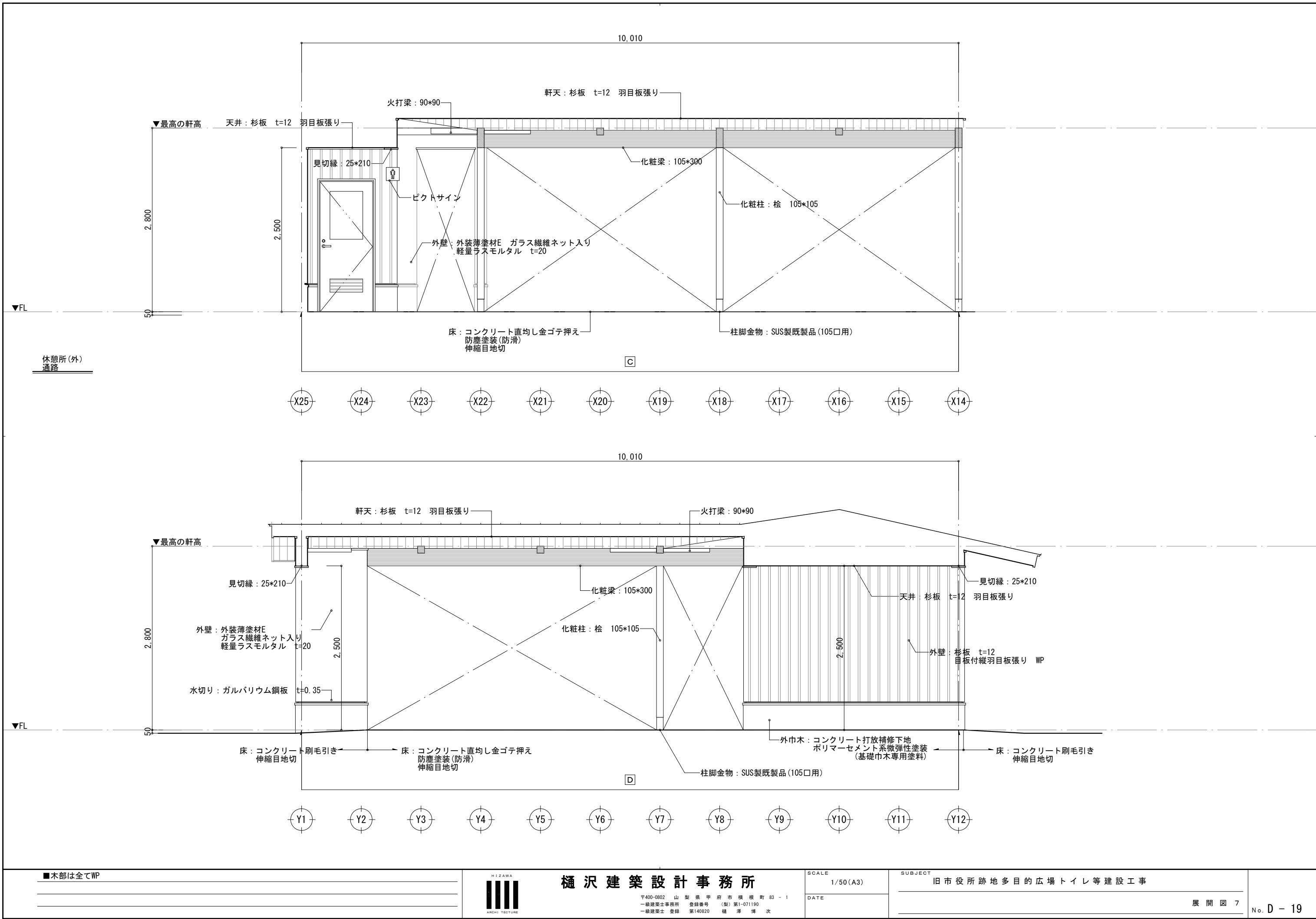
SCALE
1/50 (A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

展開図 6

No. D - 18



■木部は全てWP



樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (甲) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 沢 博 次

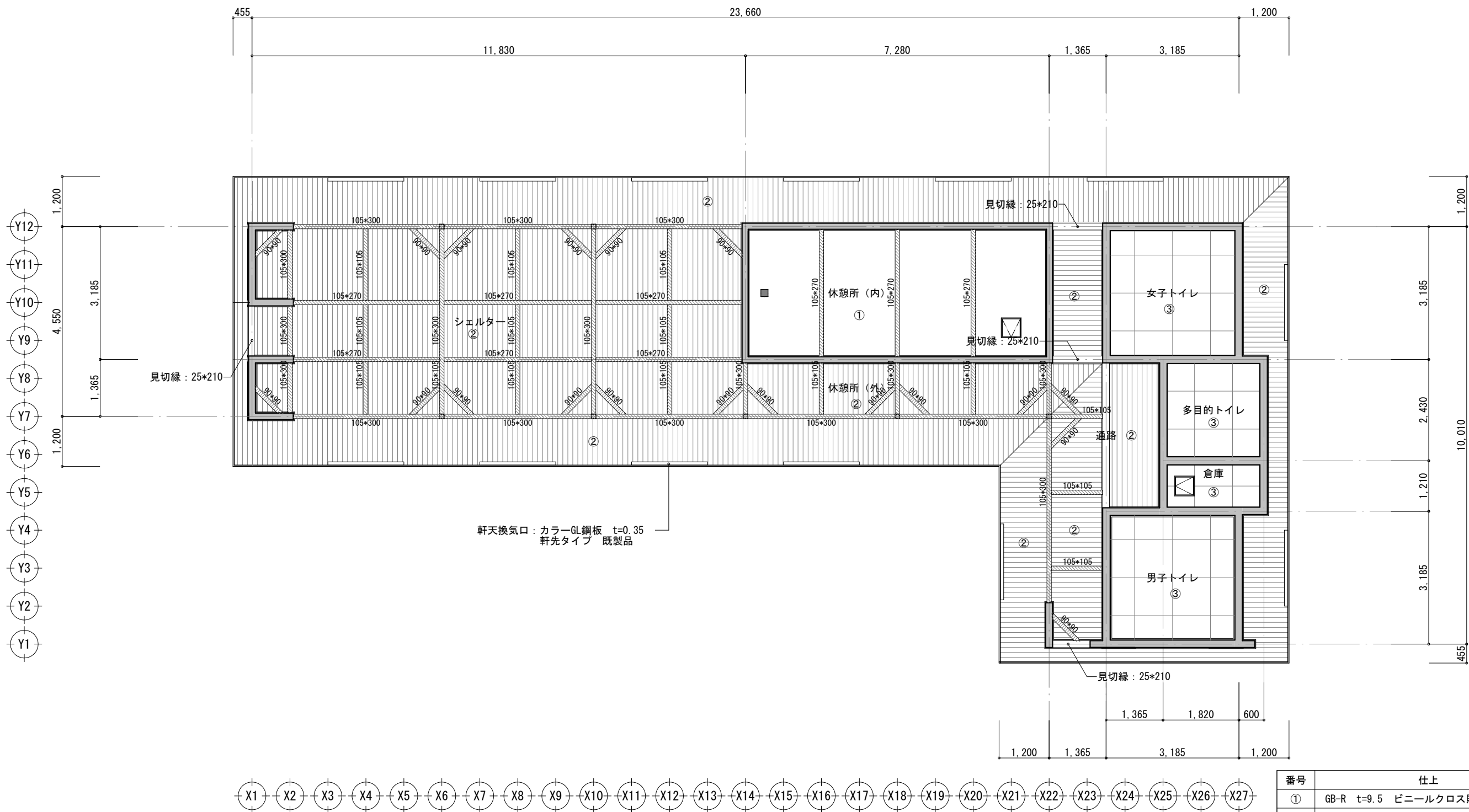
SCALE
1/50 (A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

展 開 図 7

No. D - 19



番号	仕上
①	GB-R t=9.5 ビニールクロス貼り
②	杉板 t=12 羽目板張り WP
③	FK t=6.0 目透し張 EP-G
■	化粧柱
▨	化粧梁
□	天井点検口 450口 アルミ枠既製品

樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

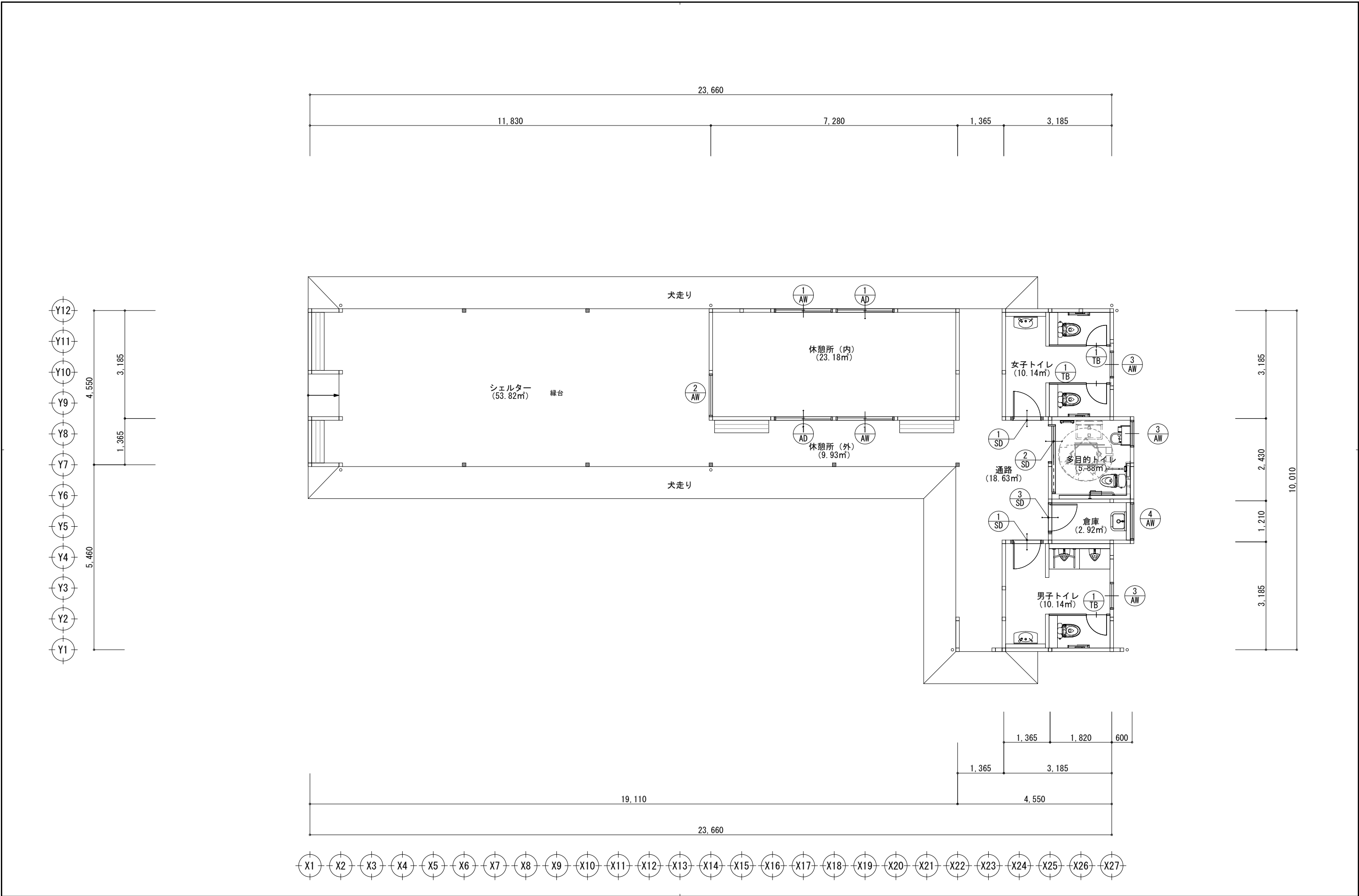
SCALE
1/100 (A3)

DATE

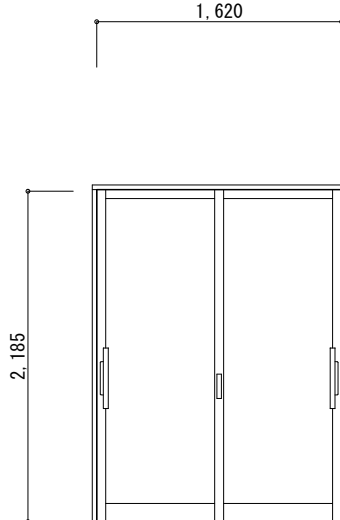
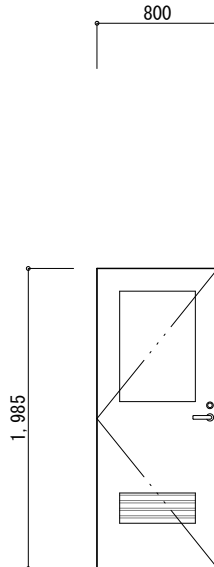
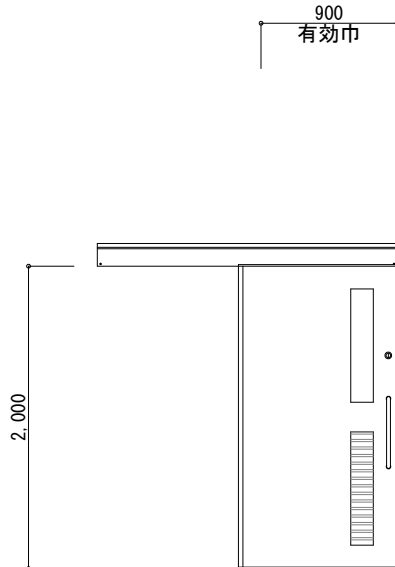
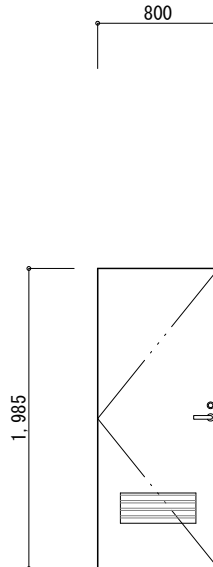
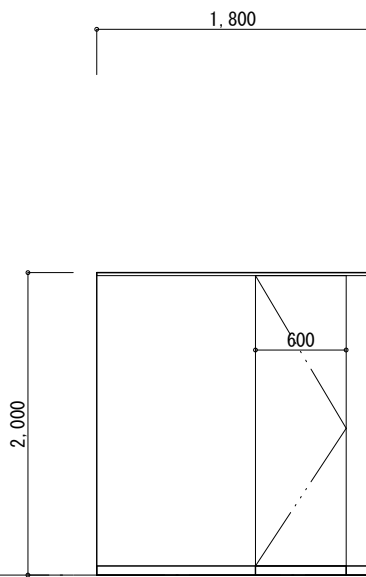
SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

天 井 伏 図

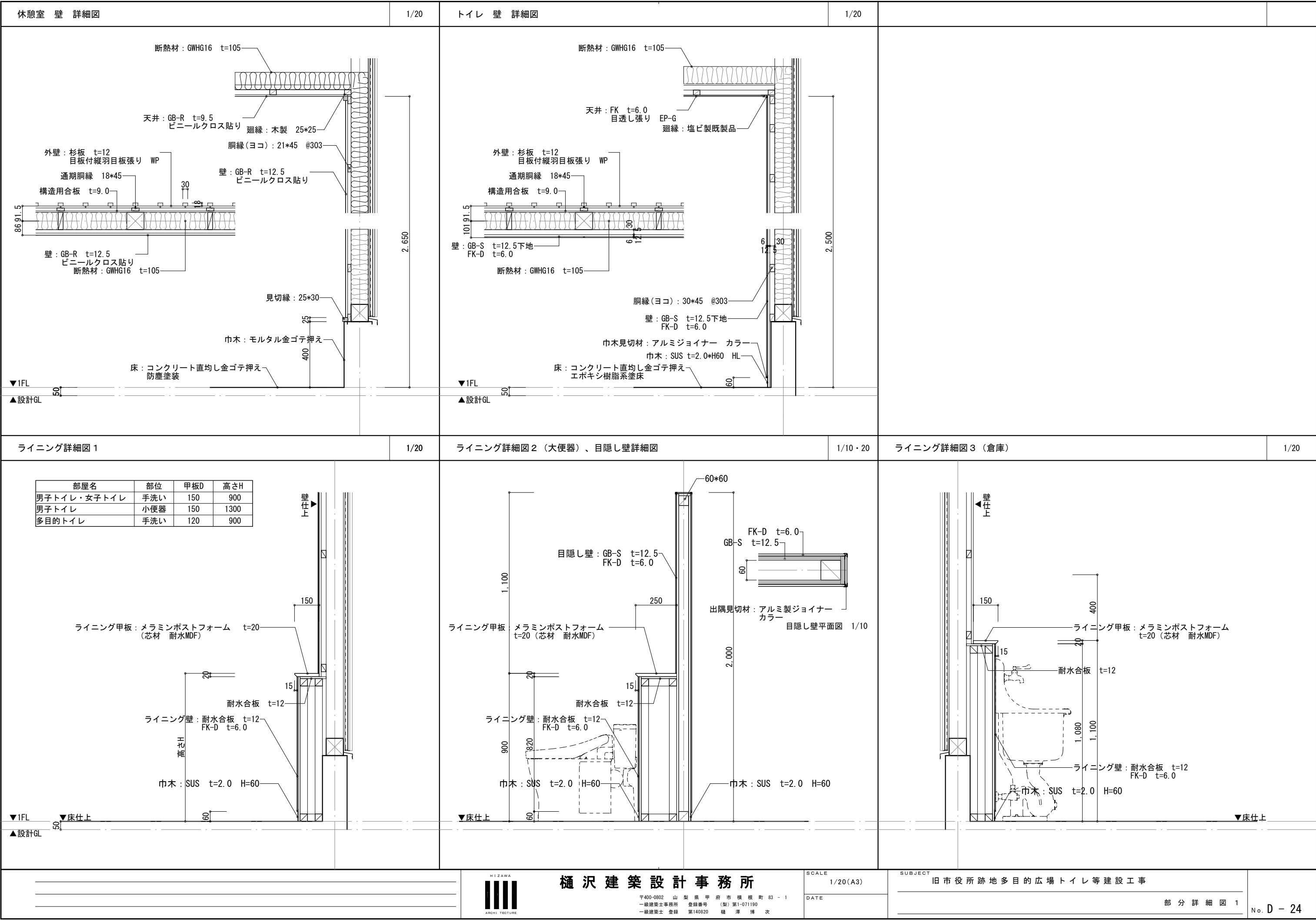
No. D - 20

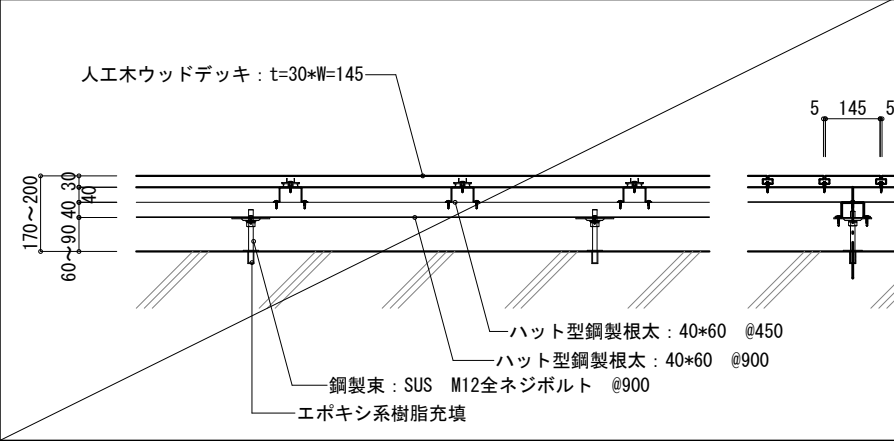
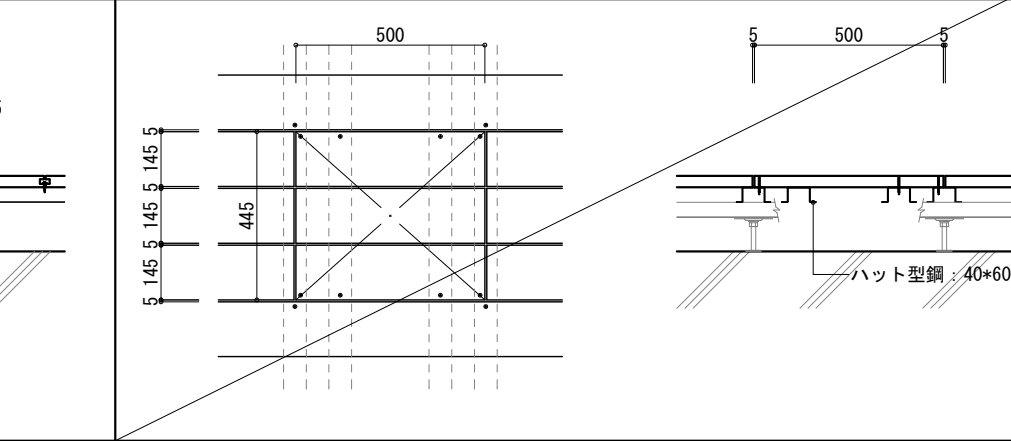
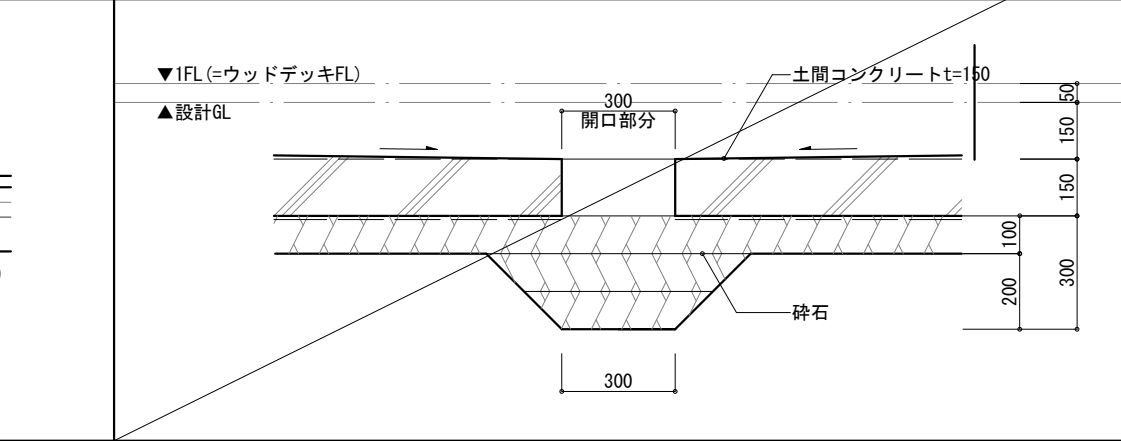
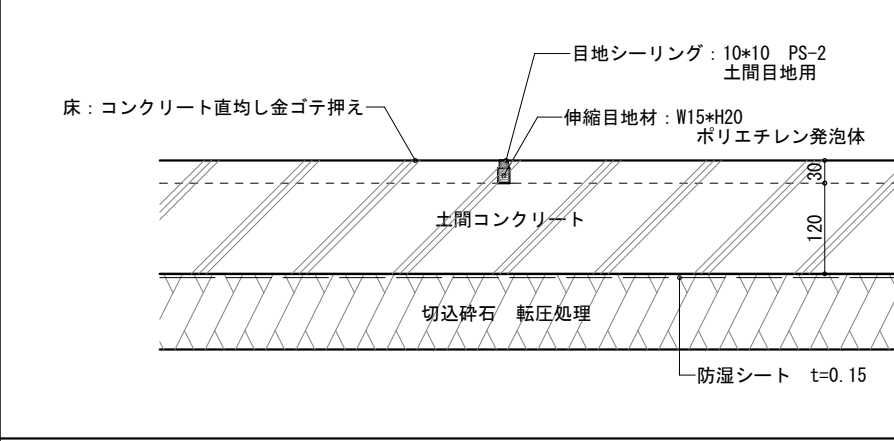
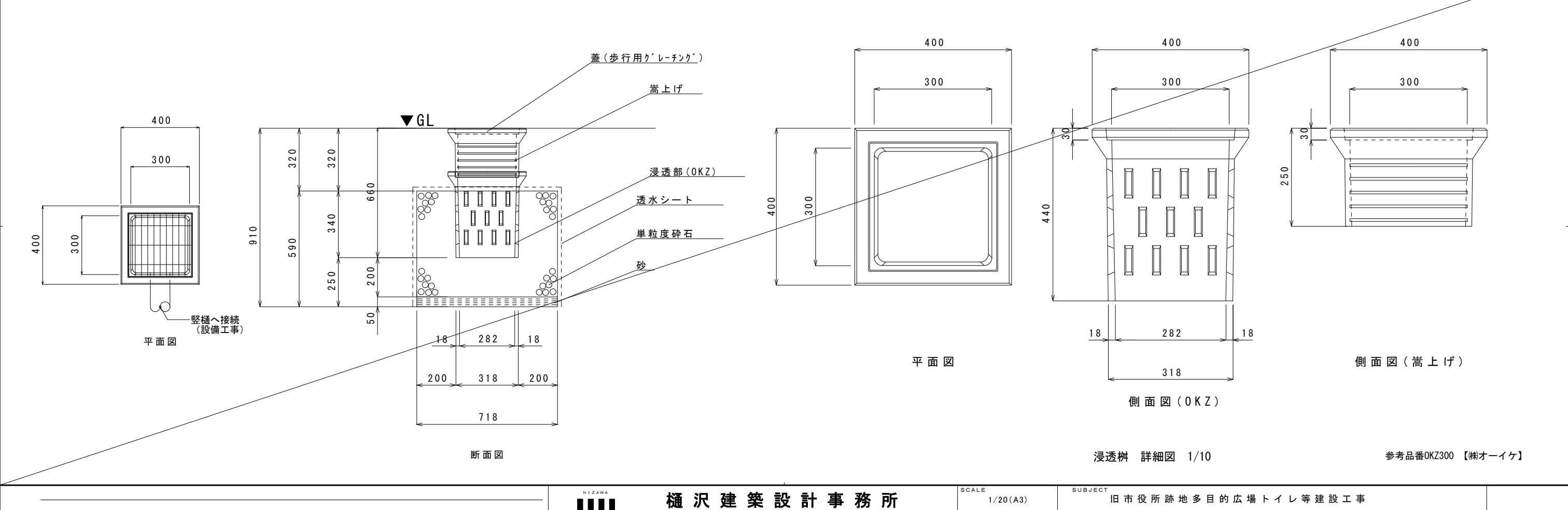


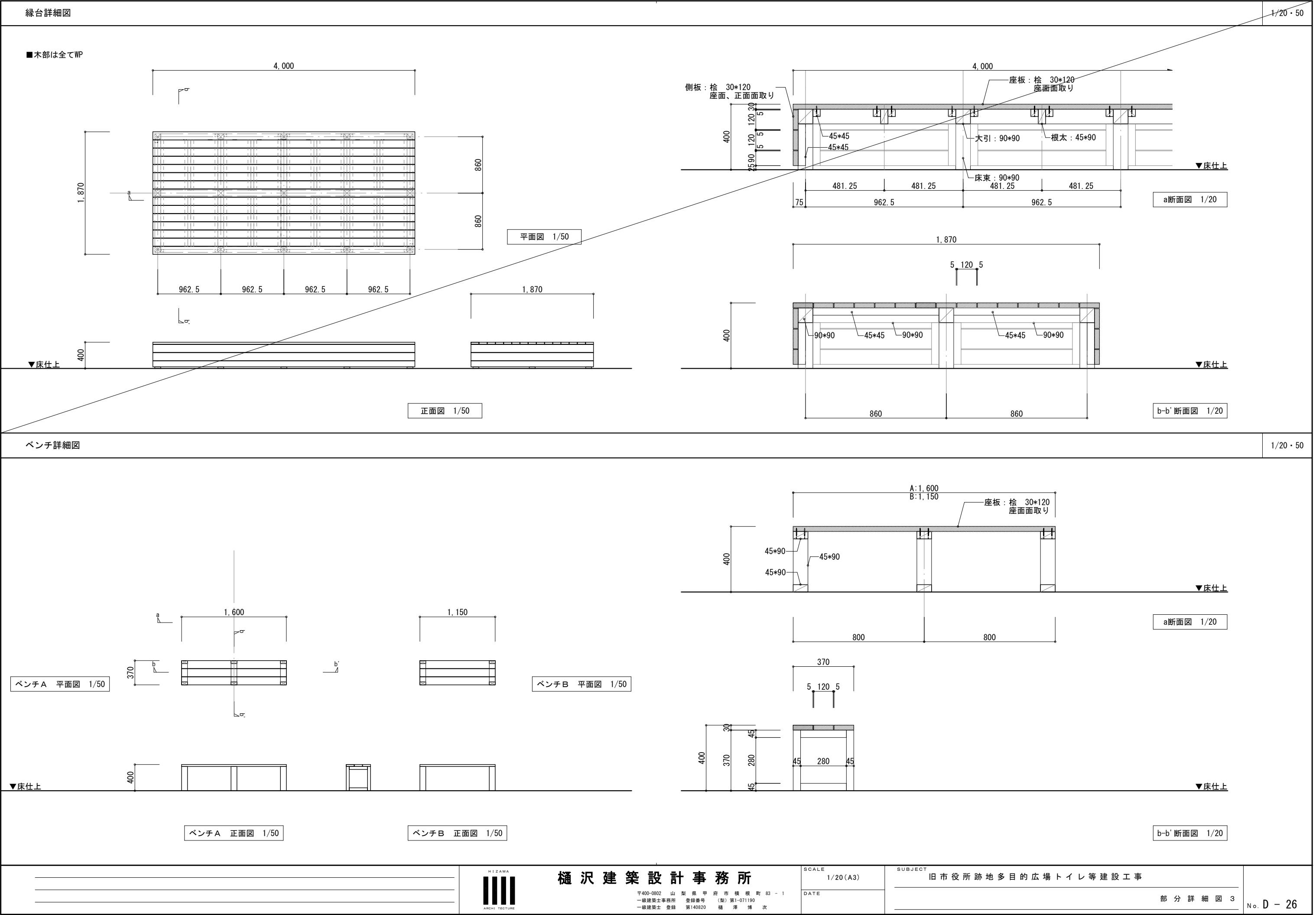
共 通 事 項																			
表示略号		表示事項		表示略号		表示事項		表示略号		表示事項		防火指定 (告示/認定番号同等品)		(特記無き場合は以下とする)		建具寸法			
A D		アルミニウム製戸		T B		トイレブース		特		常時閉鎖式特定防火設備		告示1369号		・ AWの水切りはアルミ製既製品とする。		<div>鋼製建具</div> <div>アルミ製建具</div>			
A W		アルミニウム製窓		T L		トップライト		特		随時閉鎖式特定防火設備		告示1369号/告示2363号		・ AWの額縁はアルミ製既製品とし、外部に面する窓及び内部FIX窓は					
A G		アルミニウム製ガラリ		B D		鋼製防火ダンパー		特		随時閉鎖式特定防火設備		告示1369号/告示2364号		結露受付、内部FIX窓以外は下枠フラットとする。					
A F		アルミニウム製三方枠、四方枠		F L		フロート板ガラス		SS		随時閉鎖式特定防火シャッター		告示1369号/告示2363号		・ 網戸はステンレス製とする。					
A P		アルミニウム製間仕切		F		型板ガラス		SS		随時閉鎖式特定防火シャッター		告示1369号/告示2364号		・ クレセント及びオペレーター-の位置はFL+1500以下とする。					
A C W		アルミ製カーテンウォール		P W		網入り磨き板ガラス		防		常時閉鎖式防火設備		告示1360号		・ オペレーターは隠蔽式とする。					
S D		鋼製戸		P W L		線入り磨き板ガラス		防		随時閉鎖式防火設備 (感知器連動)		告示1360号/告示2363号		・ 外倒し、内倒し、突出し等の窓の開閉角度は45度以上とする。					
S W		鋼製窓		F W		網入り型板ガラス		防		随時閉鎖式防火設備 (煙感連動)		告示1360号/告示2364号		・ 底の無い鋼製建具は上枠に水切SUS t=1.5を設置する。					
S G		鋼製ガラリ		F W L		線入り型板ガラス		網		防火設備 (6.8mm網入り)		告示1360号		・ 開き戸、引き戸共に閉鎖時の衝撃を緩和するクッションゴムを設置する。					
S F		鋼製三方枠、四方枠		T		強化ガラス								防火戸に付くDC (ドアクローザー)、ヒンジクローザーは					
S P		鋼製間仕切		F T		型板強化ガラス								ストップ無しとする。		<div>木製建具</div>			
S C W		鋼製カーテンウォール		T S		学校用強化ガラス								・ マスターキーは鋼製建具、木製建具共通とし、金属製鍵箱に整理して					
S S		鋼製シャッター		T S F		学校用型板強化ガラス								提出する。					
L S D		鋼製軽量戸		L		合わせガラス								・ CS錠はシリンダー本締り錠、片面サムターンとする。					
S S D		ステンレス製扉		S I		複層ガラス													
S S W		ステンレス製窓		G B		ガラスブロック								・ 建具枠廻りはシーリングを行い、ガラス押えは両面シーリング押えとする。					
S S G		ステンレス製ガラリ		F K		耐熱ガラス (特定防火設備)								・ SS三方枠は、スチール t=1.6 曲げ加工 SOPとする。					
S S F		ステンレス製三方枠、四方枠		A		乾燥空気													
W D		木製扉		Low-E		低放射ガラス													
W W		木製窓		A r		アルゴンガス													
W G		木製ガラリ		D C		ドアクローザー													
W F		木製三方枠、四方枠		F H		フロアヒンジ													
H		襖		L H		ラバトリーヒンジ													
P		障子		P H		ピボットヒンジ													
P W		樹脂製窓		G H		グラビティヒンジ													
				H C		ヒンジクローザー													
				C S 錠		シリンダーサムターン錠													
				C 錠		シリンダー錠													
				S 錠		サムターン錠													

記 号・室 名	<div><div>1</div><div>AD</div></div>	休憩所(内)	<div><div>1</div><div>SD</div></div>	男子トイレ、女子トイレ	<div><div>2</div><div>SD</div></div>	多目的トイレ	<div><div>3</div><div>SD</div></div>	倉庫
姿 図								
	引違い戸		片開き戸		片引き戸(手動式 自動閉鎖)		片開き戸	
	7 0		2		1 0 0		1	
	アルミ		複合被膜		スチール		D P	
	FL3+A+(FL3+30mil+FL3)		FT4		FT4			
金 物	引手、召合せ錠		ドアハンドル、丁番、D C、C錠、戸当たり、S U S沓摺		把手、ロット錠、S U S沓摺 、固定ガラリ、固定S U S網戸、窓		ドアハンドル、丁番、D C、C錠、戸当たり、S U S沓摺	
備 考	他、付属品一式		固定ガラリ、固定S U S網戸、窓		他、付属品一式		固定ガラリ、固定S U S網戸	
備 考					屋外タイプ			
記 号・室 名	<div><div>1</div><div>TB</div></div>	男子トイレ、女子トイレ						
姿 図								
	トイレブース							
	4 0		3					
	メラミン化粧板							
金 物	S U S巾木、アルミ笠木、G H							
備 考	スライド表示錠(非常開錠付)、戸当たり帽子掛け		他、付属品一式					

<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>			<div><div>H I Z A W A</div><div>ARCHI TEXTURE</div></div>	樋 沢 建 築 設 計 事 務 所	〒400-0902 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1 一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190 一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次	SCALE 1/50(A3)	SUBJECT 旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事	DATE	建 具 表 2	No. D - 23
---	--	--	---	-------------------	---	-------------------	--------------------------------	------	---------	------------



<div> <div>ウッドデッキ 一般部詳細図 (参考)</div> <div>1/20</div>  </div>	<div> <div>ウッドデッキ 点検口詳細図 (参考)</div> <div>1/20</div>  </div>	<div> <div>ウッドデッキ床下浸透ます参考図</div> <div>1/20</div>  </div>
<div> <div>床コンクリート 伸縮目地 詳細図</div> <div>1/10</div>  </div>		
<div> <div>雨水浸透柵詳細図 (参考)</div> <div>1/20</div>  </div>		
<div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>	<div> <div>H I Z A W A</div> <div>樋 沢 建 築 設 計 事 務 所</div> <div>〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1</div> <div>一般建築士事務所 登録番号 (契) 第1-071190</div> <div>一般建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次</div> </div>	<div> <div>SCALE 1/20 (A3)</div> <div>DATE</div> <div>SUBJECT 旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事</div> <div>部分詳細図 2</div> <div>No. D - 25</div> </div>



■法チェック表																								
階	室名	床面積 (㎡)	採光						換気						排煙									
			法第28条第1項						法第28条第2項						令第116条の2 1項2号									
			令111条1項												令第126条の2									
			必要面積(㎡) (1/5or7or20)		適用建具	開口面積 (㎡)	箇所	面積 (㎡)	判定	必要面積(㎡) (1/20)		適用建具	開口面積 (㎡)	箇所	面積 (㎡)	判定	必要面積(㎡) (1/50)		適用建具	開口面積 (㎡)	箇所	面積 (㎡)	判定	
1	休憩所(内)	23.18	1/20	3.31	AW-1	2.10	2	4.20	OK	1.15	AW-1	1.05	2	2.10	OK	0.46	AW-1	0.28	2	0.56	OK			
	計	23.18						4.20	OK					2.10	OK					0.56	OK			
■消防法 無窓階判定																								
1		134.67	1/30	4.49	10.92 (X2-X14) ×H2.5		27.3	OK																

■法適合開口部

記 号・室 名	<div><div>1</div>AW</div> 休憩所(内)				
姿 図	<div><div><div><div>1,620</div></div><div>▼天井</div><div><div><div>1,300</div><div>900</div></div><div><div>350</div><div>450</div><div>800</div><div>1,850</div><div>2,650</div></div><div>▼FL</div></div></div></div>				
形 式	引違い窓				
法28条第1項	1.62*1.3=2.106	2.10			
法28条第2項	1.62/2*1.3=1.053	1.05			
令第116条の2 1-2	1.62/2*0.35=0.283	0.28			
採光補正係数					
備 考					

HIZAWA

樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (梨) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE

1/50 (A3)

DATE

SUBJECT

旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

法規チェックリスト

No. D - 28

構造設計標準仕様書

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称

旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

建築場所

山梨県山梨市上神内川

(2) 工事種別

新築

増築

増改築

改築

(3) 構造種別

木造 (W)

補強コンクリートブロック造 (CB)

鉄骨造 (S)

鉄筋コンクリート造 (RC)

壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)

鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)

壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)

プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)

(4) 階 数

地下 階

地上 1 階

塔屋 階

(5) 主要用途

休憩所、公衆便所

(6) 屋上付属物

高架水槽

kN

キュービクル

kN

広告塔

煙突

(7) 特別な荷重

エレベータ

人乗 (ロープ式 油圧式)

リフト

kN

ホイスト

kN

倉庫積載床用

N/m²

受水槽

kN

(8) 付帯工事

門扉

擁壁

屋外鉄骨階段

歩道切下げ

(9) 増築計画

有 ()

無

(10) 構造計算ルート

X方向ルート - () Y方向ルート - ()

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	品質基準強度 F _q =N/mm ²	調合管理強度 F _m =N/mm ²	スランプ cm	所要空気量 (%)
擁 康 ク リ ー ト	普通	18N	18N	18N	18	
土間コンクリート	普通	18N	18N	18N	18	4.5
基礎・基礎梁	普通	21N	21N	21N+S	18	4.5
擁壁	普通	18N	18N	18N+S	18	4.5
柱、梁、壁、屋根	普通、軽量					
押えコンクリート	普通、軽量					
混 和 剤	AE減水剤					
呼び強度を保證する材齢、養生	材齢 (28日 56日) 養生 (現場封かん 現場水中 標準)					

単位水量は185kg/m³以下、単位セメント量は270kg/m³以上とする

主要構造部、水セメント比は65%以下とする。

調合管理強度 F_m=M_a×(F_c・F_d)+S S=3~6 (JASS5 (2015年版))
材齢28日の調合強度Fは下記の両式を満足するものとする。
F≥F_m+1.73σ F≥0.85F_m+3σ

(2) コンクリートブロック(CB)

A種 B種 C種 厚 100、120、150、190

(3) 鉄筋

種 類	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	SD295A	D10、D13	図示	重ね継手
	SD295B			
	SD345		図示	ガス圧接継手
高強度せん断補強筋				特殊継手
丸 鋼	SR235			()
溶接金網 (JIS G 3551)				

(4) 鉄骨

種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
SS400 SM400 SN400A、B、C	大梁、小梁、鋼板	有 無	
STKR400 STKR490	柱	有 無	
BCR295 BCP235		有 無	
SM490A SN490B、C		有 無	
SSC400		有 無	

○使用箇所の詳細については別途図示とする。

(5) ボルト

高力ボルト

普通：F10T 特殊：S10T 認定品 (M12 M16 M20 M22 M24)

中ボルト

高力ボルトすべり係数試験 要 否

高力ボルト導入張力確認試験 要 否

アンカーボルト

SS400 M-12 L=400 mm ナット (シングル、ダブル)

SS400 M-16 L=900 mm ナット (シングル、ダブル)

頭付スタッド

φ= L= mm 使用箇所 (柱 大梁 小梁)

使用箇所 (柱 大梁 小梁)

(6) 屋根、床、壁

ALC板

厚

折板

H= 厚

デッキプレート

形式

キーストンプレート

形式

特殊デッキプレート

厚

3. 地 盤

(1) 地盤調査

有 (敷地内 近隣)

ボーリング調査

平板載荷試験

水平地盤反力係数の測定

液状化判定

現場透水試験

土質試験

スウェーデン式サウンディング試験

無 (調査予定 有 無)

(2) 地盤調査計画

ボーリング調査

静的貫入試験

標準貫入試験

水平地盤反力係数の測定

土質試験

物理調査

平板載荷試験

スウェーデン式サウンディング試験

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

深度 土質 内容 N値

0	1	2	3	4	5
1					
2					
3					
4					

地盤調査報告書 参照

4. 地業工事

(1) 直接基礎

ベタ基礎

布基礎

独立基礎

試験堀

有 無

深さ：設計G L-500
長期許容支持力度 126kN/m² 載荷試験 有 無

(2) 基礎杭 支持層ー

杭 種	材 料	施工法	備考
RC PC PHC 鋼管 摩擦杭	PC (A種 B種 C種) PHC (A種 B種 C種) 鋼材 SS400 STK400	打ち込み 埋込み (セメントミルク工法)	
場所打ち コンクリート杭	コンクリート F _c = N/mm ² スランプ cm セメント量 KN/m ³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	オールケーシング 拡張杭 リバーササーキュレーション アースドリル ミニアース BH 深掘 手掘 機械掘	拡張杭 日本建築センター認定 第 号 年 月 日

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
試験杭 (有 無) (打ち込み 載荷) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭長 (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

本構造設計特記仕様はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36N/mm²以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。

コンクリートは JIS 認定工場 の製品とし、施工に関してはJASS5 (2015) による。

耐久設計基準強度 F_d 短期 標準 長期 超長期

セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5 T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。

また、打ち込み量が150m³を超える場合は、150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。

ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄 筋

鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工はJASS5 (2015) による。

高強度せん断補強筋は、JIS G3137に規定されるD種1号適合品とする。

鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。

D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

継手部の施工要領は社) 日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」(ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事) による。

継手部の検査方法：・外観検査 有 無・引張試験 有 無・図音波探傷試験 有 無
ガス圧接部分の検査を経音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。

(ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所まで200箇所程度とする)

柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、H型 (タガ型) W型 溶接型 S型 型とする。

コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する法的試験機関、又は、これに準ずる試験機関」で行うこと。

試験機関名
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型 枠

材料 合板厚 12m/mを基準とする。 施工はJASS5 (2015) による。

型枠存置期間

種類 型 枠 材 質 の 種 類	せき板		支 柱	
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下	はり下
単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント A種 シリカセメント A種	単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント A種 高炉セメント A種 シリカセメント A種	単強ポルトランドセメント
20℃以上	2	4	4	6
10℃～20℃	3	6	6	10
10℃未満	気温・湿度強度等により異なるため、JASS5 (2015) によるものとする。			
コンクリートの 圧縮強度	5.0 N/mm ² (経長期：1.0 N/mm ²)		設計基準強度の50% 100% 100%	

注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事管理者の指示による。
2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない、また、その他のはりの場合も原則として行わない。
3 支柱の盛りかえは、必ず上直上のコンクリート打ち後とする。
4 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
5 一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
6 上表以外のセメントを使用する場合は、工事管理者の指示による。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号
d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径
@…間隔 r…半径 ϕ…中心線 I0部材の内寸法距離 h0…部材間の内法高さ
ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S、HOOP…補強帯筋 ϕ…直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の予長	4d以上	6d以上 (※4d以上)	8d以上 (※4d以上)

折曲げ内寸法法Rは、SR235～SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。
スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。

※片持スラブ、L配筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折り曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内寸法 (R)
	帯 筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SD295B、SD345	16φ 以下	3d以上
			19φ	4d以上
			D19 以上 D16 以下	
	上記以外の鉄筋	SD295A・B SD345、SD390	19φ～25φ D19～D25	6d以上
			28φ～32φ D29～D38	8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、軽重コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定 着 の 長 さ			特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下ば筋 (L3)	スラブ	
SR235	21 24 18以下	35d フック付き 45d フック付き	25d フック付き	150mmフック付き	35d フック付き 45d フック付き
	27～36 21 24 18以下	30d または20dフック付 35d または25dフック付 40d または30dフック付	25d または15d フック付き	10d かつ150mm以上	40d または30dフック付 40d または30dフック付 45d または35dフック付
SD295A SD295B SD345 SD390	27～36 21 24	30d または20dフック付 35d または25dフック付 40d または30dフック付			40d または30dフック付 40d または30dフック付 40d または30dフック付

継 手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

圧接継手

重ね継手 (下図のいずれかとする)

(4) かぶり厚さ (単位：mm)

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所に付いても最小かぶり厚さを確保する。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

(6) 鉄筋のフック (a-fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁 (基礎梁は除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照)
e. その他、本配筋標準に記載する箇所

樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 橋 根 町 83 - 1
一般建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一般建築士 登録 第140820 種 澤 博 次

SCALE

NON

DATE

SUBJECT

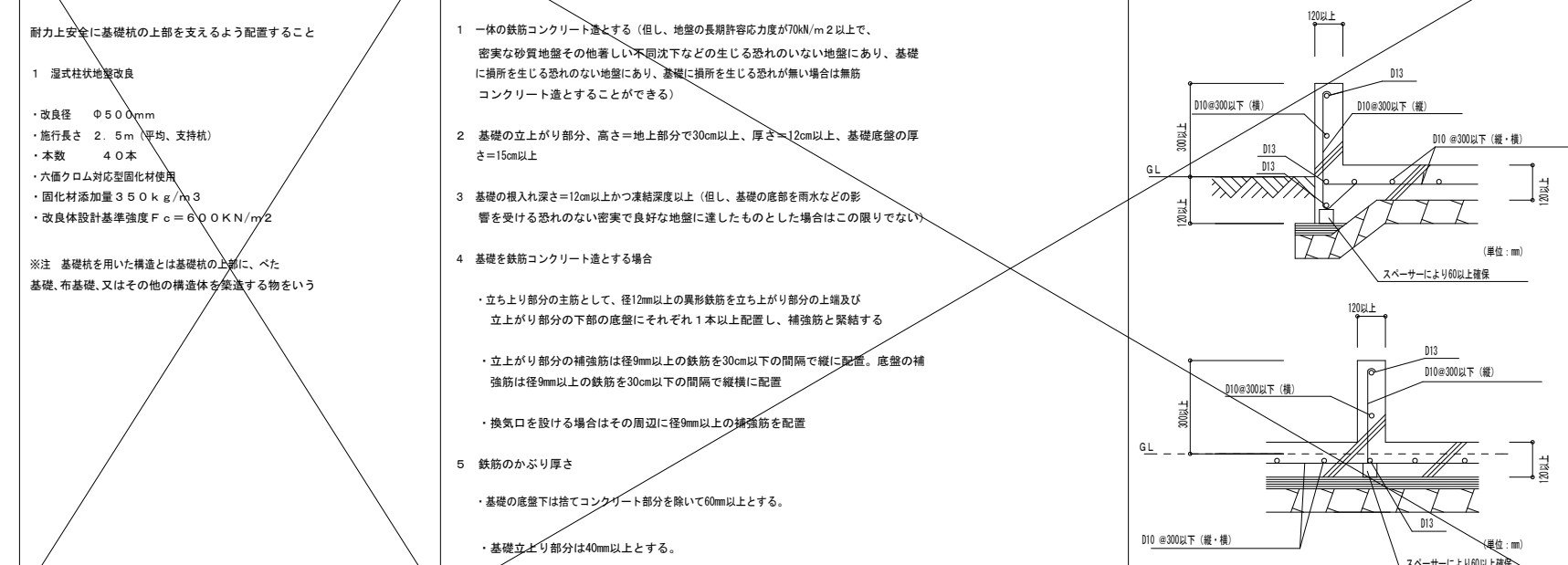
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

構造設計標準仕様書・鉄筋コンクリート構造配筋標準図

No. S - 01

柱の接合補強 (建設省告示1460号)							い		ろ		は	
壁、筋かいの種類	柱の位置		平屋または最上階		その他の部分（2階建ての1階部分）							
	出隅の柱	その他の軸組端部の柱	上階＝出隅の柱 当該階＝出隅の柱	上階＝出隅の柱 当該階＝出隅の柱でない	上階＝出隅の柱でない 当該階＝出隅の柱でない							
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面または両面に打ち付けた壁	短ほぞ差し		短ほぞ差し		短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し					
	い		い		い	い	い					
	ろ		い		ろ	い	い					
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材、または径9mm以上の鉄筋の筋かい	長ほぞ差し L字金物		短ほぞ差し		長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し	短ほぞ差し					
	ろ		い		ろ	い	い					
	ろ		い		ろ	い	い					
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かい	筋かい下部が取り付く柱の場合	左以外の柱の場合	筋かい下部が取り付く柱の場合	左以外の柱の場合	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し					
	長ほぞ差し L字金物	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)	短ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し						
	ろ	に	い	ろ	に	ろ	い					
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛または9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛け	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)		長ほぞ差し L字金物		1.5tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物	T字金物 V字金物	長ほぞ差し L字金物					
	に		ろ		と	は	ろ					
	筋かい下部が取り付く柱の場合		左以外の柱の場合	長ほぞ差し L字金物	1.5tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物	T字金物 V字金物	長ほぞ差し L字金物					
厚さ4.5cm以上の幅9cm以上の木材の筋かい	T字金物 V字金物	羽子板ボルト 短ざく金物	長ほぞ差し L字金物	1.5tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物	T字金物 V字金物	長ほぞ差し L字金物	ろ					
	は		ろ		は	ろ						
	は		ろ		は	ろ						
構造用合板を打ち付けた壁	羽子板ボルト・短ざく金物		長ほぞ差し L字金物		2.0tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物	1.0tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物	T字金物 V字金物					
	ほ		ろ		ち	へ	は					
	は		ろ		ち	へ	は					
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛	1.5tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物		T字金物・V字金物		2.5tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物	1.5tホ-ﾙﾀﾞｳﾝ 金 物	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)					
	と		は		り	と	に					
	と		に		め	ち	と					
注）柱の接合補強金物は、木造壁量計算表の柱壁伏図による接合補強に使用する金物は、Zマーク表示金物又は同等認定品とする												

ろ		は	

基礎の種類 (建設省告示 1 3 4 7 号 1 項)			基礎杭を用いた構造 (建設省告示 1 3 4 7 号 2 項)			べた基礎 (建設省告示 1 3 4 7 号 3 項)			布基礎 (建設省告示 1 3 4 7 号 4 項)						
使用する基礎の種類	地 耐 力 (kN/m ²)		構 造 形 式		耐力上安全に基礎杭の上部を支えるよう配置すること	1 一体の鉄筋コンクリート造とする（但し、地盤の長期許容応力度が70kN/m ² 以上で、密実な砂質地盤その他著しい不均沈下などの生じる恐れのない地盤にあり、基礎に損所を生じる恐れのない地盤にあり、基礎に損所を生じる恐れが無い場合は無筋コンクリート造とすることができる）	2 基礎の立ち上がり部分、高さ＝地上部分で30cm以上、厚さ＝12cm以上、基礎底盤の厚さ＝15cm以上	3 基礎の根入れ深さ＝12cm以上かつ凍結深度以上（但し、基礎の底部を雨水などの影響を受ける恐れのない密実で良好な地盤に達したものとした場合はこの限りでない）	4 基礎を鉄筋コンクリート造とする場合	5 鉄筋のかぶり厚さ	1 べた基礎と同じ構造。但し根入れ深さ＝24cm以上、底盤の厚さ＝15cm以上 2 底盤の幅（基礎杭を用いた場合は下表の限りではない）				
	20未満	20以上 30未満	30以上	基礎杭を用いた構造								基礎の幅又は鉄骨造	平屋建て	2階建て	その他の建築物
30以上	基礎杭を用いた構造	べた基礎	基礎杭を用いた構造	基礎の幅又は鉄骨造	平屋建て	2階建て	その他の建築物								
○	布基礎														
特記・基礎の種類は、地耐力に応じて上記より選択すること ・各基礎の構造基準は右表の通りとする															
															



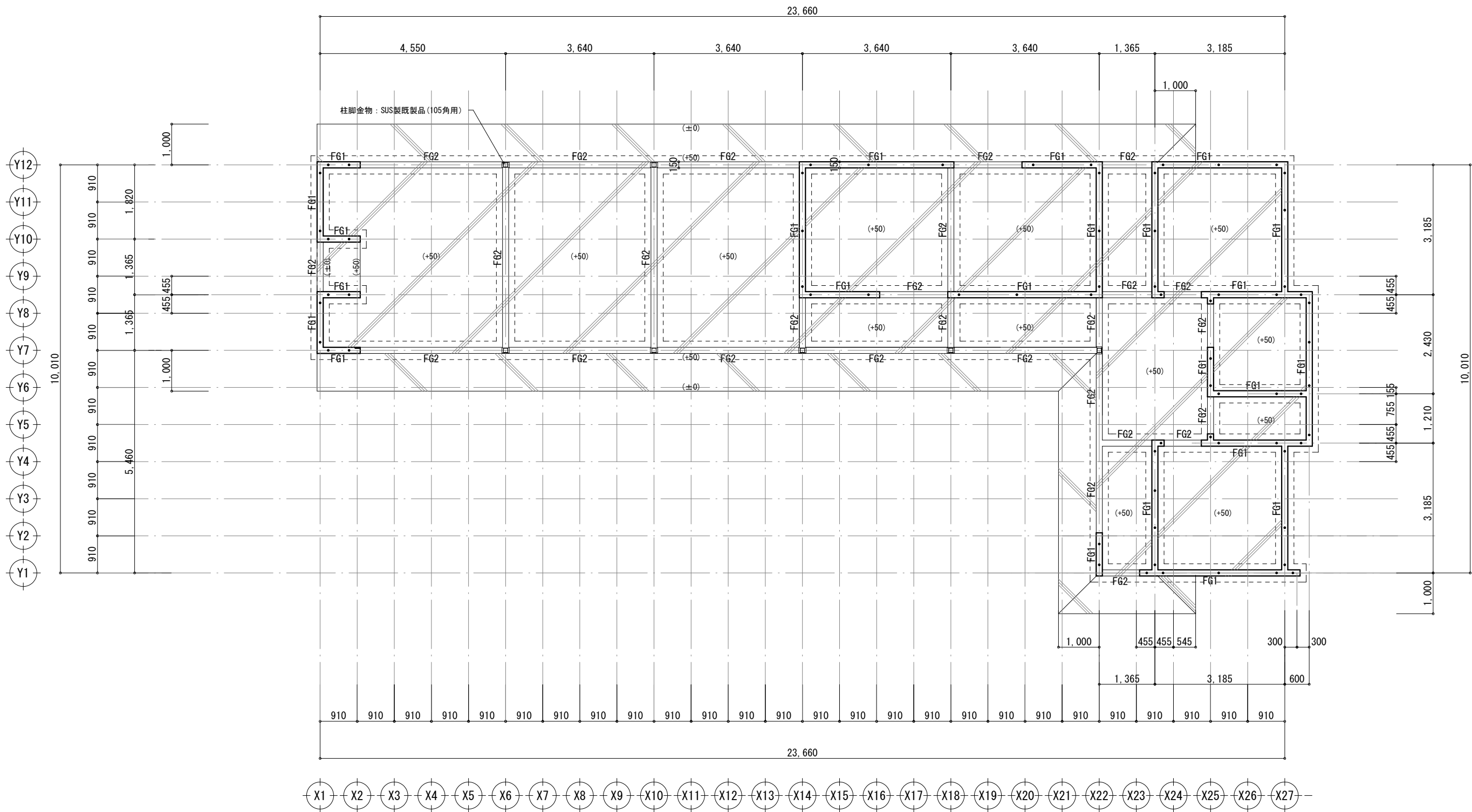
樋 沢 建 築 設 計 事 務 所



〒400-0802 山梨県甲府市横堤町83-1
登録番号 第1-071190
登録業種 建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE
NON
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

木質工事特記仕様書-2



凡例		
土間コンクリート		t=150 D10@200 (タテヨコ共)
土間コンクリート		t=150 D10@200 (タテヨコ共)
材料強度		
捨コンクリート	FC=18N/mm2	
基礎コンクリート	FC=21N/mm2	
土間コンクリート	FC=18N/mm2	
鉄筋	SD295A : D10、D13	
(※※※) は設計GLからの土間コンクリート高さを示す		



樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

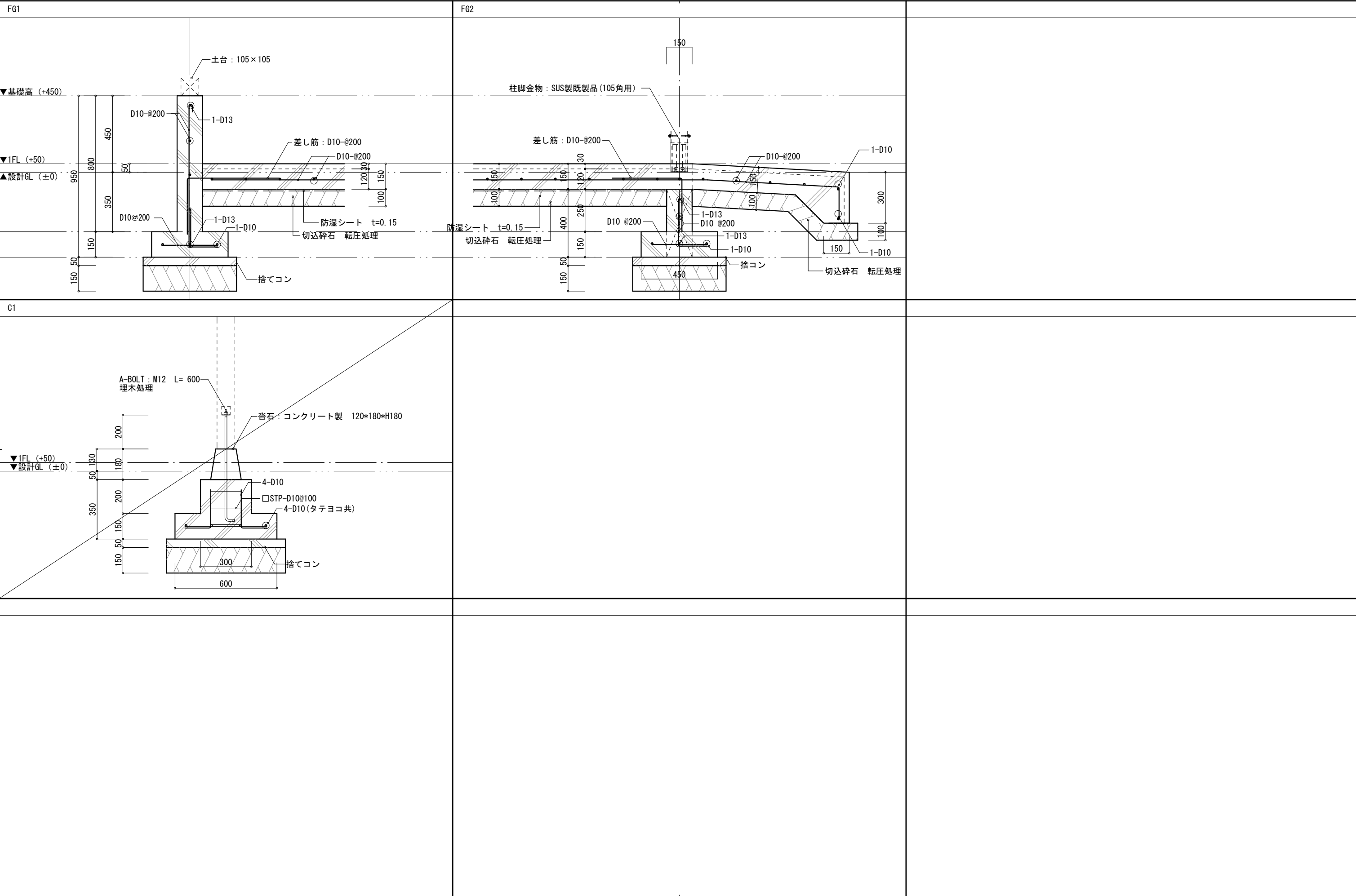
〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 機 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (業) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 沢 博 次

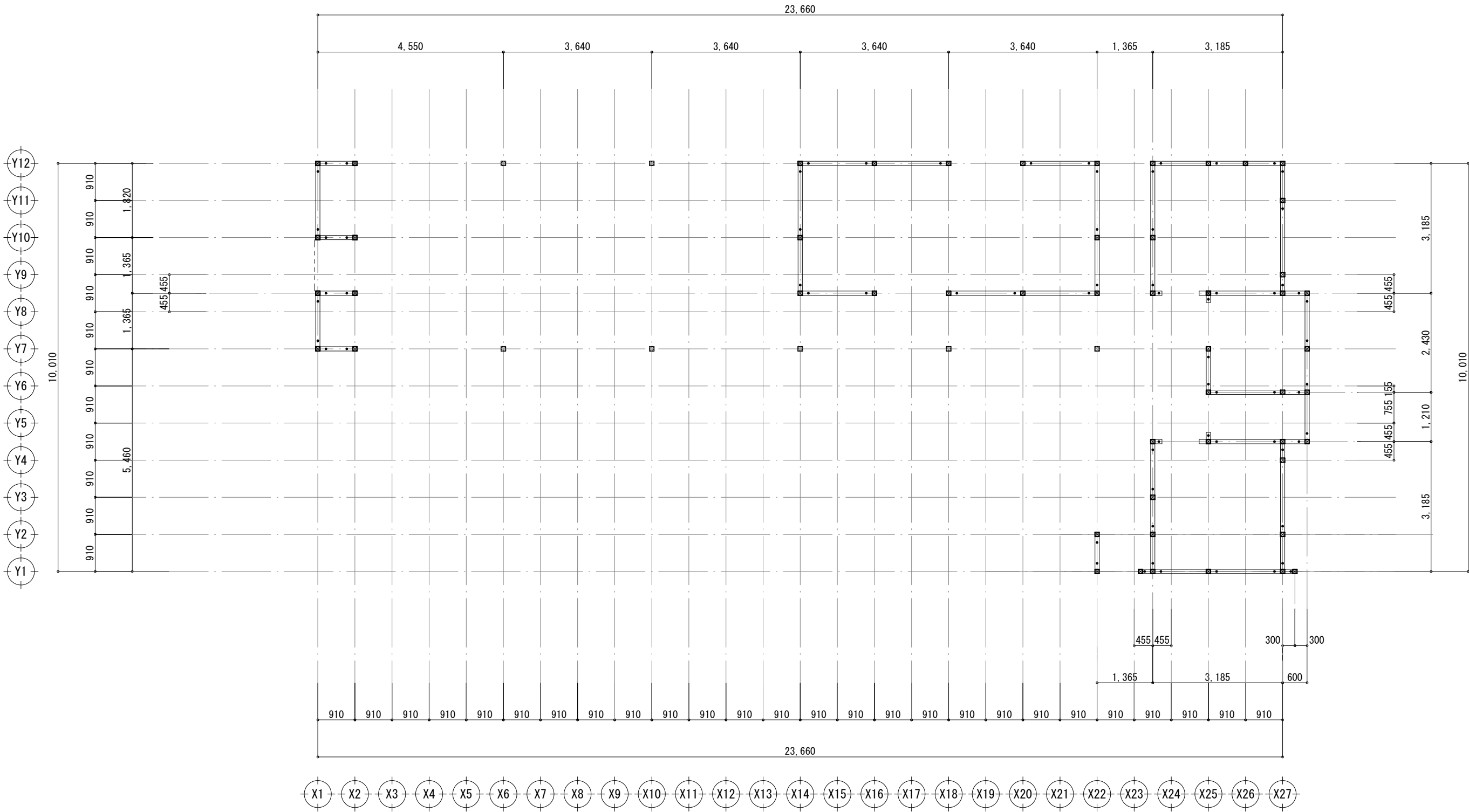
SCALE
1/100 (A3)
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

基礎伏図

No. S - 04





凡例				
部位	記号	材種	寸法	備考
土台		桧	105*105	
柱		桧	105*105	
柱		桧	105*105	化粧柱
間柱		杉	45*105	
アンカーボルト		M12	L=400	埋込長さ265（ボルト出寸法135）



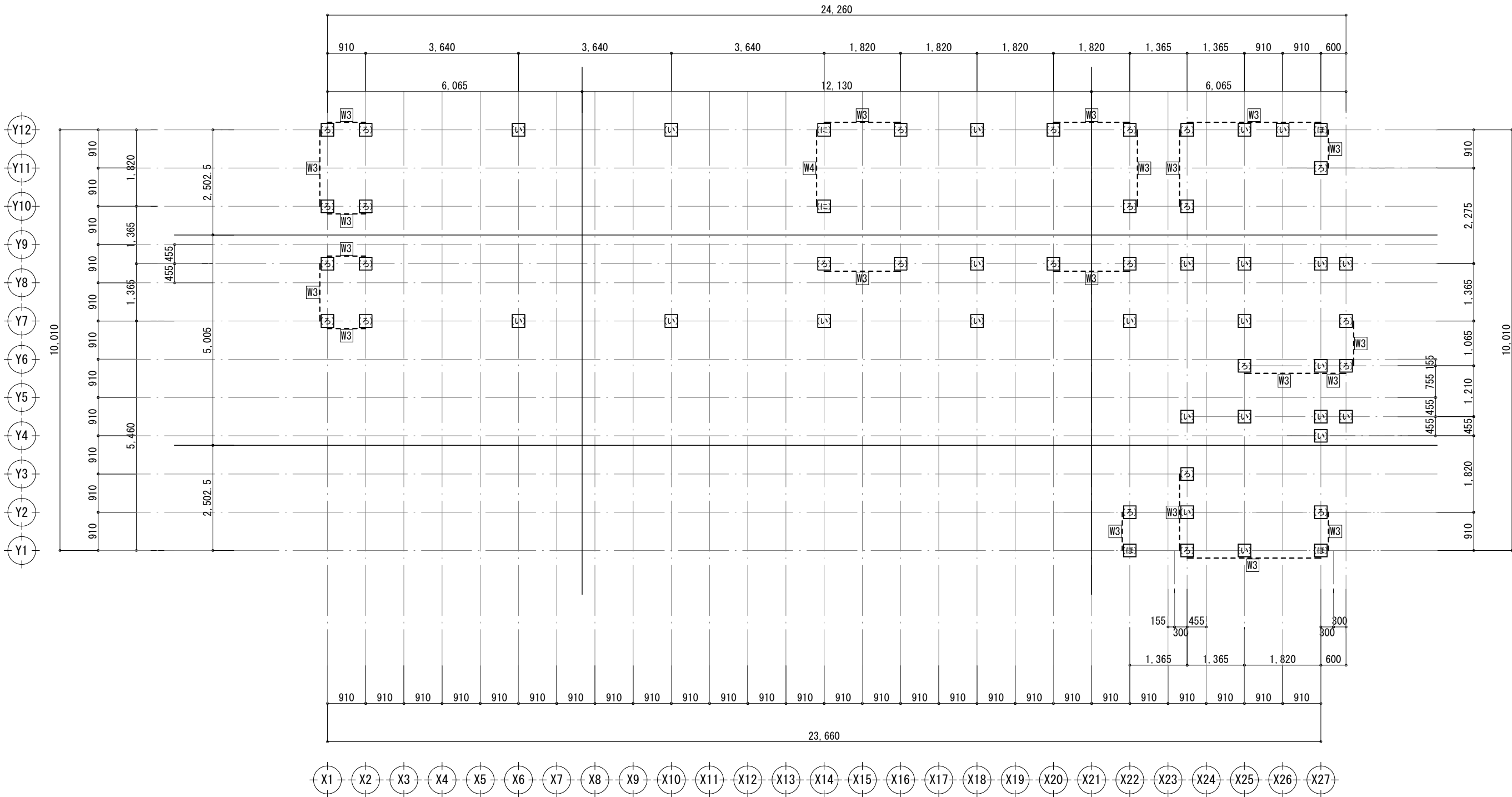
樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE
1/100(A3)
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

土 台 伏 図



耐力壁凡例

	耐力壁要素 (1)	記号 (2)
耐力壁	片方向筋交 (45×90) 筋交の上端が取り付く柱	W 1
	片方向筋交 (45×90) 筋交の下端が取り付く柱	W 1
	たすき掛け筋交 (45×90)	W 2
	構造用合板9mm (片面 大壁直貼) 釘 N50@150	W 3
	構造用合板9mm (片面 大壁直貼) 釘 CN50@75 (周辺部), 150 (中央部)	W 4

接合部の仕様と接合部倍率

(1) 部位	(2) 記号	(3) 仕様	(4) 接合部倍率
柱頭・柱脚 および 床・屋根の 接合部	(い)	短ほぞ差し又はかすがい打ち等	0.0
	(ろ)	L字形金物	1.0
	(は)	V字形金物	1.0
	(に)	羽子板ボルト	1.4
	(ほ)	羽子板ボルト+スクリーナー釘50	1.6
	(へ)	10KN用引き寄せ金物	1.8
	(と)	15KN用引き寄せ金物	2.8
	(ち)	20KN用引き寄せ金物	3.7
	(り)	25KN用引き寄せ金物	4.7
	(め)	15KN用引き寄せ金物×2	5.6
	(る)	腰掛け鎌継ぎ又は大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物	1.9
	(を)	腰掛け鎌継ぎ又は大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2又は短冊金物×2	3.0



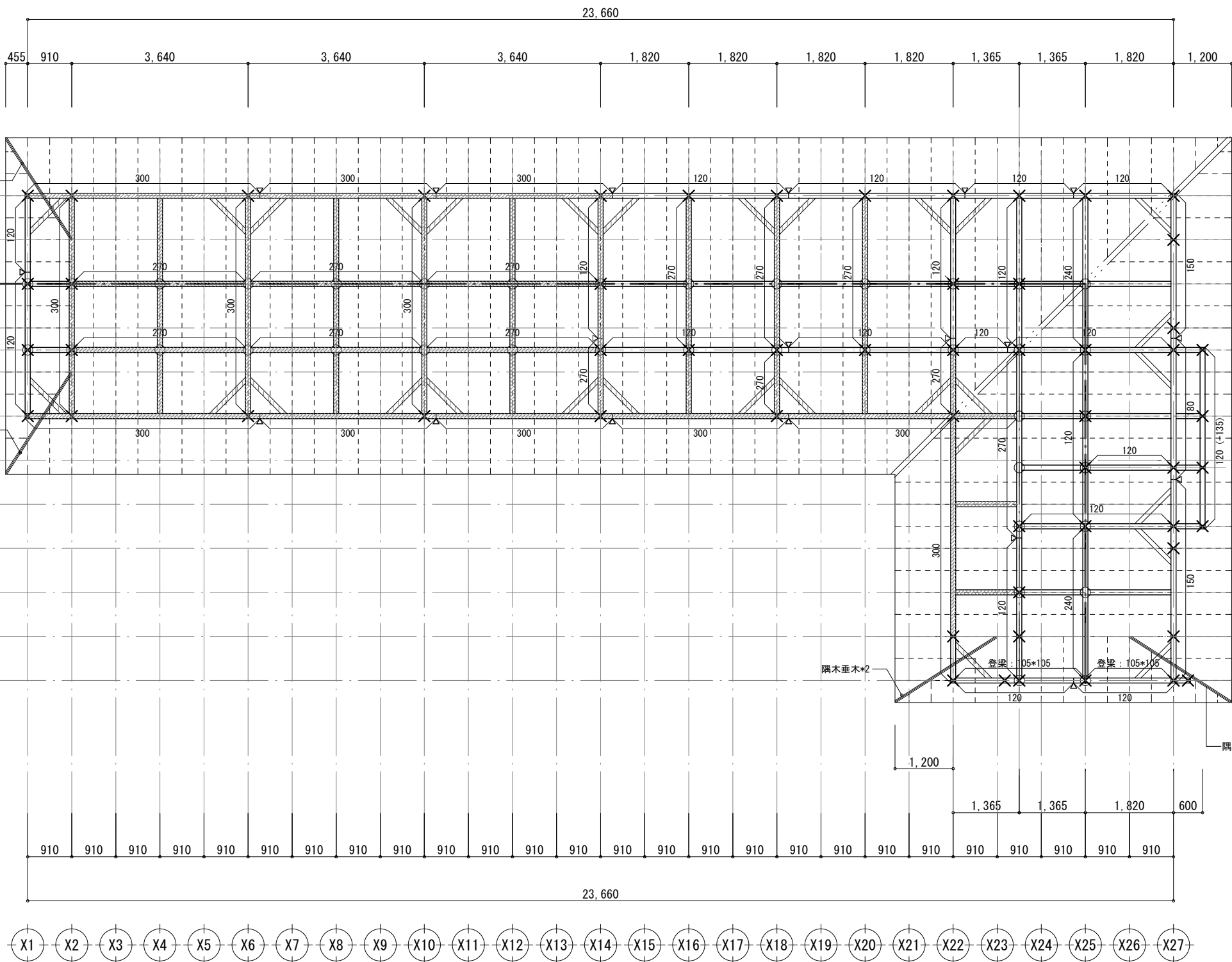
樋 沢 建 築 設 計 事 務 所



〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

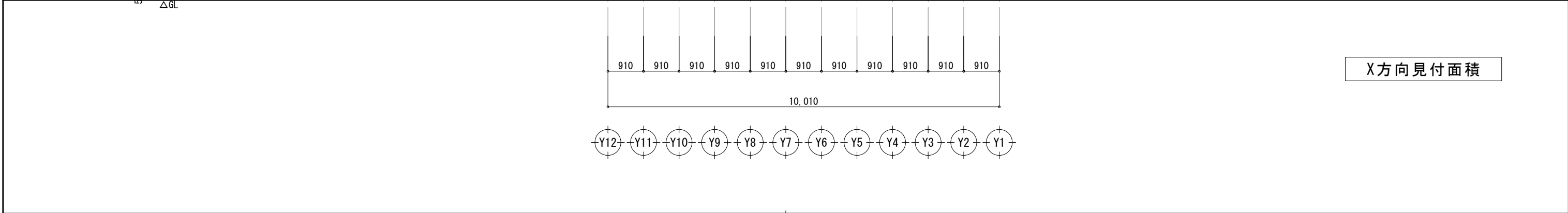
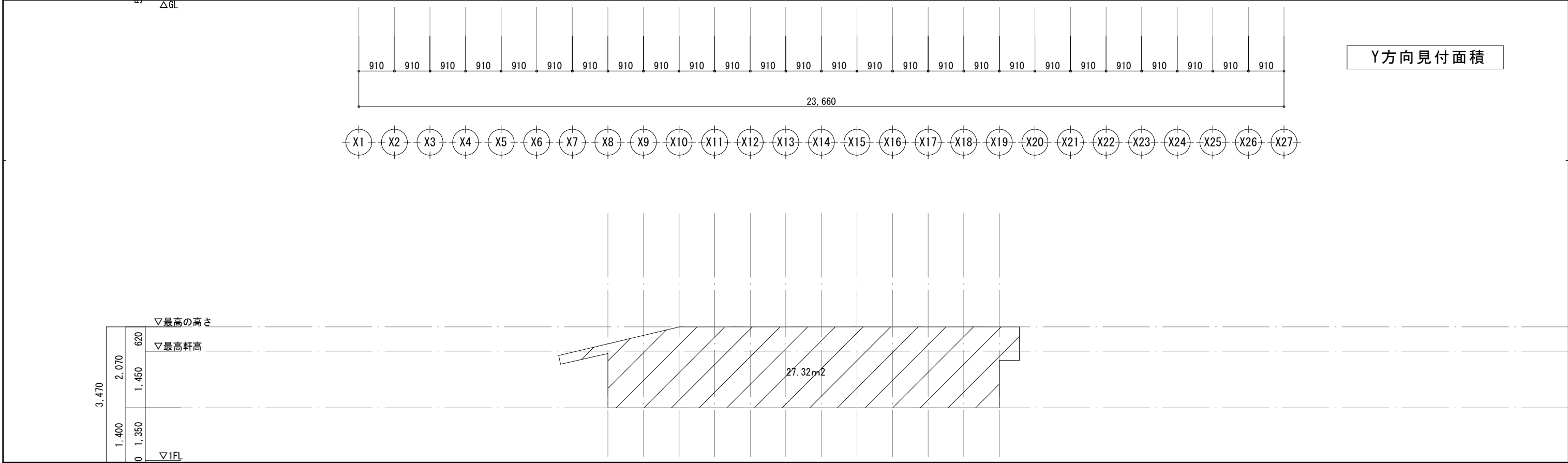
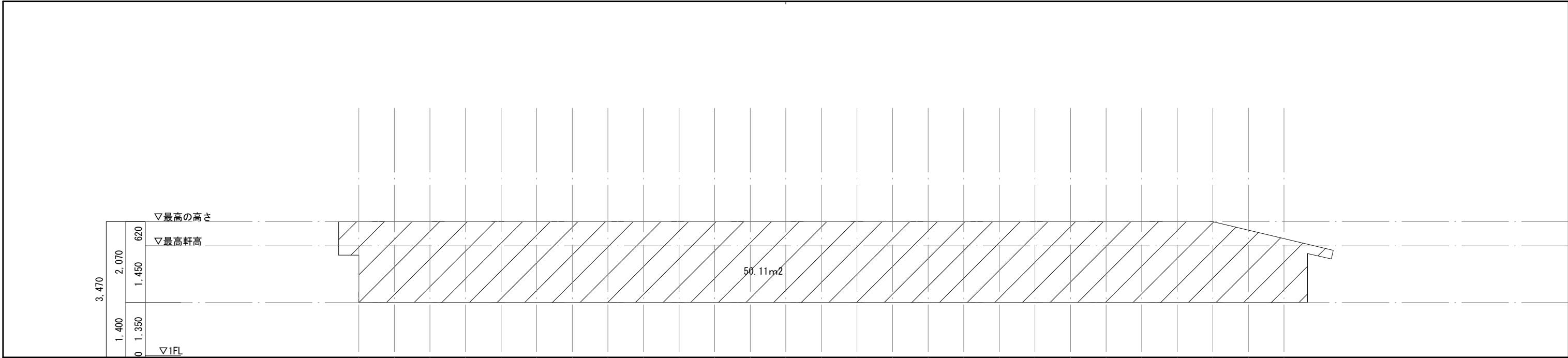
SCALE
1/100 (A3)
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

柱 ・ 壁 伏 図



凡例					特記事項
部位	記号	材種	寸法	備考	
梁		杉	図中	特記なき梁は105*105とする	梁巾は105とする。
棟木		杉	105*105		梁天端は設計GL+2,850とする。
隅木		杉	105*135		×は柱を示す。
谷木		杉	105*135		○は小屋束105*105を示す。
垂木		杉	45*120	@455(転び止め有)	 は化粧材（特一化粧程度）を示す。
母屋		杉	105*105		 は梁接手位置を示す。
火打梁		杉	90*90		



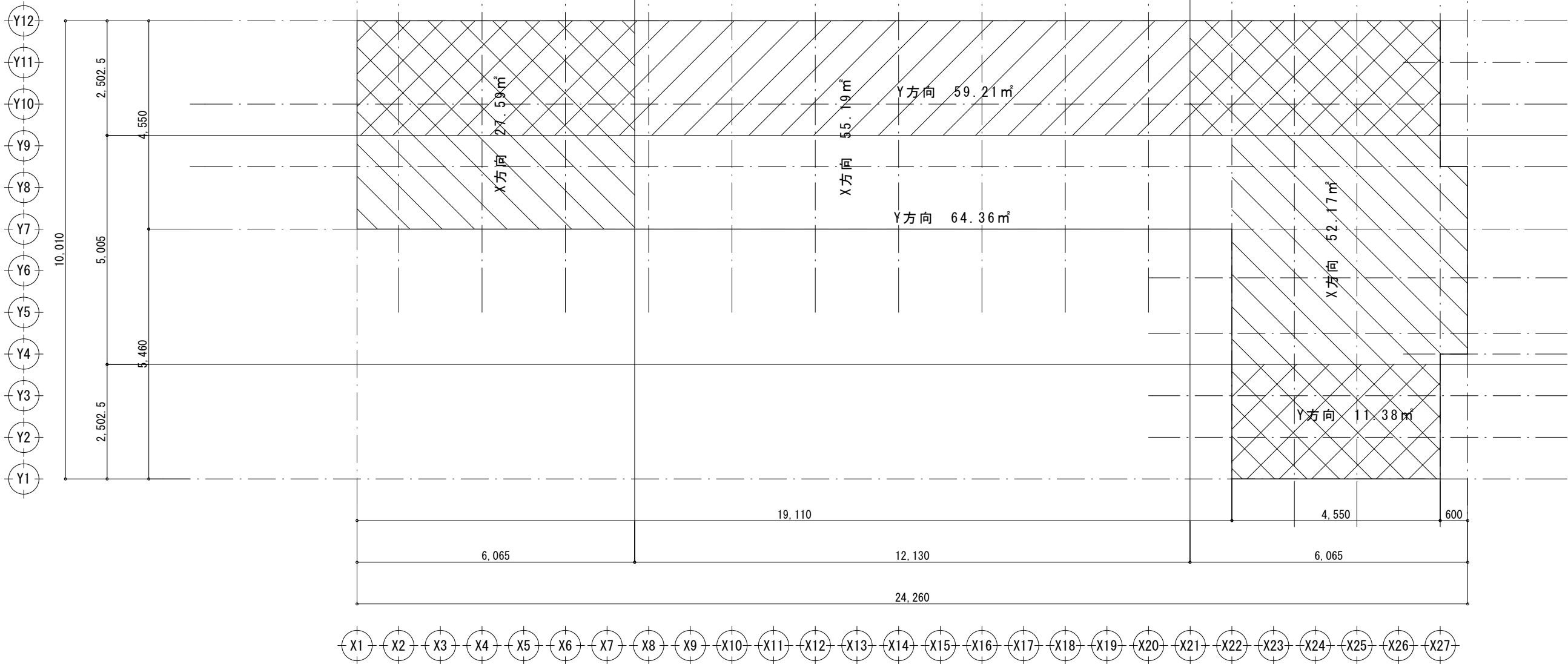


表1 令46条の壁量計算と壁のつりあいの良い配置のチェック

壁量計算用床面積表 m ²	
1階	27.59+55.19+52.17= 134.95m ²

	ゾーン	通り	耐力壁の存在壁量の計算				令46条耐震壁量とつりあいの良い配置の計算						令46条耐風壁量計算			建築基準法の壁量チェック		
			種類	壁倍率	壁の実長 (cm)	存在壁量 (cm) (5)×(6)	床面積 (㎡)	床面積に 乗ずる 数値 ※表計算ツール による	耐震必要壁量 (cm) (8)×(9)	壁量充足率 (7)／(10)	充足率の比	判定	見付面積 (㎡)	(14)に 乗ずる 数値	耐風必要壁量 (cm) (14)×(15)	必要壁量 耐震必要壁量と 耐風必要壁量の うち大きい方 (17)	存在壁量 (cm) (7)	判定
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)
X 軸 方 向	北側(1/4)	Y 9.3 ～ Y 12	筋交 片方向 筋交 両方向 構造用合板 ^ア 9 N150@150 構造用合板 ^ア 9 CN50@75 計	2.0 4.0 2.5 3.7 —	864.50	2,161.25	59.21	17	1,006.57	2.14	両側が、 1以下の場合 小側／大側 ＝0.5 以上 であることを 確認する。	「壁の つりあ い」 適	50.00	50	2,500.00	2500.00	4,927.50	適
	中央	Y 3.8 ～ Y 9.3	筋交 片方向 筋交 両方向 構造用合板 ^ア 9 N150@150 構造用合板 ^ア 9 CN50@75 計	2.0 4.0 2.5 3.7 —	788.00	1,970.00												
	南側(1/4)	Y 1 ～ Y 3.8	筋交 片方向 筋交 両方向 構造用合板 ^ア 9 N150@150 構造用合板 ^ア 9 CN50@75 計	2.0 4.0 2.5 3.7 —	318.50	796.25	11.38	17	193.46	4.11								
	合計					4,927.50												
	Y 軸 方 向	西側(1/4)	X 1 ～ X 7.7	筋交 片方向 筋交 両方向 構造用合板 ^ア 9 N150@150 構造用合板 ^ア 9 CN50@75 計	2.0 4.0 2.5 3.7 —	318.50	796.25	27.59	17	469.03	1.69	両側が、 1以下の場合 小側／大側 ＝0.5 以上 であることを 確認する。						
中央		X 7.7 ～ X 21	筋交 片方向 筋交 両方向 構造用合板 ^ア 9 N150@150 構造用合板 ^ア 9 CN50@75 計	2.0 4.0 2.5 3.7 —	182.00	673.40	55.19						—	—	—			
東側(1/4)		X 21 ～ X 27.6	筋交 片方向 筋交 両方向 構造用合板 ^ア 9 N150@150 構造用合板 ^ア 9 CN50@75 計	2.0 4.0 2.5 3.7 —	925.50	2,313.75		52.17	17	886.89	2.60							
合計						3,783.40	134.95						17	2,294.15				

樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (梨) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE
1／100(A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

釣り合い算定求積図

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

(1) 工事場所

山梨市小原西地内

(2) 建物概要

名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一	建築基準法 用途
多目的広場トイレ	木造	平屋建て	134.67	(15) 項 他	公衆便所、休憩所

(注記：延べ面積は建築基準法による表記)

(3) 工事種目・種別

工 事 種 別	新 築	改 修	撤 去	細 目
電灯設備	○			・電灯幹線○電灯分岐○照明器具○照明制御・○コンセント
動力設備	○			・動力幹線○動力分岐
電保護設備				
受変電設備				・特別高圧・高圧
電力貯蔵設備				・直流電源・交流無停電（UPS）
発電設備				・非常用・常用・燃料電池・太陽光
構内情報通信（LAN）設備				
構内交換設備				・電話配管配線・構内交換
情報表示設備				・情報表示・出退表示・時刻表示
映像・音響設備				
拡声設備				
誘導支援設備	○			・インターホン○イレ呼出・音声誘導
テレビ共同受信設備				
監視カメラ設備				
防犯・入室管理設備				・防犯設備・入出退管理
火災報知設備				・自火報・自動閉鎖・非常警報・ガス漏れ火災
構内配電線路				・電力引込・外灯
構内通信線路				・電話引込・その他通信

2 工事仕様

2. 1 共通仕様

1 共通仕様

(a) 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、下記による。
・国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）
・国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）

(b) 適用基準
・電気設備技術基準・内線規定・配電規定・建築基準法・消防法
・建築設備耐震設計・施工指針2014年版・その他関係法令

2 特記事項の適用

(a) 項目は ㉔のついたものを適用する。
(b) 特記事項は ㉔の付いたものを適用する。印の付かない場合は 印のついたものを適用する。㉔と ㉔の付いた場合は共に適用する。
(c) 特記事項で「図示」とあるのは、設計図面記載事項を意味する。

2. 2 特記仕様

項目	特記事項
一 般 事 項	

㉑ グリーン購入法

グリーン購入法に該当する品目は、その判断基準による仕様を満足すること。

㉒ 機 材 等

本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む）に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督員の承認を受ける。
化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
尚、ホルムアルデヒドを発散しないものとはJIS及びJASのF☆☆☆☆表示建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとはJIS及びJASのF☆☆☆☆表示建築材料又は同等品を云い、原則としてF☆☆☆☆表示建築材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、F☆☆☆☆表示建築材料又は同等品を使用するものとする。
㉓ 機材の品質・性能照明

設備機材は、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関（社）公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、JIS（日本工業規格）に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承認を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。共通仕様書によるJIS、JEC、JEM等の基準に該当するものはその適合品とし、それ以外は国土交通大臣官庁官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）によるほか、監督員との協議による。
㉔ 機材の寸法及び姿因

機材等の寸法及び姿因はすべて参考とする。
㉕ 再使用機器

取り外し再使用する機器は、簡易清掃のうえ取り付ける。
㉖ 凡例

図中に特記なきシンボル等はJIS-C-0303-00に準拠する。
7 発生材の処理

引き渡しを要するもの 無 有（ ）
（・機器類・配管材料・金属類・ ）
特別管理産業廃棄物 無 有（・PCB使用機器 ）
PCB使用機器は転倒防止および漏洩防止措置を行い、建物管理者に引き渡す。
引き渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令に従い、適切に処理すること。
産業廃棄物は産業廃棄物マニフェストを提出すること。

㉑ 残土処分

※構外搬出とし適切に処分する（自由処分） ・構内指示場所に敷き均し ・構内指示場所に堆積 ・構外指定場所（ ）に搬出
㉒ 提出書類

工事契約書および監督員の指示するもののほか下記による。
○工程表 ○施工計画書 ○設備機材等選定表 ○機器類製作図 ○施工図面
○工事写真 ○出来形管理図 ○試験成績書 ○機器類完成図 ○完成図面
○保証書類 ○取扱説明書 ○届出書類の控え ○機器材納品書 ○工事日報
㉓ 工事写真

国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」建築設備編による。
㉔ 施工図の取り扱い

施工図等の著作権にかかわる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
㉕ 工事用電力・水・その他

本工事に必要な工事用電力、水等の費用および官公署その他の関係機関への諸手続き等に要する費用は請負者の負担とする。
・高圧受電開始から引渡しまでの電気基本料金は本工事に含む。
㉖ 建設工事保険等

工事目的物が対象となる保険（組立保険等）に加入すること。加入期間は工期に14日以上の日を加えた日までとする。
㉗ 騒音規制基準

騒音規制対象機器について施工に先立ち品質計画書を作成し承認を得ること。
竣工時には敷地境界線にて騒音測定を行い、規定騒音値以下を確認すること。
16 建築物省エネルギー消費性能適合性判定

「省エネ適合判定」の計画書・添付図面に記載されたメーカー定格能力、台数、仕様を変更する場合、請負者は変更当該部分の1次エネルギー消費量および計算書を作成し、基準値内にあることを確認のうえ提出すること。

工 事 ・ 施 工

㉑ 呼び線

長さ1m以上の入線しない管路には、導入端（1.2m以上のビニル被覆鉄線）を挿入する。
㉒ 電線管

屋内 ※PE管 ※ねじなし電線管 ・厚鋼電線管 ・薄鋼電線管
PE管の躯体打込配管の最大サイズはPF22までとする。
屋外 ※FEP管（難燃性） ・厚鋼電線管 ※溶融亜鉛メッキ鋼管
○PEライニング鋼管（厚鋼）
溶融亜鉛メッキ鋼管の埋設部分は防食テープ等で保護すること。
㉓ 埋設配管、ボックス

最上階天井スラブ（屋上スラブ）には原則として埋設配管は行わないこと。
鉄筋コンクリート造の柱には原則として打込みボックスは行わないこと。
㉔ 結露防止・遮音

結露する恐れのある壁、天井にボックスを打込む場合は結露防止断熱カバー取付等の結露防止処置を行う。また遮音壁の場合は、ボックス用遮音カバー等を用いて遮音処置を行う。
5 金属管塗装

下記箇所は露出配管の塗装（プライマ処理後SOP2回塗り指定色仕上）を行う。
ただし溶融亜鉛メッキ鋼管を除く。
・屋内（ ） ・屋外（ ）
㉕ 金属製可とう電線管

屋外や水回り、湿気がある場所はビニル被覆付とする。
7 プルボックス

屋内 ※銅板製（指定色塗装） ・銅板製（塗装なし） ・合成樹脂製 ・ステンレス製
床下、ビツト内等、水気の多い場所
※ステンレス製 ※溶融亜鉛メッキ銅板製 ・合成樹脂製
屋外 ※ステンレス製 ・溶融亜鉛メッキ銅板製 ・合成樹脂製
8 ケーブルラック

屋内 ※メラミン樹脂焼付塗装（ZM） ・溶融亜鉛メッキ銅板製（Z35）
屋外、水気の多い場所 ※溶融亜鉛メッキ銅板製（Z35）
屋外ラックカバー ※要 ・不要
屋外ラックカバーは屋根型とし上部に人が乗れるタイプとする。
㉑ ケーブル、電線

電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」(EM)製品を使用する。
ただし、既製品のない種類のものは承諾を得ること。
10 情報（LAN）ケーブル

EM-UTPケーブル（カテゴリ6）とし、末端にはRJ45コネクタを取付ける。線色は協議による。
㉒ ケーブル先行表示

ハンドホール、幹線用プルボックス、EPS内ケーブルラックおよび分電盤等、要所の電線等には名札を取付け、用途、ケーブル種別、配線サイズ、電源種別（電圧）、出先→先行、施工年月日および施工者を表示すること。
12 防火区画等の貫通部に用いる材料

防火区画貫通処理は国土交通大臣認定品を使用することができる。
㉓ キャビネット

屋内 ※銅板製（ ※指定色 ○標準色 ）
屋外 ※銅板製（ ※指定色 ・標準色 ） ・ステンレス製（ ・指定色 ・標準色 ）
㉔ 接地極

接地極の材料は下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同 接 地	E A、D	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ 共 同 接 地	E A、C、D	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ A 種 接 地	E A	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ B 種 接 地	E B	電力会社協議	E B（14φ）×3連-2組
○ D 種 接 地	E D	100Ω以下	E B（14φ）×3連-1組
・ C 種 接 地	E C	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ 高圧避雷器	E LH	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ 低圧避雷器	E LL	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ 避 雷 設 備	E L	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ 交 換 機 用	E t	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ 通 信 用	E At	10Ω以下	E P900×900×1.5t-1組
・ 通 信 用	E Ct	100Ω以下	E B（10φ）×1（L=1500mm）
・ 測 定 用	E O		E B（10φ）×1（L=1000mm）
○ 漏電遮断器用接地	E ELB	100Ω以下	E B（14φ）×3連-1組

下記の機器の電源部にはSPDを設ける。
・中央監視装置 ※自動火災報知設備受信機 ・非常放送用アンプ ・エレベータ監視盤
・ITV監視装置 ・入室管理装置 ・照明制御盤 ・その他（ ）

15 耐震措置

設備機器の固定等は、すべて「独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により行う。ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用標準水平震度K 及び設計用鉛直震度K （KV/2H）を用いて計算する。
設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。
表1 局部震度法による建築設備機器（水栓類を除く）の設計用標準水平震度（KH）

設置場所	耐震安全性の分類			
	・特定の施設		・一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
I 階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注)（ ）内の数値は防振支持機器の場合に適用する。
【表1の備考】
(備考1) 本表は建築物の構造体がRC造、SRC造、S造のものに適用する。
(備考2) 上層階の定義は、次のとおりとする。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階
(備考3) 中間階の定義は、次のとおりとする。
地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないものを中間階とする。（平屋建は、1階と屋上で構成され中間階はなし。）
(備考4) 設置場所の区分は機器を支持している床部分にしたがって適用する。床又は壁に支持される機器は当該階を適用し、天井面より支持（上階床より支持）される機器は支持部材取付床の階（当該階の上階）を適用する。
重要機器は次のものを示す。
・受変電配電盤 ・発電装置 ・分電盤 ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・電話交換機 ・通信情報設備架 ・火災受信機 ・中央監視装置
※原則として打込（埋込）施工とする。
・あと施工アンカー（吊下げ部分はケミカル不可）を使用する場合は事前に施工計画書提出する。
・施工後の確認は目視によりアンカーの種類、径、位置、本数、突出寸法等を確認する。
・あと施工アンカーの選定および施工はあと施工アンカー協会登録者による。
㉒ 照明配置

照明配置は点滅区分図、照度分布図を作成し確認を受ける。
18 一般照明の照度測定

※JIS C 7612「照度測定方法」に準拠し測定する。
・測定箇所は右記のほか、監督員の指示による。（・体育館 ・ホール ）
㉓ 配線器具プレート類

特記なきプレートは ・樹脂製 ※金属製（新金属 ）
㉔ 盤類の鍵

盤類の鍵は原則として200番とし、使い分けが必要な場合は550番とする。
㉕ スイッチ

※タンブラースイッチ埋込用大角形（ネーム付） ・ワイド型（ネーム付）
22 床コンセント

OAフロア ※プラグ取納型 ・アップ（上下動）型 ・露出（ハイテンション）型
OAフロア以外 ※プラグ取納型 ・アップ（上下動）型 ・露出（ハイテンション）型
23 情報コンセント

壁コンセント ※埋込モジュラジャック ・フラッシュプレート（空配管）
・ハトメプレート（ケーブル突出し2m）
床コンセント ※プラグ取納型（埋込モジュラジャック）
・プラグ取納型（ケーブル突出し2m）
・露出（ローテンション）型（ケーブル突出し2m）
・床ケーブル突出し2m（OAフロア）
㉔ 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高さ [mm]
ブラケット（一般）	床上～中心	2, 100
〃（踊場）	〃	2, 500
〃（鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床下～下端	1, 500 以上
廊下通路誘導灯	床下～上端	1, 000 以下
スイッチ（一般）	床下～中心	1, 300
〃（身体障害者用）	〃	1, 100
コンセント、電話アウトレット、直列ユニット	〃	300
〃（和室）	〃	150
コンセント（車庫）	〃	800
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×0.9
デットネータ	〃	1, 300
出退表示盤（表示灯）	〃	（天井高）×0.8
発信器（出退表示用）	〃	1, 300
インターホン	〃	1, 500
身体障害者用インターホン子機	〃	1, 100
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	900
復帰ボタン（ 〃 ）	〃	1, 800
廊下表示灯（ 〃 ）	〃	2, 000

備考：（天井高）×0.9 及び（天井高）×0.8 は、およそ天井高が2, 500～3, 000mm の場合に適用する。
㉕ 地中埋設深さ

地中埋設深さは原則として下記による。
※低圧および弱電線路 φL-600以上 ※高圧線路 φL-1200以上
㉖ 埋設シート

地中線路にはケーブル埋設保護シート（2倍長以上）を設ける。
㉗ FEP電線管

地中埋設配管に使用するFEP電線管は難燃性とする。
㉘ 地中引込み管路の防水措置

屋外から地下ピットへの管路引込み部分は、つば付きスリーブまたは防水錆鉄管を使用し防水処置を行う。

その 他 共 通 事 項

㉑ 設備機材選定表

機 材 名	指 定 メ ー カ ー					
分電、制御、端子盤類	山梨県配電盤工業協同組合加盟製造者					
照明器具類	東 芝	パナソニック	岩 崎	三 菱	日 立	山 田
電話機器類	NEC	パナソニック	岩 通	日 立	東 芝	NTT
電気時計・表示機器類	セイコー	シチズン	パナソニック			
拡声、音響機器	パナソニック	TOA	三 菱	東 芝	日 立	ビクター
誘導支援・呼び出し機器	アイホン	パナソニック	ケアコム	日 立	三 菱	東 芝
テレビ共聴機器	パナソニック	D X	東 芝	ハ 木	日アン	マスプロ
火災報知機器	能 美	パナソニック	東 芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気
換気扇機器類	三 菱	東 芝	パナソニック	日 立		
配線器具類	パナソニック	東 芝	神 保	寺 田	明工社	アメリカン
電線ケーブル類	JISマーク表示品、又はJISマーク表示許可工場					
電線管、付属品類	同 上					

SCALE

NONSCALE

DATE

SUBJECT

旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

電気設備工事特記仕様書

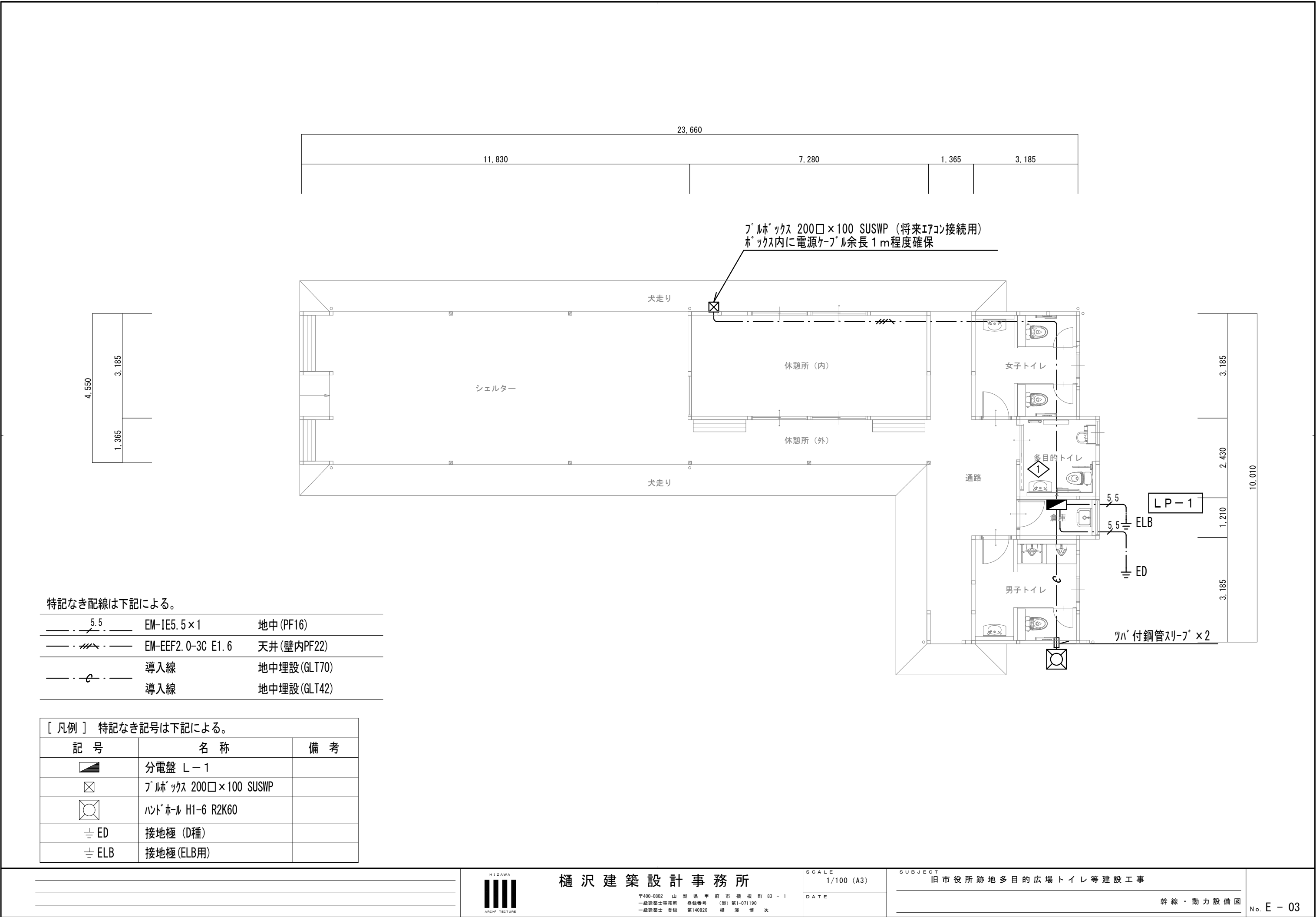
No. E - 01

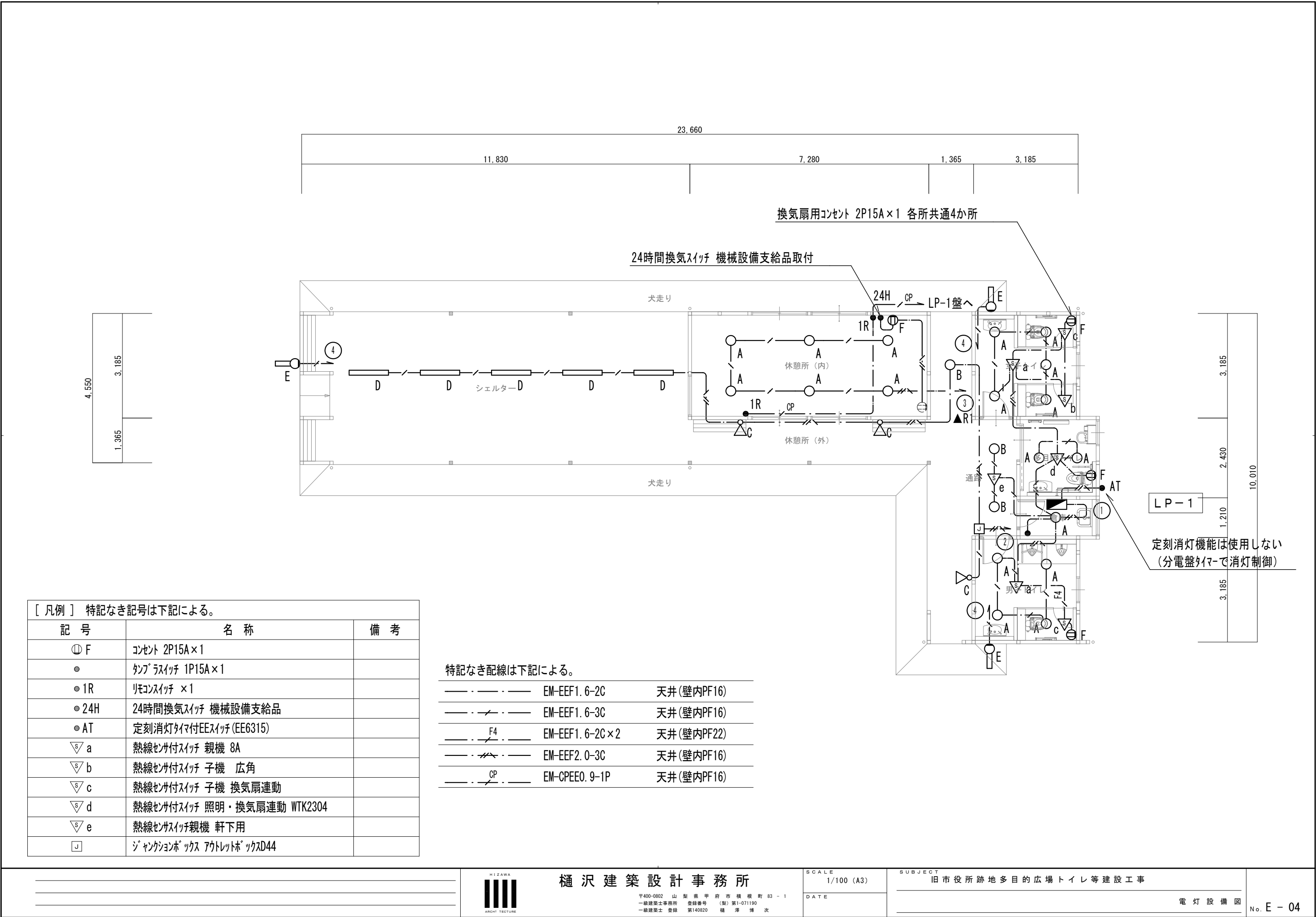
盤名称		電気方式		分岐回路										備考	
盤型式		配線方式													
幹線番号		主幹容量		回路 番号	電圧		ブレーカ		容量		負荷名	容量 [VA]	リモコン		タイマー
幹線サイズ		合計負荷容量			200V	100V	MCCB	ELCB	AF	AT					
LP-1		AC 1Φ3W													
露出型壁掛盤		100/200													
標準色		主幹 MCCB3P3E 60AF40AT 6,392 VA 伝送ユニット×1 リモコントランス×1 T/U×1 リモコン×1 E5.5×2 接地端子 (ED,ELB) セパレータ		①	○		2P	50	20	トイレ照明・換気扇	246				
				②	○		2P	50	20	通路・ショルター照明	253		TM1	EE連動・COS[入切自動]	
				③	○		2P	50	20	休憩所照明	90	R1	TM2	盤面リモコンスイッチ×1	
CET60				④	○		2P	50	20	外壁照明	60		TM3	EE連動・COS[入切自動]	
幹線接続3P端子				5	○		2P	50	20	男子トイレコンセント	321				
				6	○		2P	50	20	女子トイレコンセント西	321				
				7	○		2P	50	20	女子トイレコンセント東	321				
				8	○		2P	50	20	多目的トイレ便座コンセント	1,260				
				9	○		2P	50	20	多目的トイレオストメイト	600				
				10	○		2P	50	20	休憩室・外壁コンセント	400				
				11	○		2P	50	20	多目的トイレハ° 暖ヒーター	500			COS[入切]	
				12	○		2P	50	20	女子トイレハ° 暖ヒーター	1,000			COS[入切]	
				13	○		2P	50	20	男子トイレハ° 暖ヒーター	1,000			COS[入切]	
				14	○	2P		50	20	直流電源装置電源(トイレ呼出用)	10			WR2801K盤内実装	
				15	○	2P		50	20	リモコントランス	10				
				16	○		2P	50	20	予備					
CET22		AC 3Φ3W													
幹線接続3P端子		200V		◇1	○		3P	30	15	休憩所エアコン	3,114				

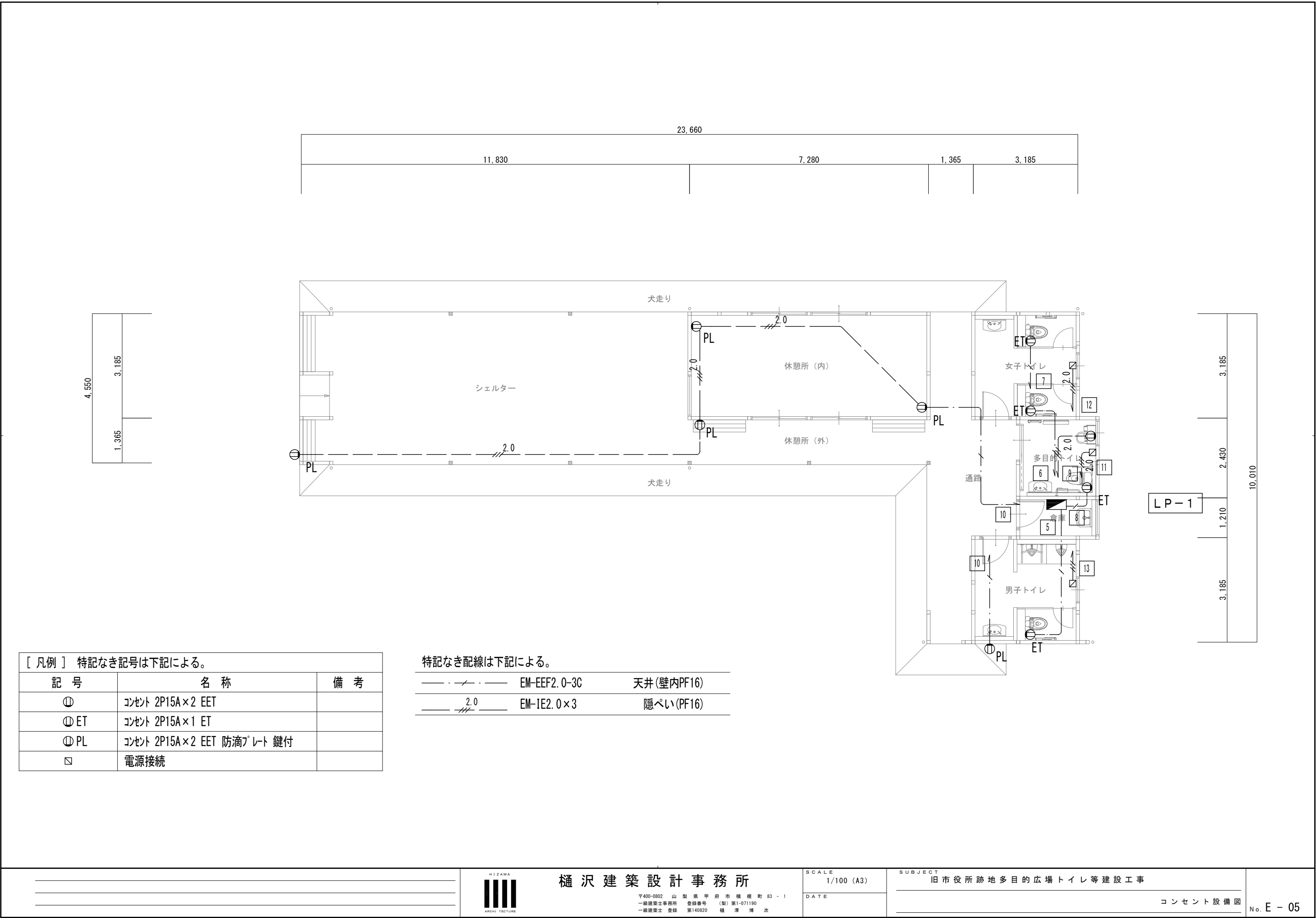
- ・特記なき分岐開閉器は1Pモジュール、50AF/20AT (JIS協約形) とする。
- ・単相3線式電路に設ける配線用遮断器は中性線欠相保護付とする。
- ・TM1, TM3: 24Hタイマー 停電保証付とする。EEスイッチ(外壁取付)で点灯、タイマーで消灯とし、盤面COSで手動点灯、消灯ができるものとする。
- ・TM2: 24Hタイマー 停電保証付 + WRT3211組込とする。室内リモコンスイッチにて点灯、タイマーで消灯(ハ[°]ターン制御)とし、盤面リモコンスイッチで手動点灯、消灯ができるものとする。

A	LEDダウンライト 200形	B	LED軒下用ダウンライト 150形	C	LEDスポットライト	D	LED直付型40形 防湿型・防雨型	E	LDL20W×1 ウォールライト
 <p>器具光束：2070lm、消費電力：15W、電圧：100～242V 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度・光束維持時間4000時間（光束維持率85%） LRS1-17LE9</p>		 <p>器具光束：1585lm、消費電力：11.6W、電圧：100～242V 5000K、Ra85、拡散タイプ、一般光色タイプ、光源遮光角15度 光束維持時間4000時間（光束維持率85%）、軒下用（防雨型） LRS1RP-13LE9</p>		 <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束540lm、消費電力7.7W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 アルミダイカスト（オフブラック） パナソニック スポットライトXLGE1103CE1 相当品</p>		 <p>一般形、5200lmタイプ 消費電力32.5W、定格出力型、電圧100～242V IP23防湿型、昼白色（5000K）、Ra83 光源寿命4000時間（光束維持率85%） パナソニック 直付XLW452NENZLE9 相当品</p>		 <p>ボルトフリー（100～242V）、防湿・防雨型 カバー・ステンレス（オフブラック） 光束維持時間4000時間 パナソニック NNFW21861LE9 相当品</p>	

※照明器具の消費電力はJIS C 8105-3で規定された値







[凡例] 特記なき記号は下記による。

記 号	名 称	備 考
⓪	コンセント 2P15A×2 EET	
⓪ET	コンセント 2P15A×1 ET	
⓪PL	コンセント 2P15A×2 EET 防滴プレート 鍵付	
□	電源接続	

特記なき配線は下記による。

— . / . —	EM-EEF2.0-3C	天井(壁内PF16)
— 2.0 —	EM-IE2.0×3	隠ぺい(PF16)

樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 種 簿 博 次

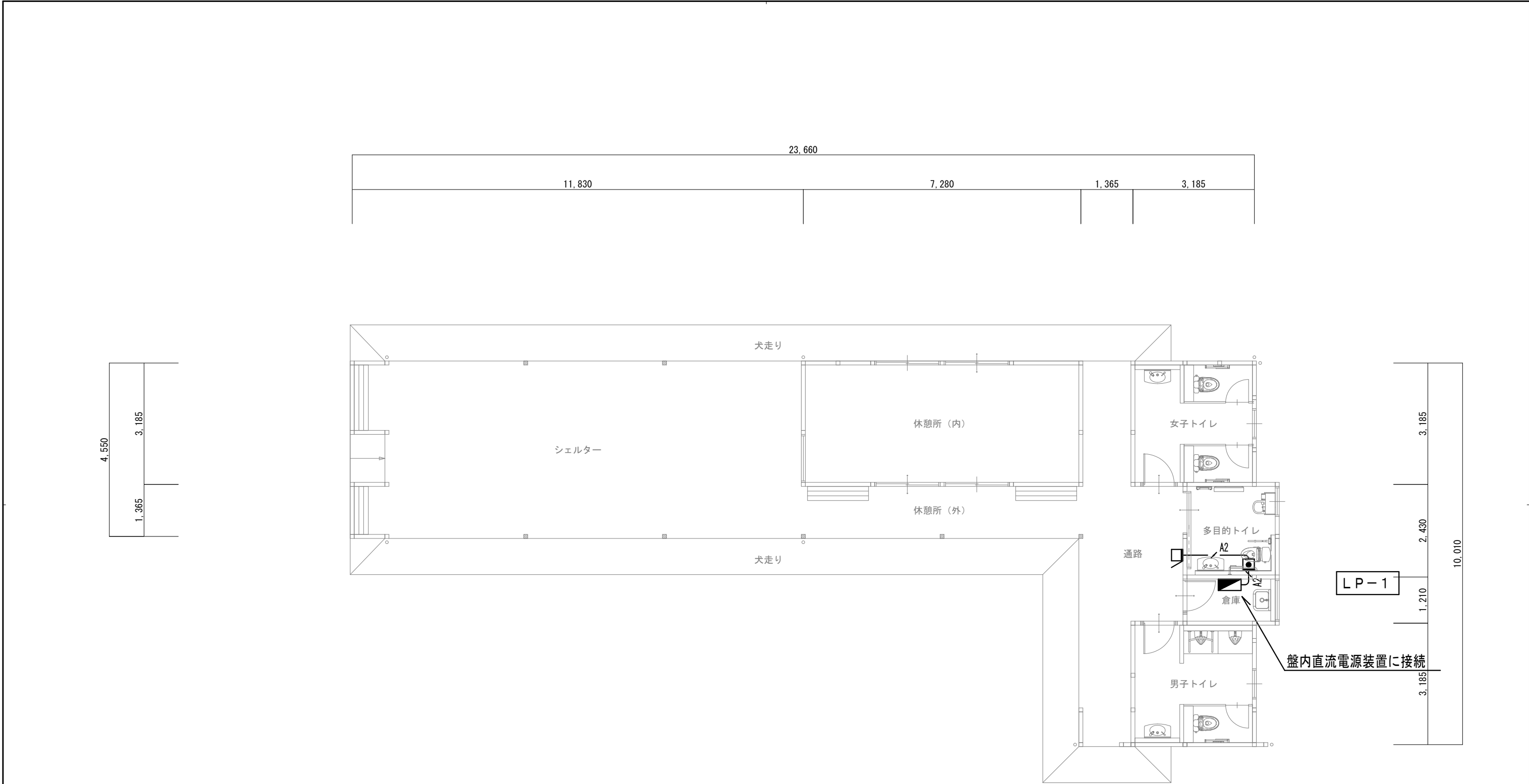
SCALE
1/100 (A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

コンセント設備図

No. E - 05

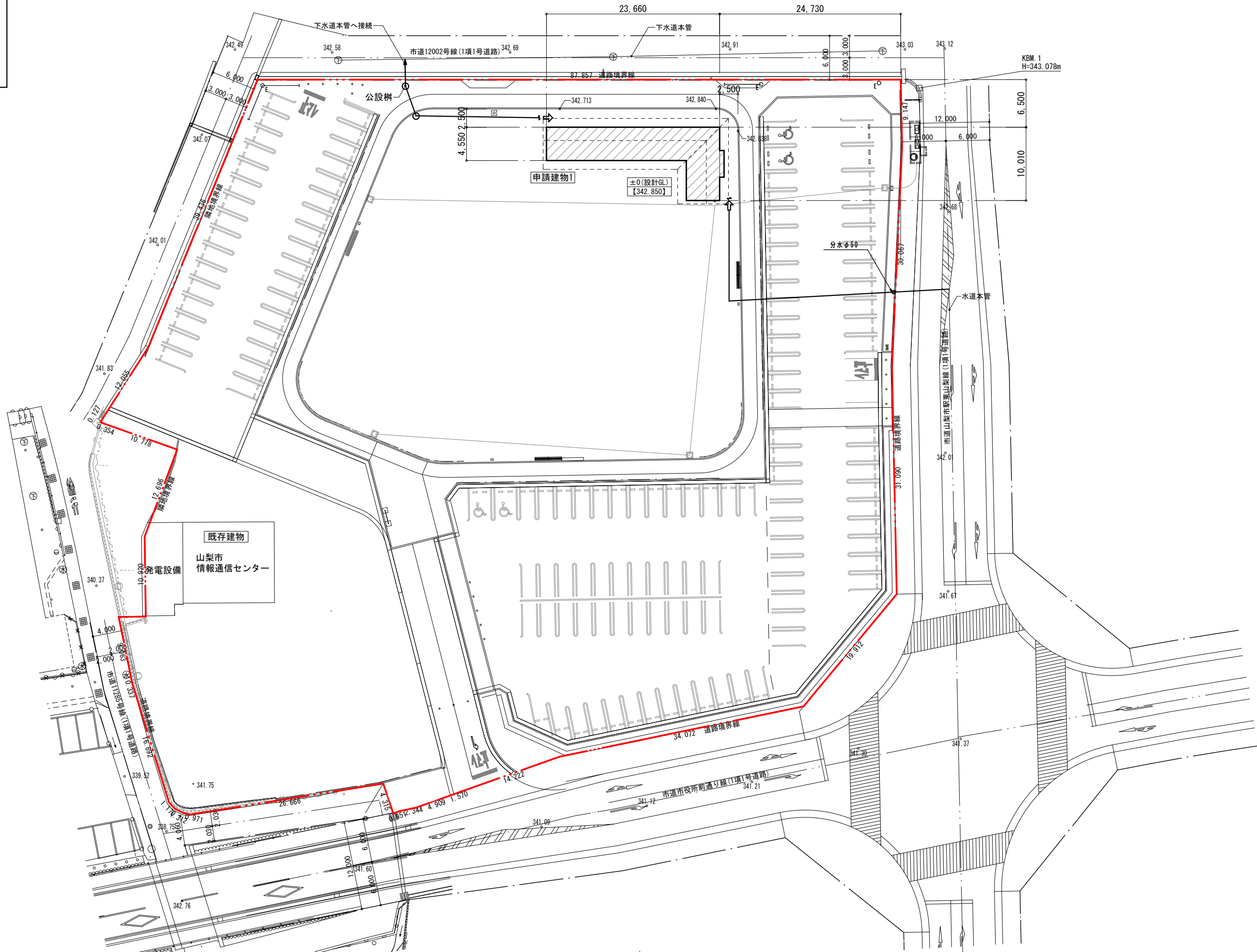


[凡例] 特記なき記号は下記による。		
記 号	名 称	備 考
□	ランプ付ブザー (EA5524)	
■	呼出押しボタン ひも付き (WS6677)	

特記なき配線は下記による。		
— A2 —	EM-AE0.9-2C	天井(壁内PF16)

特記仕様書

A	建築概要	1 工事名称 2 工事場所 3 建築面積 4 建物構造	旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事 山梨県山梨市 延べ床面積 意匠図参照 建築面積 意匠図参照 意匠図参照
B	工事項目	1 衛生器具設備工事 2 給水設備工事 3 排水設備工事 4 冷暖房設備工事 5 換気設備工事	
C	優先順位	1 法令、政令、規則等の定め、及び指導 2 現場説明事項 質疑事項 3 特記仕様書 4 設計図 5 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『機械設備工事共通仕様書 最新年版』	
D	使用機材	機材はメーカーリストによる他、同等品以上とし、請負者は契約後、監督員の指示に従いリストを作成し、材承諾を受けたものを使用する。	
E	工事範囲	本設計図は工事の概要を示すものであり、施工者は十分なる理解のうえ、施工図・製作図を提出し、監督員の承諾を得るものとする。請負者は特記仕様書、設計図書等に示す範囲において明記なき部分といえども技術上、施工上、本工事完成に必要なと認められるものは監督員の指示に従って施工する。設計図書及び施工上で疑義ある場合、監督員と協議のうえ、その指示に従う。なお軽微な変更は請負者の責任において行うこと。	
F	提出書類	1 工程表等関係書類一式 2 メーカーリスト 3 製作図及び各種機器承認図	4 施工計画書、施工図 5 施工写真、完成写真 6 完成図書一式
G	一般事項	1 本工事施工に関しては、本特記仕様書 設計図書 関係官庁規則により施工する。特記なき事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『機械設備工事共通仕様書 最新年版』に準拠するもののほか、監督員の指示に従うものとする。 2 本工事に関する法令、条例及び規則等は、良くこれを厳守し、必要な書類、検査立会い、申請届等は、遅滞なく代行し工事の進捗に支障のないようにする。申請等に要する費用は、全て請負者の負担とする。 3 各種の施工は事前に施工図、製作図、承認図等を提出し監督員の承認を得ること。 4 本工事の着工から竣工まで、監督員の指定する箇所のカラー写真を撮り、サービス版1部を提出する。 5 本工事に於て満水試験、水圧試験、気密試験、通水試験等の各試験は、監督員立会いのもとに行うものとし、試験結果成績表等を提出すること。 6 本工事施工者は、定められた工期内で工事を完了し、完全な状態で引渡し出来るよう、完成と同時に完成図書、必要書類を添えて提出し、完成検査を受けなければならない。 7 本工事請負者は、工事完成引渡し後でも施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては、責任をもって修復しなければならない。	
H	特記事項	1 管材は凡例参照 2 給水管（VB、VD）は管端防食継手を使用する。 3 給水管のパレルニップル及びロングニップルは、塩ビライニング鋼管（VB）を使用する。 4 給水管はMT型不凍栓を設け、管内の水を排水できるようにする。 5 ライニング管用のバルブ類はコアコートバルブ、ライニングバルブとする。 6 土間埋設配管は、管種に応じて架空配管と同じピッチにて土間スラブより吊ること。 7 排水管の勾配は屋内1／50 屋外1／100を標準とする。 8 陶器の色は標準色同面格品とし監督員と協議の上決定する。 9 図示に表示は無くも、屋外露出施工の給水管・給湯管には、全てに自己制御型の凍結防止電気ヒーターを巻施工を行う。又、監督員の指示により、施工場所を事前に協議する。 10 冷媒用化粧ケースは、SUS製ラッキング仕上げとする。（屋外露出部分のみ） 11 防火区画を貫通する配管の処理は、前後1.0mを不燃材料にて施工のこと。	
I	保温塗装		
J	工事区分	項目	建築電気機械別途備考
K	図面凡例	名称記号仕様規格摘要	
L	メーカーリスト（参考）	品名メーカー名	



衛生設備器具表

名 称	参考型番 (TOTO)	参考型番 (LIXIL)	電源 (参考)	数	設置場所	ページ 2025
洋風便器	CFS498BK TCF5534AU (ウォシュレット)	BC-P110SA DQ-PA150CH CW-PA21LQE-NE-R1 CF-020-SET	1φ×100V×311W	3	男子トイレ*1・女子トイレ*2	579
スﾊﾟｰｱ付紙巻器 (棚付)	YH191K (ｽﾃﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ ｶﾞﾐﾞ付ｷ)	KF-6772L		4	男子トイレ*1・女子トイレ*2・多目的トイレ*1	832
手摺 (L型)	T112CL9	KF-920AE70D12J KF-D16		3	男子トイレ*1・女子トイレ*2	849
壁掛手洗器 (乾電池型)	L270DM TEL24DPRA (台付自動水栓)	L-275AN AM-340CD LF-3VK LF-105PA SF-10E KF-30DN		3	男子トイレ*1・女子トイレ*2・多目的トイレ*1	734・753
車いす対応便器	CS20AB SH30BA (密結ｶｯｸ) TCF5841P (ウォシュレット)	BC-220SK DT-K250 CW-PC12-NECK CF-008-1	1φ×100V×1260w	1	多目的トイレ	901
オストメイト	UAS81RSB1N UTR141 (側板)	PTOM-B210S PTOM-ESCR (側板)	1φ×100V×600w	1	多目的トイレ	885
手摺 (L型)	T114CL10R	KF-920AE70D12J KF-D16		1	多目的トイレ	901
手摺 (跳ね上げ)	T114HK8R	KF-471EH70JU KF-D19		1	多目的トイレ	901
小便器 (乾電池型)	UFH500 (壁掛壁排水) TEA62ADS (自動ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ) T9R	U-406RU OKU-AT131SD UF-506BWP SF-10E		2	男子トイレ	652
小便器用手摺	T114CU22R	KF-701AEJ KF-D16		1	男子トイレ	847
フィッティングボード (収納式)	YKA41R	AC-GB-14 KF-D3 (1P)		1	多目的トイレ	894
ベビーシート (収納式)	YKA25N	AC-OK-21F KF-D17 (1P)		1	多目的トイレ	892
掃除用流し	SK22A TK22 T23AEQ20C TN114 T9R HH04060×2 T37SGEP	S-202A LF-7KEZ-19-U SF-20SAF-P SF-10E SF-202		1	倉庫	870
化粧鏡 (600×900)	YM6090A	KF-6090		3	男子トイレ・女子トイレ・多目的トイレ	513

衛生設備機器表

記号	名称	参 考 型 番	数量	仕 様	電源 (参考値)			設置場所
					φ	V	k w / W	
PH-1	パネルヒーター	TPS-1002A	2	壁掛縦型 デジタル式サーモスタット標準内蔵 取付金具・付属品付 保護ガード・いたずら防止カバー共 寸法：420*85*H680 重量：7.3kg	1	200	1.0KW	男子トイレ・女子トイレ
		ｼｰｽﾞ 線						
PH-2	パネルヒーター	TPS-0502A	1	壁掛縦型 デジタル式サーモスタット標準内蔵 取付金具・付属品付 保護ガード・いたずら防止カバー共 寸法：270*85*H680 重量：5.3kg	1	200	0.5KW	多目的トイレ
		ｼｰｽﾞ 線						

冷暖房設備機器表

※エアコンの電源は屋外機に電気設備工事にて供給し、以降の電源線二次側わたり配線・リモコン配線は本工事とする。

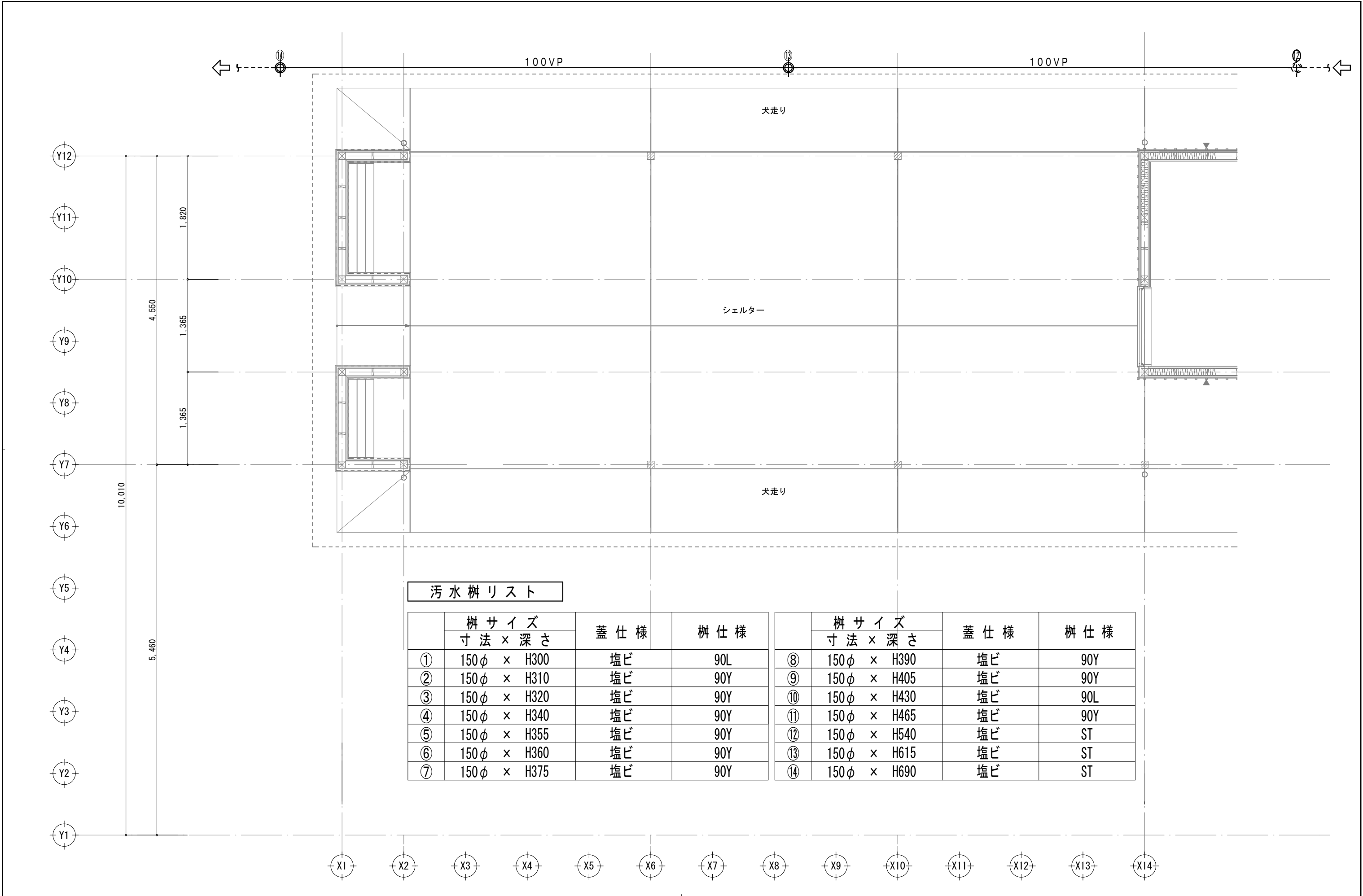
記号	名称	参 考 型 番	数量	仕 様	電源 (参考値)			設置場所
					φ	V	k w / W	
AC-1 (将来対応)	パッケージエアコン (5.6APF)	PKZ-ZRMP63K4	1	壁掛形 冷：5.6KW 暖：6.3KW 圧縮機：1.20KW 屋外機 寸法：809W×300D×630H 質量：42kg 冷媒：12.7φ×6.4φ 基礎共 屋内機 寸法：1170W×295D×365H 質量：20kg 冷媒：12.7φ×6.4φ ドレン：20VP リモコン共	3	200	冷1.41KW	屋外 (将来対応) 休憩所 (将来対応)
		SSRA63CT			3	200	暖2.35KW	
		PA-P63K7HB						

換気設備機器表

※ 換気扇のスイッチは電気設備工事とし、24時間換気用スイッチは機械設備工事より支給品とする

記号	名称	参 考 型 番	数量	仕 様	電源 (参考値)			設置場所
					φ	V	W / KW	
EF-1	標準換気扇	EX-20EK9-C	4	格子タイプ 電気式シャッター 羽根径：20cm 引きひもなし 風量：468m3/h SUS製ウェザーカバー (防虫網付)・木枠共 内1×24時間換気スイッチ 寸法：296×296×H154 重量：2.6kg	1	100	11.5W	男子トイレ・多目的トイレ・女子トイレ・休憩所
		VFM-20S1						
		FY-20EE6/43						
	給排気グリル		1	100φ 丸形フード (SUS製・ギャラリ付・防虫網付)				休憩所

換 気 計 算 表		シックハウス対策 (建基令20条の8)				換気回数 (回/h)		決定換気量 V (m3/h)	備考
階	室名	天井高 (m)	室容積 (m3)	換気回数 (回/h)	必要換気量 V (m3/h)	換気回数 (回/h)	必要換気量 V (m3/h)		
1	男子トイレ	2.50	25.35			10.0	253.50	260	EF-1 EX-20EK9-C
	多目的トイレ	2.50	14.70			10.0	147.00	150	EF-1 EX-20EK9-C
	女子トイレ	2.50	25.35			10.0	253.50	260	EF-1 EX-20EK9-C
	休憩所	2.65	61.45	0.5	30.73	3.0	184.36	24h 200	EF-1 EX-20EK9-C



汚水枳リスト

	枳サイズ	蓋仕様	枳仕様		枳サイズ	蓋仕様	枳仕様
	寸法 × 深さ				寸法 × 深さ		
①	150φ × H300	塩ビ	90L	⑧	150φ × H390	塩ビ	90Y
②	150φ × H310	塩ビ	90Y	⑨	150φ × H405	塩ビ	90Y
③	150φ × H320	塩ビ	90Y	⑩	150φ × H430	塩ビ	90L
④	150φ × H340	塩ビ	90Y	⑪	150φ × H465	塩ビ	90Y
⑤	150φ × H355	塩ビ	90Y	⑫	150φ × H540	塩ビ	ST
⑥	150φ × H360	塩ビ	90Y	⑬	150φ × H615	塩ビ	ST
⑦	150φ × H375	塩ビ	90Y	⑭	150φ × H690	塩ビ	ST

樋沢建築設計事務所



〒400-0802 山梨県甲府市横根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (製)第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋澤博次

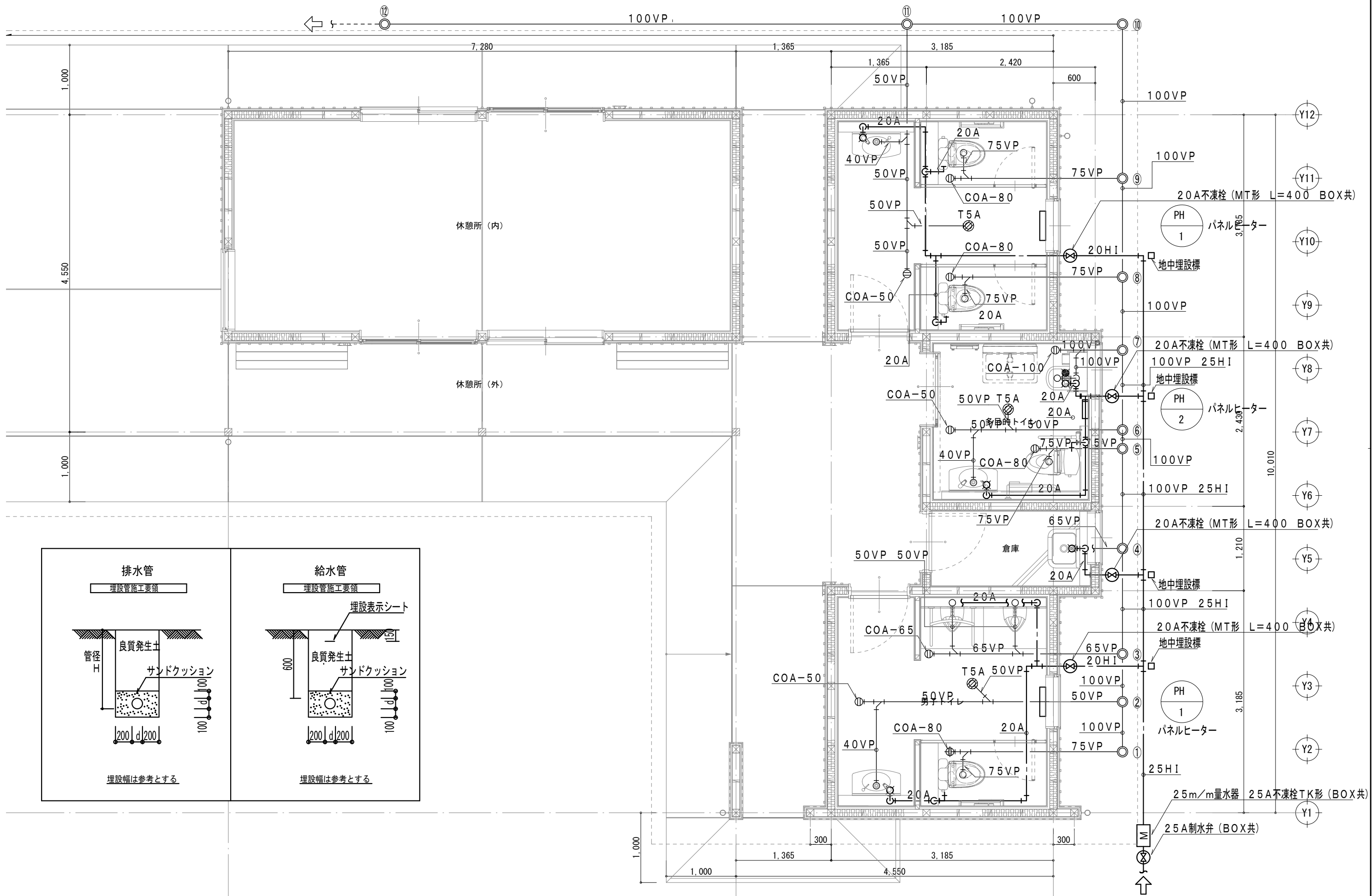
SCALE
1/50 (A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

衛生設備 平面詳細図 1

No. M - 04





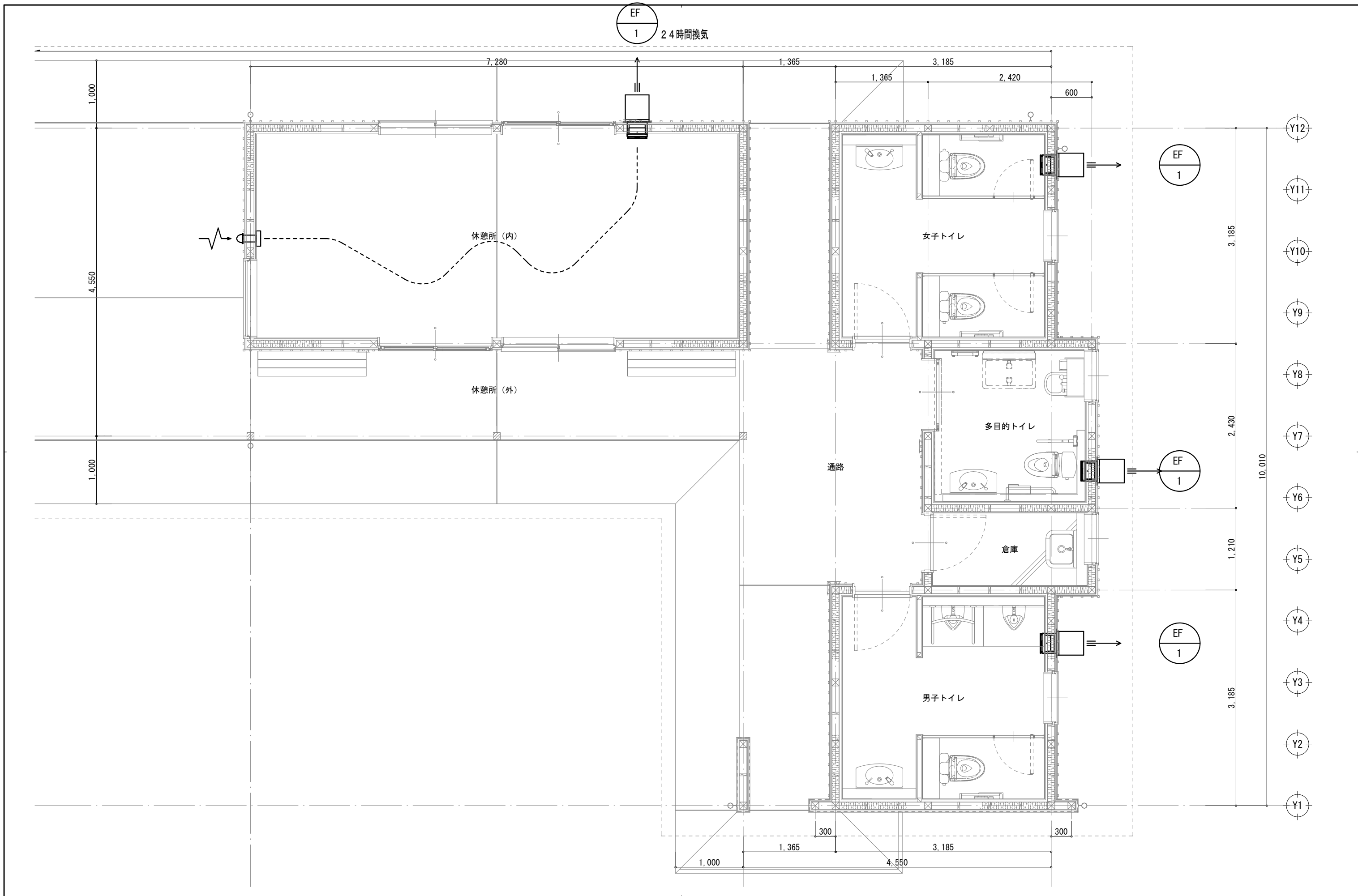
樋 沢 建 築 設 計 事 務 所

〒400-0802 山 梨 県 甲 府 市 横 根 町 83 - 1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋 澤 博 次

SCALE
1/50 (A3)
DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

衛生設備 平面詳細図 2





樋沢建築設計事務所

〒400-0802 山梨県甲府市橋根町83-1
一級建築士事務所 登録番号 (製) 第1-071190
一級建築士 登録 第140820 樋澤博次

SCALE
1/50 (A3)

DATE

SUBJECT
旧市役所跡地多目的広場トイレ等建設工事

換気設備 平面詳細図

No. M - 06